

ユーザーズガイド for Windows

コリヤ英和! 英語を「読む・書く・話す・調べる・学ぶ」が
この1本で!
一発翻訳 **2025**
for Win

お願い

コリヤ英和!一発翻訳 2025 for Win (マルチリンガル) をお買い上げいただき、有り難うございました。本ユーザーズガイドは、コリヤ英和!一発翻訳 2025 for Winの主要な使い方を説明しています。本ガイドに記載のない事柄につきましては、オンラインヘルプをご参照いただけますようお願いいたします。

.....

©Logovista Corporation 1994-2024 U.S.Patent No. 5,528,491; 6,278,967; 6,470,306; 6,760,695.

※LogoVista、LogoVista電子辞典はロゴヴィスタ株式会社の商標または登録商標です。

Readiris Pro © 1989-2024 Image Recognition Integrated Systems SA All rights reserved.

※Microsoft、Windows、Microsoft Edge、Microsoft 365は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Includes Microsoft Agent technology.

※Google、Google Chrome、は、Google Inc. の商標または登録商標です。

※Adobe、Acrobat、Acrobat Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

©Copyright TOSHIBA Corporation 1988-2003, Toshiba Solutions Corporation 2003-2024 All Rights Reserved.

Copyright © 2001-2023 Python Software Foundation. All rights reserved.

©Copyright UNIKOTECH Co. , Ltd. 2020 All right reserved.

コトバイウ Since the 25 of December, 2016 © Nakane Hideto / COTOBAIU

※「研究社新英和・和英中辞典」は株式会社研究社の著作物です。

※記載された会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

●本製品は、優れた翻訳技術を備えた製品ですが、翻訳する原文によっては翻訳結果の内容が正確でない場合があります 予めご了承ください。

なお、ロゴヴィスタ(株)は本製品の翻訳結果の内容を保証するものではありません。

翻訳結果につきましては、お客様の責任においてご使用ください。

●お客様が本ソフトウェアをインストールし、使用するためには、使用許諾契約の各条項をよくお読みいただき、お客様が本 ソフトウェアをご使用された場合は、使用許諾契約の各条項にご同意いただいたものとみなされます。

●本製品のレンタルおよび中古販売による再使用を禁じます。

●本製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

Chapter 1

コリヤ英和！一発翻訳の機能概要

こんなときにお使いください

コリヤ英和！一発翻訳には、いろいろな作業に適合する複数の翻訳アプリレットがあります。翻訳アプリレットは、翻訳作業を行うためのインタフェースです。また、Webブラウザや Office アプリケーション、一太郎、Adobe Acrobat などに翻訳機能を組み込んで翻訳する機能も用意しています。作業場面に合った、適切な翻訳アプリレットをお使いください。

◆主要な翻訳アプリレット

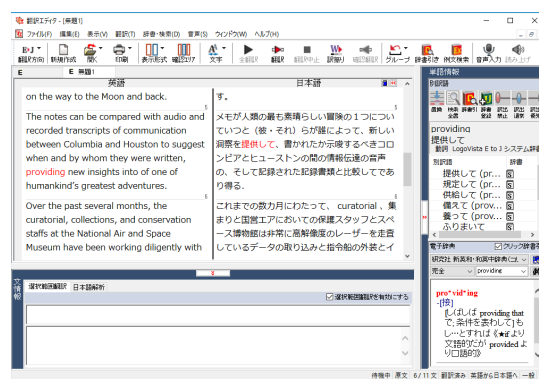
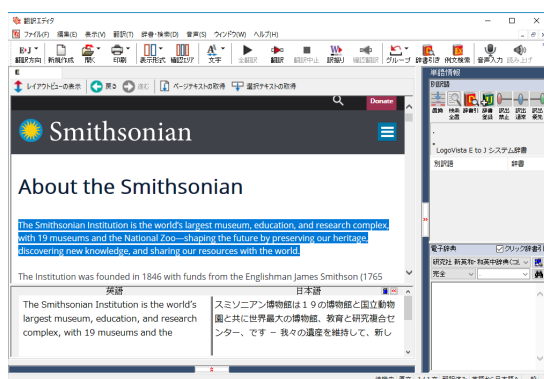
いろいろなアプリケーションの使用中に翻訳したいときは..... 操作パネル ⇒ 第2章

コリヤ英和！一発翻訳の翻訳機能、辞書引き機能などを効率的に呼び出すために操作パネルを用意しています。ワープロ、表計算、Webブラウザ、メールソフトなど、文書を扱う様々なアプリケーションで翻訳を行うことが可能になります。



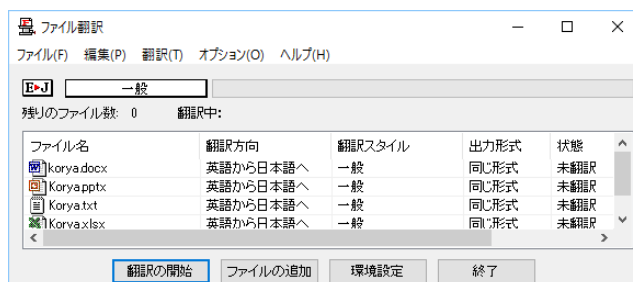
原文と訳文を比較しながら翻訳したいときは..... 翻訳エディタ ⇒ 第3章

原文と訳文を比較検討しながら逐一翻訳結果を向上させることができるアプリレットです。テキストファイルをやPDFファイル形式の文書ファイルを読み込んで翻訳することができます。



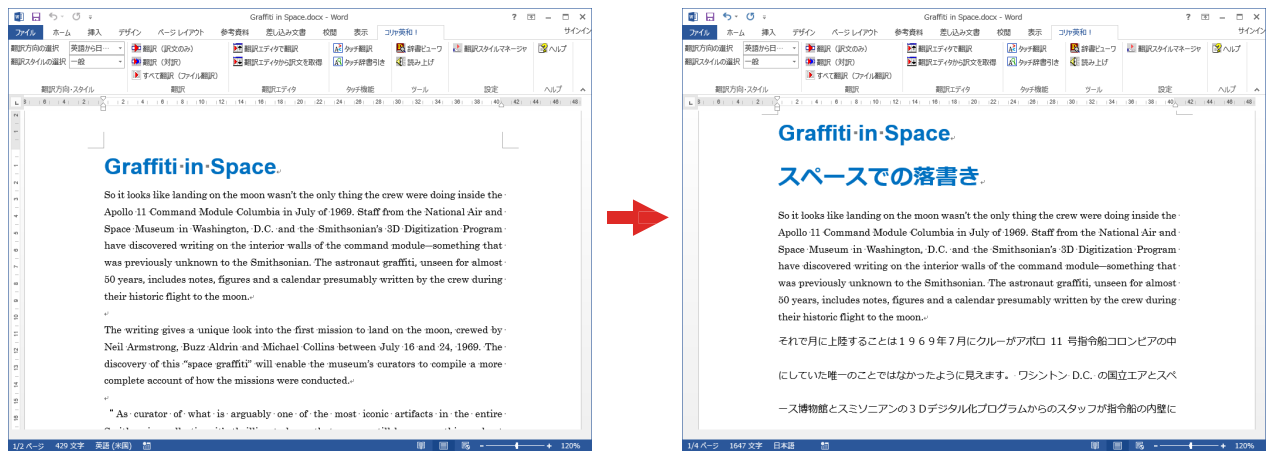
複数の原文ファイルをいっきに翻訳したいときは..... ファイル翻訳 ⇒ 第2章

原文が保存されているファイルを翻訳し、翻訳結果をファイルに保存します。複数のファイルを一度に翻訳できるほか、テキストファイル、HTMLファイル、Word文書ファイルなど多様な形式に文書ファイルを翻訳することができます。



アプリケーションから直接翻訳したいときは.....アドイン翻訳 ⇨ 第6章

Microsoft Office、一太郎、Adobe Acrobatなどのアプリケーションに翻訳機能を組み込むことができます。これにより、それぞれのアプリケーションで直接翻訳を実行できるようになります。



◆ 翻訳しながらインターネット検索

Webブラウザでホームページを翻訳するには ⇨ 第4章

Google Chrome や、Microsoft Edge がインストールされている環境では、拡張機能を使って、いつでも翻訳・辞書引きを行うことができます。下図は、呼び出した英文サイトを日本語に翻訳する例です。

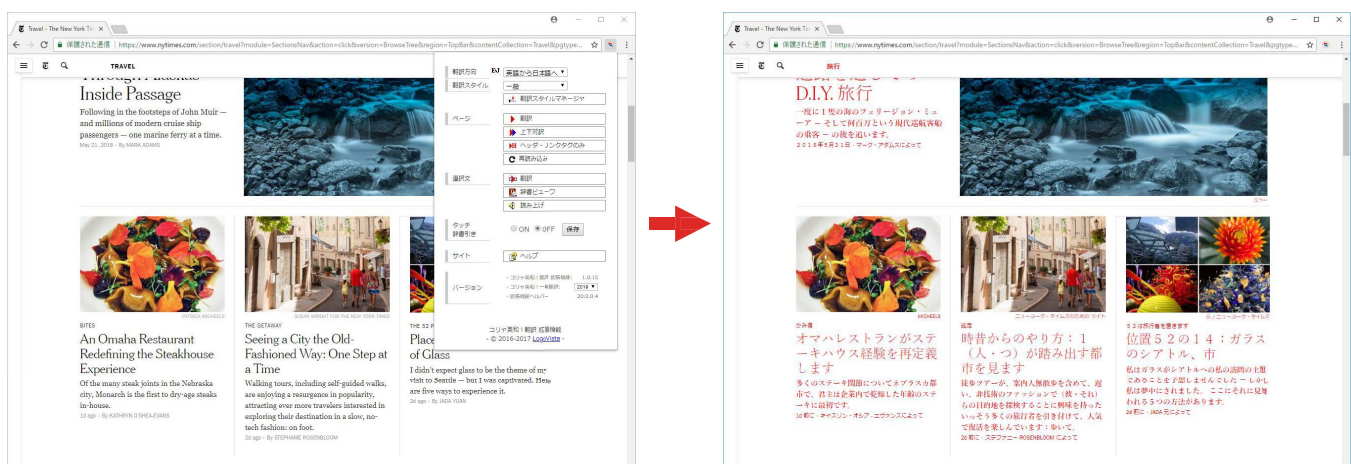
ヒント 拡張機能をご利用いただくには以下「コリヤ英和！翻訳拡張機能」と「拡張機能ヘルパー」を順にインストールする必要があります。インストールは、ロゴヴィスタのウェブサイトからダウンロードしてください。

Google Chrome の場合.....

https://www.logovista.co.jp/LVERP/information/support/download/korya2025_win/Chrome.html

Microsoft Edge の場合.....

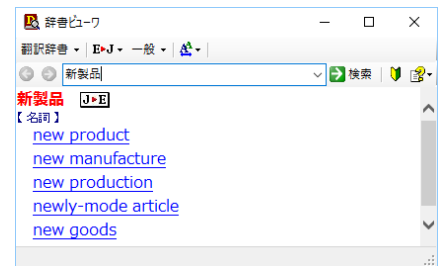
https://www.logovista.co.jp/LVERP/information/support/download/korya2025_win/Edge.html



◆辞書ツール&支援ツール

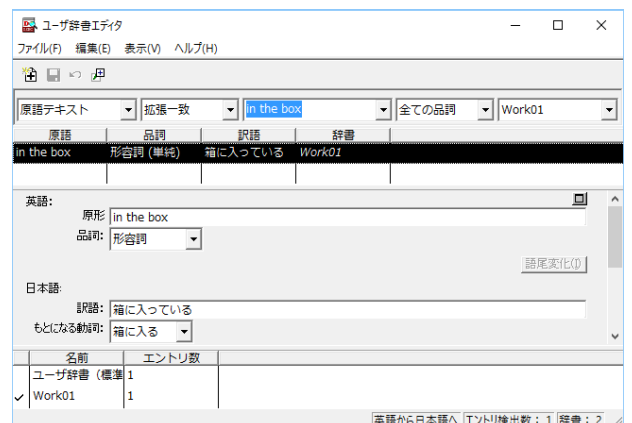
簡単操作で辞書引きしたいときは.....辞書ビューア ⇨ 第2章

研究社の新英和・和英中辞典やクイック辞書、翻訳辞書で辞書引きできる「辞書ビューア」を用意しています。LogoVista 電子辞典がインストールされていると、それらの辞書でも辞書引きできます。



ユーザ辞書を編集したいときは.....ユーザ辞書エディタ ⇨ 第2章

コリヤ英和！一発翻訳(英日・日英)では、特異な語句をユーザ辞書に登録し、翻訳に活用することができます。ユーザ辞書に登録した内容は、編集したり、ファイルに書き出ししたりすることができます。もちろん、テキストファイルに保存した用語を読み込んでユーザ辞書を充実させることもできます。



役立つ支援ツールが揃っています ⇨ 第2章

手紙の書き方や英文法などを確認したいときに役立つツールも揃っています。



コリヤ英和！一発翻訳の翻訳スタイルについて（英日・日英のみ）

「翻訳スタイル」とは、翻訳するための複数の条件をセットとしてまとめたものです。翻訳スタイルには、使用する辞書と翻訳設定が含まれます。ここでは、翻訳スタイルの概要を紹介します。

☞ 翻訳スタイルの操作方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択」をご覧ください。

◆ 翻訳スタイルとは

翻訳スタイルとは、使用する辞書、翻訳設定（訳出する方法）を定義したひとまとまりの条件を言います。翻訳スタイルは名前を付けて登録しておくことができますので、翻訳目的にしたがって翻訳スタイルを切り替えるだけで、訳出方法を変えることができます。翻訳のたびに辞書や翻訳設定をいちいち変更する手間が無くなります。以下は英日用翻訳スタイル「趣味・娯楽」の設定例（初期値）です。

● 翻訳に使う辞書

ユーザ辞書：ユーザ辞書（標準）



システム辞書：LogoVista E to Jシステム辞書



専門辞書：エンターテインメントV2（標準）



● 翻訳設定

文体	～です調
固有名詞の訳出形式	日本語のみ
英数字	そのまま
全角と半角の間にスペースを挿入する	はい

◆ 翻訳に使う辞書（システム辞書・専門辞書・分野辞書・ユーザ辞書）

コリヤ英和！一発翻訳では、システム辞書、専門辞書（分野辞書）、ユーザ辞書の3種類の辞書を利用できます。システム辞書は、常に使用する基本的な辞書です。専門辞書は分野別の専門用語を収録した辞書です。ユーザ辞書はお使いになる方が独自に使用する語句を登録しておく辞書で、複数作成することができます。英日・日英翻訳では事例文をまとめた事例文ファイルを活用することもできます。使用する辞書を翻訳スタイルに登録すると、翻訳に利用されます。

システム辞書



専門辞書（複数可）



ユーザ辞書（複数可）



事例文ファイル

■ 使用できる辞書の種類

使用できる辞書については、次節「4. コリヤ英和！一発翻訳 での翻訳に使用できる辞書について」をご覧ください。

◆ 翻訳設定

翻訳設定には、以下の訳出方法が定義されます。翻訳目的にそって設定を変更します。

英日

設定項目	選択できる値
文体	「～だ調」、「～です調」※、「～である調」のいずれか
固有名詞の訳出形式	「英語のみ」、「日本語のみ」※、「日本語（英語）」のいずれか
英数字	「そのまま」※、「半角（1バイト）」、「全角（2バイト）」のいずれか
全角と半角の間にスペースを入れる	「はい」※、「いいえ」のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値

日英

設定項目	選択できる値
箇条書きの表現	「命令文」※、「平叙文」、「動詞」、「to - 不定詞」、「3人称単数現在形の動詞句」のいずれか
主語のない文	「"it"を主語に補う」、「受動態で表現する」※、「人称代名詞を主語に補う」、「命令文で表現する」、「3人称単数現在形の動詞句で表現する」のいずれか
冠詞の付け方	「冠詞"the"を出力」、「冠詞"a/an"を出力」、「無冠詞」、「無指定」※のいずれか
略語・数字間のブランク	「ブランクあり」※、「ブランクなし」のいずれか

※印は、翻訳スタイル「一般」に初期値として設定されている値

コリヤ英和！一発翻訳での翻訳に使用できる辞書について

コリヤ英和！一発翻訳では、翻訳に必ず使用されるシステム辞書のほかに、以下の辞書を使用することができます。



これらの辞書は、いずれも「翻訳スタイル」に設定して有効になります。
設定方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択」をご覧ください。

◆ユーザ辞書

翻訳に必要な単語をユーザ自身が登録していく辞書です。ユーザ辞書はあらかじめ英日・日英用それぞれ、1つずつ空の辞書が用意されています。

◆分野辞書

コリヤ英和！一発翻訳にあらかじめ搭載されている翻訳用の辞書です。翻訳を行う文章に合った分野辞書を指定して使用します。分野辞書は専門辞書の一種として扱われます。

英日翻訳用の分野辞書のジャンル.....

英日翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス一般	科学技術一般	コンピュータ	エンターテインメント	パソコン用語
法律	ライフサイエンス	金融・経済	情報一般	軍事
医学	機械	電気電子通信	バイオ	応用物理
材料資源	建築	船舶鉄道	地球科学	応用化学
農業	化学	都市工学	物理	航空宇宙
土木	動物	生物	プラント	固有名詞：日本人名
固有名詞：日本地名		コンピュータIT総合		

日英翻訳用の分野辞書のジャンル.....

日英翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

ビジネス一般	科学技術一般	コンピュータ	カルチャー	パソコン用語
法律	ライフサイエンス	金融・経済	情報一般	軍事
医学	機械	電気電子通信	バイオ	応用物理
材料資源	建築	船舶鉄道	地球科学	応用化学
農業	化学	都市工学	物理	航空宇宙
土木	動物	生物	プラント	固有名詞
インターネット	コンピュータIT総合	自然・社会科学	住所	航空分野
ビジネスレター	トラベル			

日韓・韓日の分野辞書 (マルチリンガルのみ)

日韓・韓日翻訳用には、以下のジャンルの分野辞書を用意しています。

固有名詞	軍事	人名	地名	ビジネス・経済
人文社会	化学・工業化学	医学・薬学・生命科学	建築	地学・天文
情報処理	数学	機械	物理・原子力	環境
科学一般	自動車	農業	金属	電子
				電気

ユーザデータを別のコンピュータに移すには

ここでは、使用したユーザ辞書や事例文ファイルなどのユーザデータを、別のコンピュータへ移動する方法を説明します。

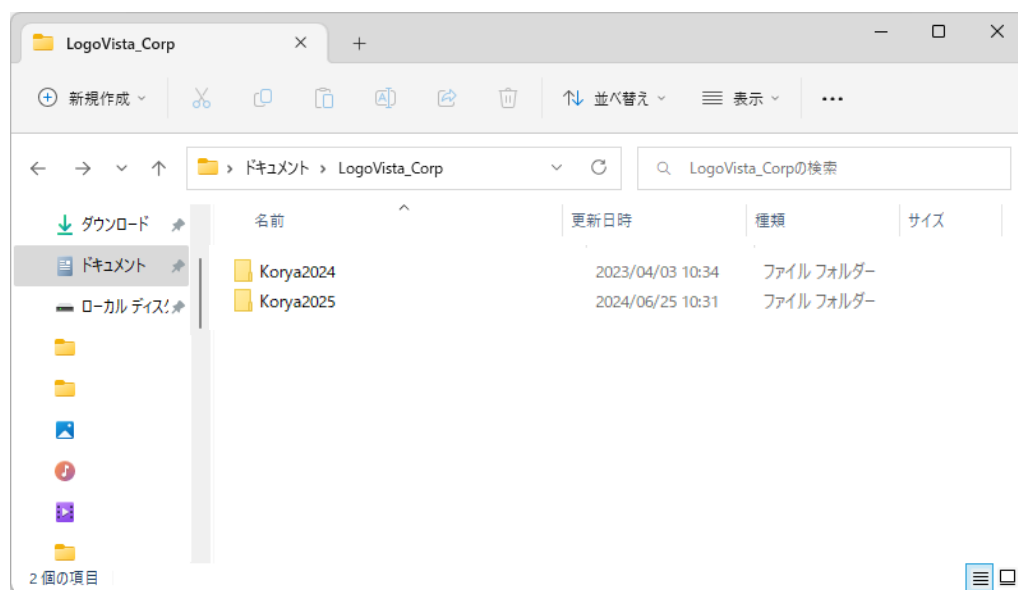
◆ユーザデータを移動するには

ユーザデータの保存場所はお使いのOSによって異なります。初期設定では下記の場所にユーザデータが保存されます。

C:¥Users¥(ユーザーアカウント名)¥Documents¥LogoVistaCorp¥Korya2025

全てのユーザデータを移動するには.....

- 1 移動先のコンピュータに、コリヤ英和！一発翻訳 2025をインストールします。
- 2 ユーザデータが保存されている[Korya2025]フォルダをコピーし、移動先のコンピュータ上の[Korya2025]フォルダに上書きします。



Windows 11での[Korya2025]フォルダ

移動したユーザ辞書や事例文ファイルを使用するには、翻訳スタイルマネージャで該当する辞書をロードします。

☞ 辞書のロード方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「3. 翻訳スタイルの選択」をご覧ください。

任意のユーザ辞書を移動するには.....

英日ユーザ辞書は初期設定では下記の場所に保存されます。

C:\¥Users¥(ユーザーアカウント名)\¥Documents¥LogoVistaCorp¥Korya2025¥26.0¥EJTranslation¥USER

日英ユーザ辞書は初期設定では下記の場所に保存されます。

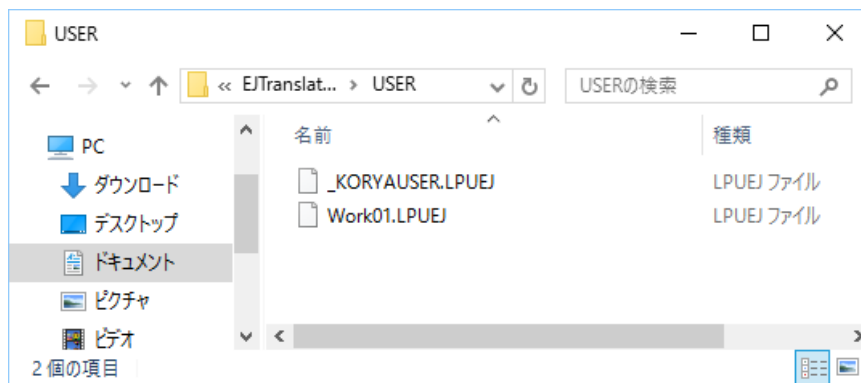
C:\¥Users¥(ユーザーアカウント名)\¥Documents¥LogoVistaCorp¥Korya2025¥26.0¥JETranslation¥USER

1

移動先のコンピュータにコリヤ英和！一発翻訳 2025をインストールします。

2

ユーザ辞書が保存されている[USER]から、移したいユーザ辞書ファイル（拡張子「.LPUEJ」）をコピーし、移動先のコンピュータ上の[USER]フォルダに置きます。



Windows 10での[USER]フォルダ

移動したユーザ辞書を使用するには、翻訳スタイルマネージャで該当する辞書をロードします。

☞ 辞書のロード方法については、「第2章 操作パネルの使い方」の「8. 翻訳スタイルの選択」をご覧ください。

注意！

- 旧製品のユーザデータを別のコンピュータに移す場合は、事前に「ユーザデータ更新ツール」を使用し、旧データファイルを本製品で使用可能にするための更新処理を行ってください。
- 「ユーザデータ更新ツール」の詳しい使い方は、「ユーザデータ更新ツール」のオンラインヘルプをご参照ください。

Chapter 2

操作パネルの使い方

操作パネルの名称と機能

コリヤ英和! 操作パネルには、翻訳エディタをはじめとする翻訳のためのツールや、翻訳を補助するための便利なツールが集められています。これらの機能は、コリヤ英和! 操作パネル上のボタンをクリックすることで、ご利用いただけます。

◆コリヤ英和! 操作パネルを起動するには

デスクトップの「コリヤ英和! 操作パネル」アイコンをダブルクリックします。



■「コリヤ英和! 操作パネル」アイコン

注意!

デスクトップに「コリヤ英和! 操作パネル」が見当たらないときは、[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[コリヤ英和! 一発翻訳 (マルチリンガル)]→[操作パネル]の順に選択します。

「コリヤ英和! 操作パネル」が表示されます。また、デスクトップのタスクトレイに「操作パネル」アイコンが表示されます。

■操作パネル



翻訳作業によく使うツールのみをコンパクトに表示可能です。



■操作パネルアイコン

タスクトレイの「操作パネル」アイコンをクリックすると操作パネルが最前面に表示されます。操作パネルが非表示になっているときや、他のウィンドウに隠れているときに使います。

◆操作パネルの名称と機能

操作パネルのボタンのうち、右側に▼が表示されているものは、複数の機能が用意されています。ボタンをクリックするとプルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューから機能させるコマンドを選択して実行します。その他のボタンもクリックして実行します。

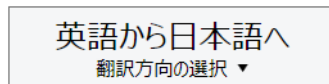
以下では、それぞれのボタンの概要を紹介します。



翻訳・辞書引きの実行

翻訳方向の設定や翻訳スタイルの選択、選択辞書引きなどを行うことができます。

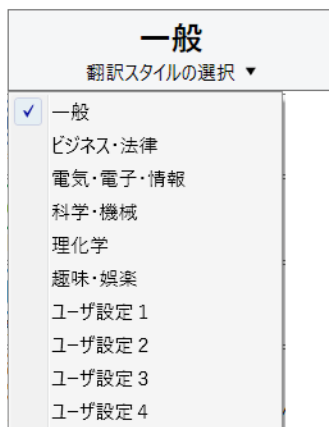
翻訳方向の選択



翻訳方向を選択するときに使います。

※詳細は、本章 [2 翻訳方向の選択] をご覧ください。

翻訳スタイルの選択



翻訳スタイルを選択するときに使います。

※詳細は、本章 [3 翻訳スタイルの選択] をご覧ください。

翻訳エディタを起動



翻訳エディタを起動します。

※詳細は、[第3章 翻訳エディタで翻訳するには] をご覧ください。

ファイル翻訳



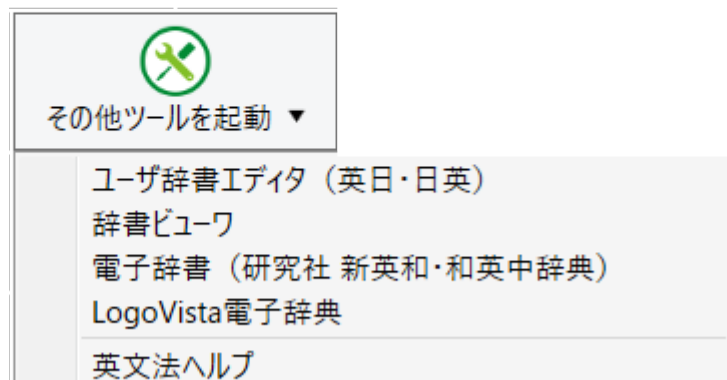
ファイルごとに翻訳します。1つから複数のファイルを一括して翻訳することができます。

※詳細は、本章 [4ファイル翻訳を起動] をご覧ください。

ツールの起動.....

その他ツールを起動

※詳細は、本章「5 その他ツールを起動」をご覧ください。

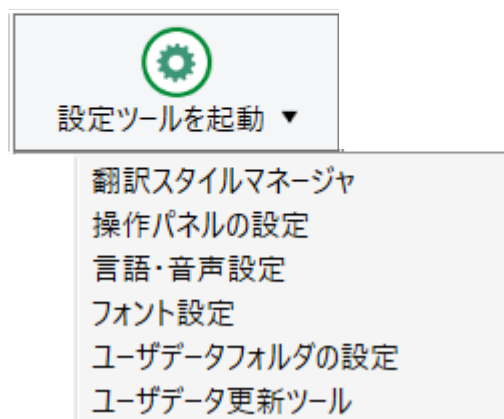


次のツールを選択して起動することができます。

ユーザ辞書エディタ	[ユーザ辞書エディタ]ウィンドウを開きます。コリヤ英和の翻訳アプレットで使用するユーザ辞書に語句を登録したり、登録済みの語句を編集することができます。
辞書ビューア	[辞書ビューア]ウィンドウを開きます。研究社 新英和・和英中辞典、コリヤ英和! で翻訳に使用する辞書で辞書引きができます。
電子辞典 (研究社 新英和・和英中辞典)	[電子辞典 (研究社 新英和・和英中辞典)]ウィンドウを開きます。研究社 新英和・和英中辞典で辞書引きができます。
LogoVista電子辞典	LogoVista電子辞典がインストールされているときは、LogoVista電子辞典で辞書引きができます。
英文法ヘルプ	英文法ヘルプでは、英文法の基本がまとめられています。ちょっとした疑問を解決したいときにお使いください。

設定ツールを起動

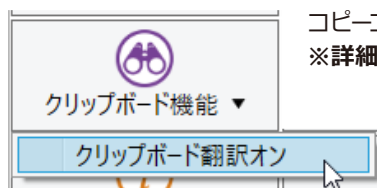
※詳細は、本章「8 設定ツールを起動」をご覧ください。



次のツールを選択して起動することができます。

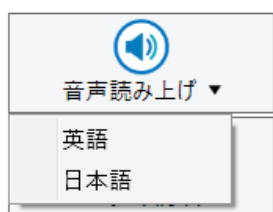
音声設定	音声合成エンジンがインストールされているとき、音声に関する設定を行います。音声合成エンジンは、コリヤ英和！一発翻訳（マルチリンガル）の製品CD/DVD-ROMからインストールすることができます。
フォント設定	コリヤ英和！一発翻訳の翻訳アプレットで使用するフォントの設定をおこないます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。翻訳に使用する専門辞書などを設定できます。
操作パネルの設定	操作パネルの表示方法を変更できます。「操作パネルの表示方法を設定するには」の項目をご参照ください。
ユーザデータフォルダの設定	ユーザ辞書などのユーザデータファイルを保存するフォルダを変更することができます。
ユーザデータ更新ツール	弊社旧製品で作成されたユーザデータを本製品で利用できるようにするために、旧データファイルの内容を解析して、本製品のデータファイルへの更新、または追加処理を行います。

クリップボード機能.....



コピーコマンドでクリップボードに格納されたテキストの翻訳や、辞書引きを行います。
※詳細は、本章 [9 クリップボード機能] をご覧ください。

音声読み上げ.....



音声合成エンジンがインストールされているときは、アプリケーションで選択されている語句を読み上げることができます。音声合成エンジンは、コリヤ英和！一発翻訳（マルチリンガル）の製品CD/DVD-ROMからインストールすることができます。

アドイン設定.....

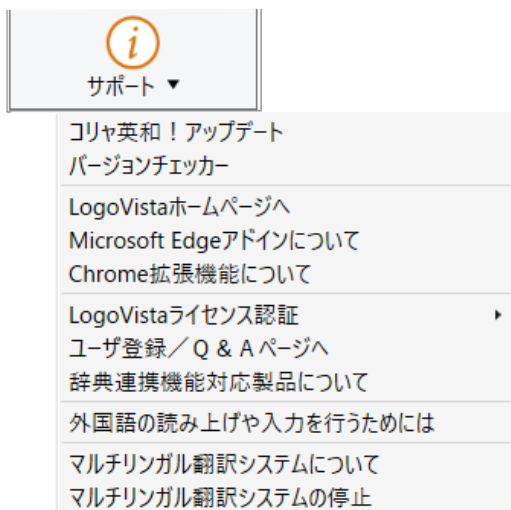


Microsoft Officeのアプリケーションや一太郎などに翻訳機能をアドインしたり、解除したりします。

※詳細は、[第6章 アプリケーションで翻訳するには] をご覧ください。

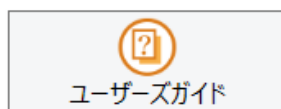
その他の機能.....

サポート



コリヤ英和！アップデート	インターネット上のサーバからコリヤ英和！一発翻訳の更新情報を取得し、最新バージョンが存在すれば、アップデートをダウンロードします。
バージョンチェッカー	現在お使いのコリヤ英和！一発翻訳のバージョン情報や状態が表示されます。
LogoVistaホームページへ	LogoVistaのホームページを開きます。
Microsoft Edge アドインについて	Microsoft Edge を使用してホームページを翻訳する際の翻訳モジュールのインストーラや機能拡張、注意事項について記述しています。
Chrome機能拡張について	Google Chrome を使用してホームページを翻訳する際の翻訳モジュールのインストーラや機能拡張、注意事項について記述しています。
LogoVistaライセンス認証	ライセンス認証を起動します。
ユーザ登録/Q&Aページへ	製品のユーザ登録、サポートQ&Aページを開きます。
辞典連携機能対応製品について	辞典連携機能対応製品および翻訳辞書インストーラのダウンロードページを開きます。
外国語の読み上げや入力を行うためには	外国語の読み上げや音声入力についてのヘルプが表示されます。
マルチリンガル翻訳システムについて	Windowsシステムの起動と同時に自動的に始動し、常駐します。マルチリンガル翻訳システムが常駐することで、使用中のアプリケーションを再起動することなく新しい翻訳方向での翻訳が可能になりますが、メモリ使用量が増加する場合があります。その際には、「マルチリンガル翻訳システムの停止」を行ってください。
マルチリンガル翻訳システムの停止	マルチリンガル翻訳システムを停止します。

ユーザズガイド



ロゴヴィスタのユーザサポートページにアクセスし、LogoVista製品マニュアルの一覧を表示します。

画像からテキストへ

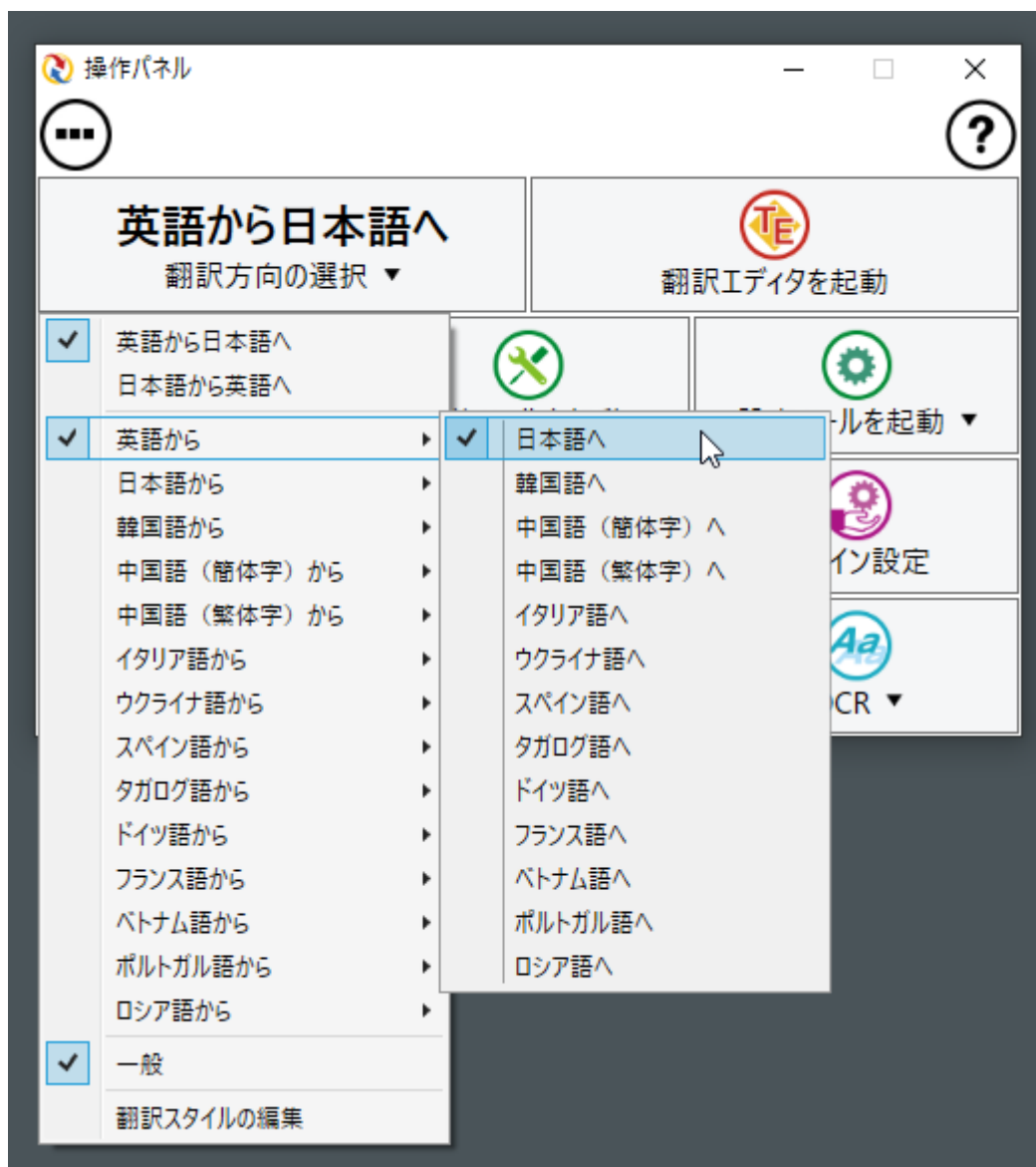


OCR翻訳	OCR翻訳を起動します。詳しいご利用方法はオンラインヘルプをご参照ください。
Readiris PRO	OCR（光学文字認識）ソフト「Readiris」を起動します。詳しい使い方は「Readiris」のメニューからヘルプを選択してください。

翻訳方向の選択

[翻訳方向の選択]ボタンは、[操作パネル]で翻訳を行う際の翻訳方向を切り替えるときに使用します。

◆コリャ英和！一発翻訳での翻訳方向の変更方法



※画像はマルチリンガル

翻訳スタイルの選択

翻訳スタイルは、翻訳結果を左右する条件をまとめたもので、使用する辞書（専門辞書、分野辞書、ユーザ辞書）が含まれます。ここでは、翻訳スタイルの選択方法を説明します。

◆ 翻訳スタイルについて（英日・日英専用）

あらかじめ用意されている翻訳スタイルには、それぞれに名前がつけられています。コリヤ英和！一発翻訳では、次の翻訳スタイルを用意しています。このうち、「一般」がデフォルトの翻訳スタイルです。「ユーザ設定 1」～「ユーザ設定 4」は、用意されたジャンル以外の翻訳スタイルを使いたいときに設定していただく翻訳スタイルです。以下の翻訳スタイルがあります。英日、日英ともに名称は同じです。

一般	ビジネス・法律	電気・電子・情報	科学・機械	理化学
趣味・娯楽	ユーザ設定 1	ユーザ設定 2	ユーザ設定 3	ユーザ設定 4

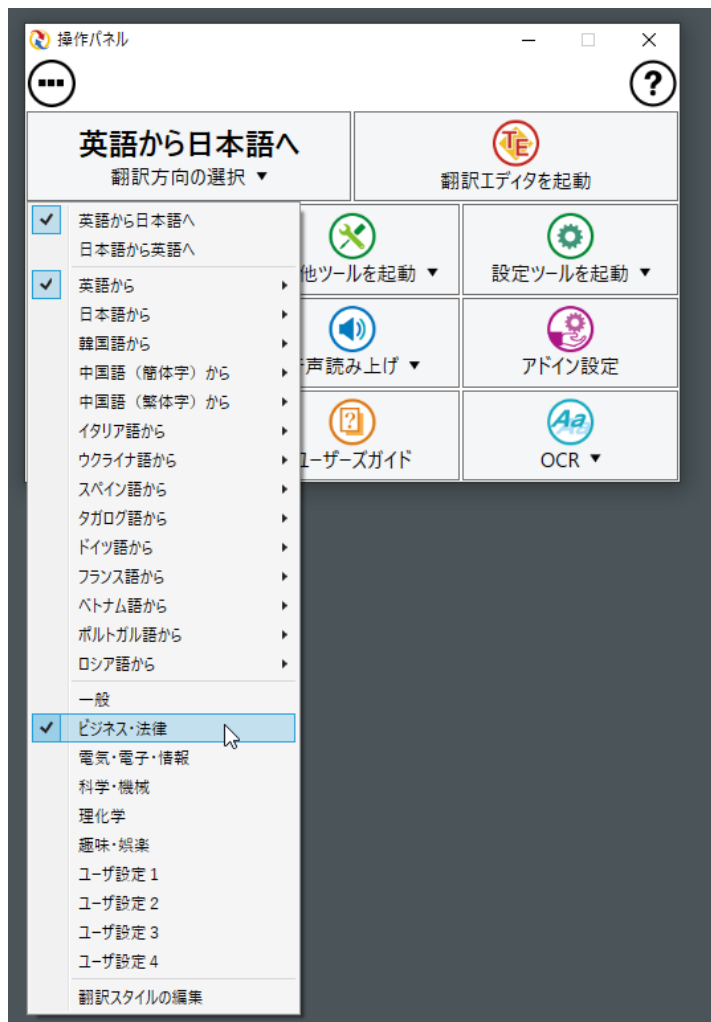
これを使い分けることによって、原文をより正確に翻訳できるようになります。

注意！

● 翻訳スタイルは、英日・日英専用の機能です。

翻訳スタイルを変更するには.....

翻訳スタイルは、[翻訳方向の選択] ボタンをクリックしてメニューから選択して設定できます。[操作パネル] では、以下のメニューが表示されます。



このメニューから使用する翻訳スタイルを選択すると、その翻訳スタイルに設定されている辞書や翻訳設定が活用されて翻訳されます。

旧製品のユーザデータを別のコンピュータに移す場合は、事前に「ユーザデータ更新ツール」を使用し、旧データファイルを本製品で使用可能にするための更新処理を行ってください。

「ユーザデータ更新ツール」の詳しい使い方は、「ユーザデータ更新ツール」のオンラインヘルプをご参照ください。

ファイル翻訳を起動

ファイル翻訳は、指定された原文ファイルを翻訳し、別の訳文ファイルを生成する翻訳アプリレットです。テキストファイル、HTMLファイル、Word、Excel、PowerPointの文書ファイルを翻訳することができます。

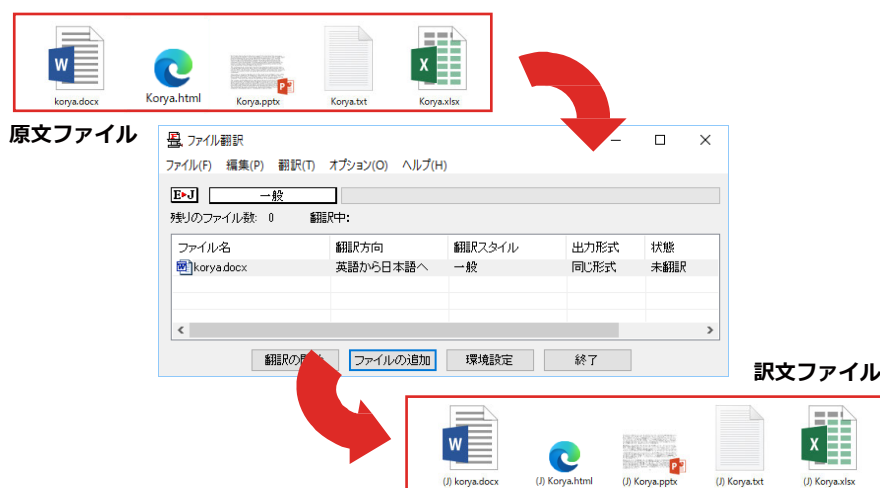


◆ファイル翻訳で行える翻訳

ファイル翻訳では、原文となるファイルを翻訳し、訳文を別のファイルに保存します。

- 一度に複数の原文ファイルを翻訳できます。
- ファイルごとに、適用する翻訳方向、翻訳スタイルを設定できます。
- テキストファイル、HTMLファイルなど、異なるタイプのファイルを一括して翻訳できます。

■ ファイル翻訳の流れ



翻訳できるファイル.....

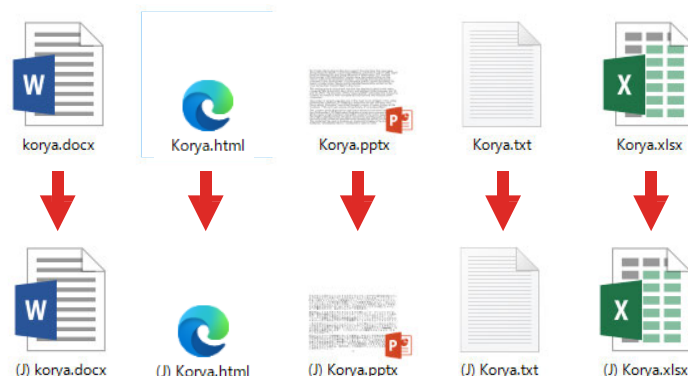
ファイル翻訳では、次のファイルを翻訳できます。

- テキストファイル
- HTMLファイル（Webブラウザで保存されたファイル、拡張子「htm」「html」など）
- Word文書ファイル（拡張子「doc」「docx」「rtf」）※1
- Excel文書ファイル（拡張子「xls」「xlsx」）※1
- PowerPoint文書ファイル（拡張子「ppt」「pptx」）※1

※1 対応しているアプリケーションのバージョンは、2016/2019/2021です。

翻訳されたファイル.....

翻訳結果は、それぞれに同じ種類（同じ拡張子）の別のファイルに書き出され、初期値では、元のファイルがあるフォルダと同じフォルダに保存されます。

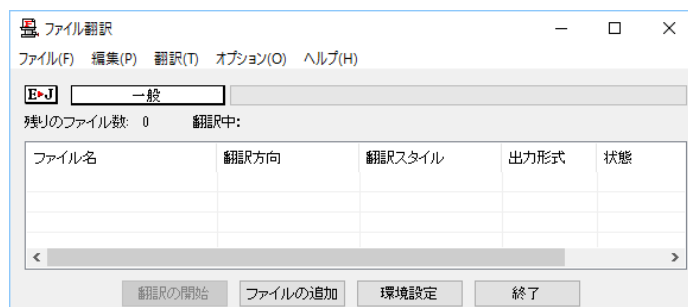


◆ファイル翻訳を起動するには

ファイル翻訳は、次の方法で起動することができます。



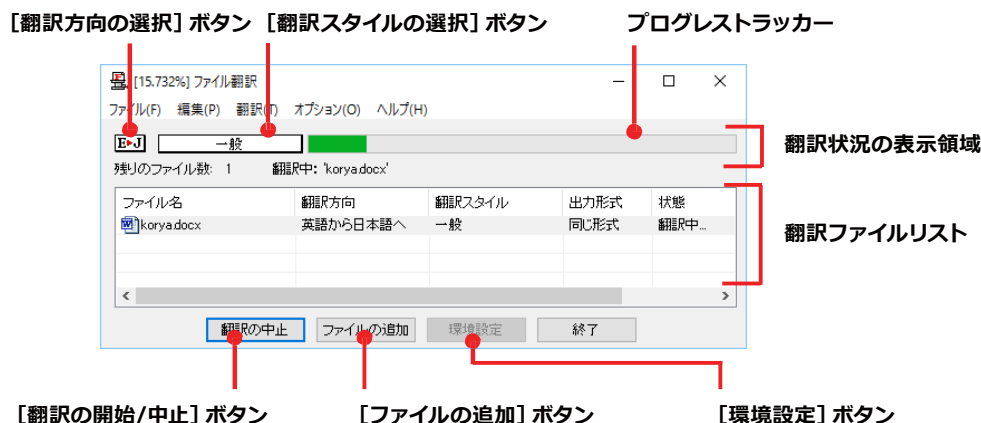
デスクトップの[コリヤ英和! (マルチリンガル) 操作パネル]をダブルクリックして、操作パネルを起動し、[ファイル翻訳を起動]をクリックします。



[ファイル翻訳]ウィンドウが表示されます。

◆[ファイル翻訳]ウィンドウの各部の名称と機能

[ファイル翻訳]ウィンドウの主な各部には、次の名称と機能があります。



【翻訳方向の選択】ボタン

原文ファイルを追加したときに適用される翻訳方向が表示されます。何もしないと、最後に翻訳したときに使われた翻訳方向が表示されます。変更するときは、右クリックしてコンテキストメニューから目的の翻訳方向を選択します。

【翻訳スタイルの選択】ボタン

原文ファイルを追加したときに適用される翻訳スタイルが表示されます。何もしないと、最後に翻訳したときに使われた翻訳スタイルが表示されます。変更するときは、右クリックしてコンテキストメニューから目的の翻訳スタイルを選択します。

翻訳状況の表示領域

ファイルの翻訳中に、以下の情報を表示します。

プログレストラッカー	翻訳の進行状況を表示します。翻訳が開始されると、左から右にバーが進み、進行状況を示します。
残りのファイル数	複数のファイルを翻訳するとき、まだ翻訳していないファイルの数を表示します。すべてのファイルを翻訳し終わると「0」になります。
翻訳中	翻訳中のファイル名を表示します。

翻訳ファイルリスト

原文ファイルを追加すると、このリストに表示されます。以下の情報が表示されます。

「ファイル名」「翻訳方向」「翻訳スタイル」「出力形式」「状態(未翻訳、翻訳待機中、翻訳中、翻訳済み)」「ファイルサイズ」
各行を右クリックすると、コンテキストメニューで翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。

【翻訳の開始】/【翻訳の中止】ボタン

翻訳ファイルリストに表示されているファイルの翻訳を開始します。翻訳中は【翻訳の中止】ボタンになり、クリックすると翻訳を中止します。

【ファイルの追加】ボタン

翻訳ファイルリストにファイルを追加します。クリックすると、【ファイルを開く】ダイアログが表示されます。

【環境設定】ボタン

ファイル翻訳の環境を設定します。このボタンをクリックすると、【ファイル翻訳の環境設定】ダイアログが開きます。

コンテキストメニュー

ファイルリストの上でマウスの右ボタンをクリックすると、次のコンテキストメニューが表示されます。ファイルごとに翻訳方向や翻訳スタイルを変更できます。また、リストから削除する際にもコンテキストメニューを使います。

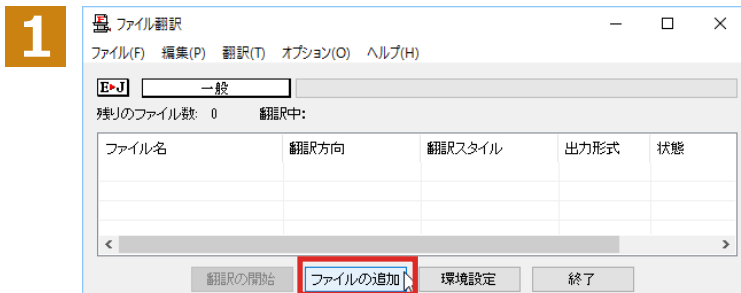
翻訳方向(T)	▶
翻訳スタイル(S)	▶
出力形式(O)	▶
リストから削除(D)	

◆ 翻訳を実行するには

翻訳するファイルの登録.....

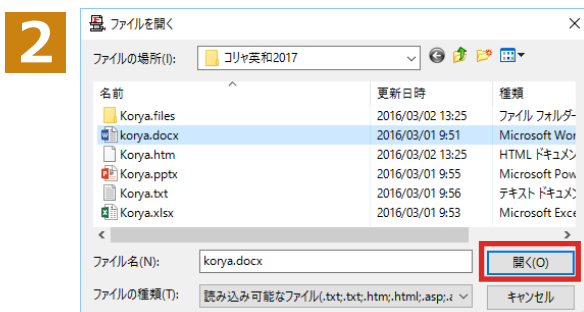
まず、翻訳する原文ファイルを「[ファイル翻訳]」ウィンドウのファイルリストに登録します。「[ファイルの追加]」ボタンで登録する方法と、ドラッグ&ドロップして登録する方法があります。

[ファイルの追加]ボタンで登録する

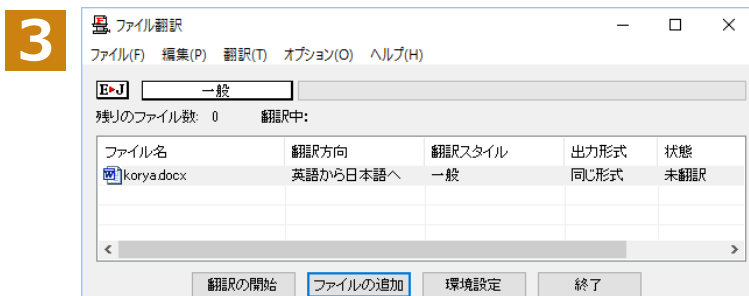


[ファイルの追加]ボタンをクリックします。

[ファイルを開く]ダイアログが開きます。



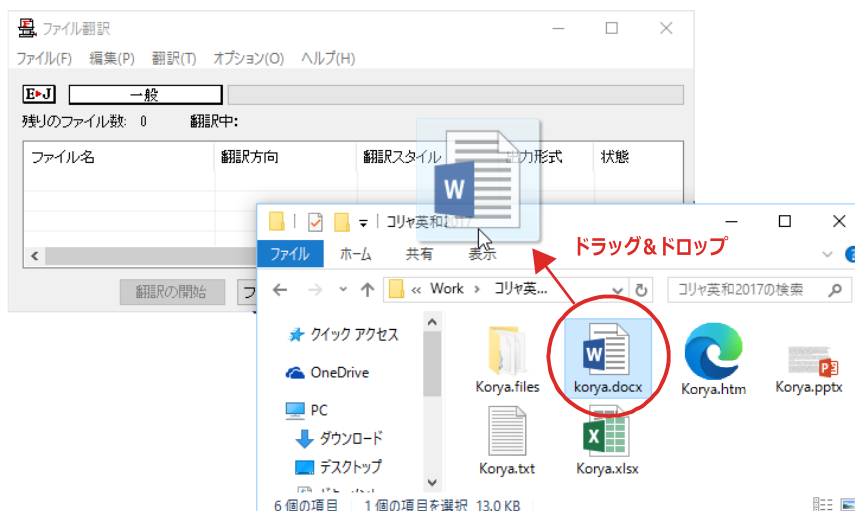
登録するファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



原文ファイルがリストに登録されます。

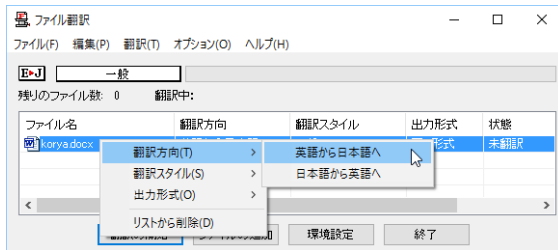
ドラッグ&ドロップして登録する

Windowsのエクスプローラーで原文ファイルを選択し、「[ファイル翻訳]」ウィンドウにドラッグ&ドロップします。これで、原文ファイルがリストに登録されます。複数のファイルを一度にドラッグ&ドロップで登録することもできます。



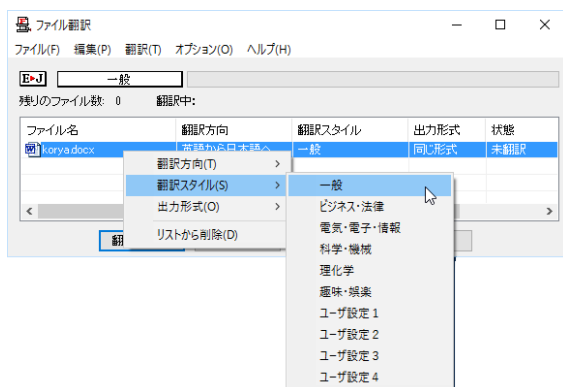
翻訳方向の変更

ファイルリストに登録した原文ファイルの個別の翻訳方向は、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、英日から日英に変更するときには、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから[翻訳方向]→[日本語から英語へ]を選択します。



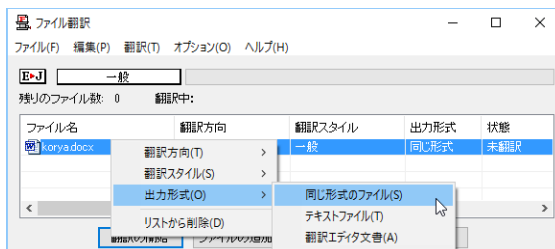
翻訳スタイルの変更

ファイルリストに登録した原文ファイルの個別の翻訳スタイルは、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、[一般]から[ビジネス・法律]に変更するときには、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから[翻訳スタイル]→[ビジネス・法律]を選択します。



出力形式の変更

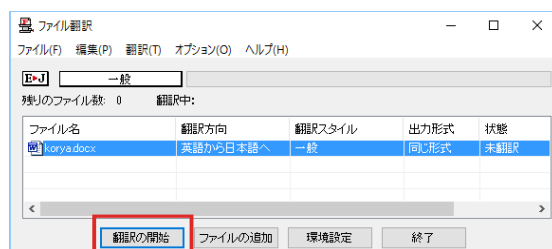
ファイルリストに登録した原文ファイルの出力形式は、コンテキストメニューで個々に変更します。例えば、翻訳エディタ文書に変更するときには、対象の原文ファイルを選択し、右クリックして開くメニューから[出力形式]→[翻訳エディタ文書]を選択します。



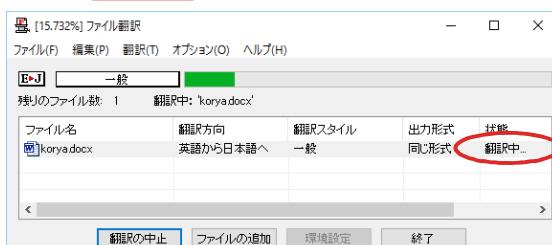
翻訳の実行

翻訳方向や、翻訳スタイルが設定できたら、[翻訳の開始] ボタンで翻訳を開始します。

1



[翻訳の開始]ボタンをクリックします。



先頭のファイルから翻訳が実行されます。翻訳中は、プログレストラッカーが伸び、[状態]の列に「翻訳中」と表示されます。

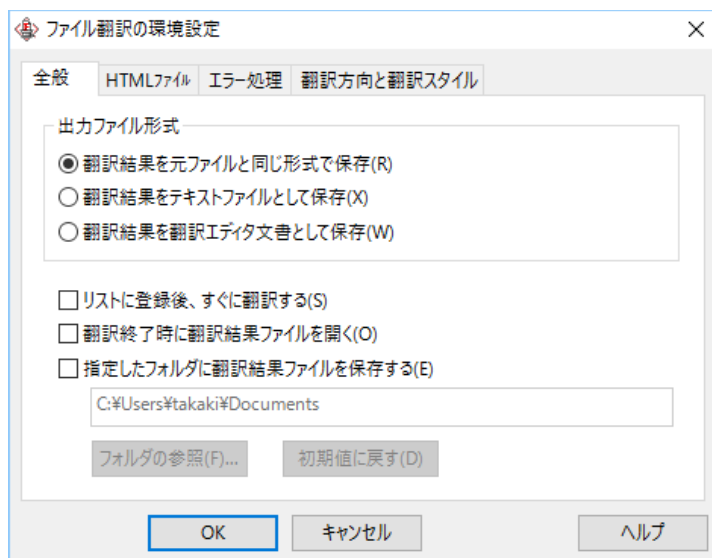
翻訳された訳文ファイルは、初期値では、原文ファイルと同じフォルダに生成されます。

◆ファイル翻訳の環境を設定するには

ファイル翻訳の動作を変更したり、翻訳対象のHTMLファイルを指定したりすることができます。ファイル翻訳の環境設定は、[ファイル翻訳] ウィンドウの [環境設定] ボタンをクリックするか、[オプション] メニューから [ファイル翻訳の環境設定] を選択し、[ファイル翻訳の環境設定] ダイアログを表示されて行います。

◆ファイル翻訳の動作を設定するー [全般] タブ

[ファイル翻訳の環境設定] ダイアログの [全般] タブでは、以下の設定を行い、動作を変更することができます。



[出力ファイル形式]

翻訳ファイルリストに原文ファイルを追加したときに設定される出力形式を選択します。初期値では、このラジオボタンは [翻訳結果を元のファイルと同じ形式で保存] になっています。

[リストに登録後、すぐに翻訳する]

翻訳ファイルリストに原文ファイルを追加すると、すぐに翻訳を開始します。翻訳方向と翻訳スタイルは、[ファイル翻訳] ダイアログの [翻訳方向の選択] ボタンおよび [翻訳スタイルの選択] ボタンで設定されているものが適用されます。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

[翻訳終了時に翻訳結果ファイルを開く]

翻訳が終了すると、翻訳結果のファイル形式に従ってアプリケーションソフトを起動し、翻訳結果を表示します。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

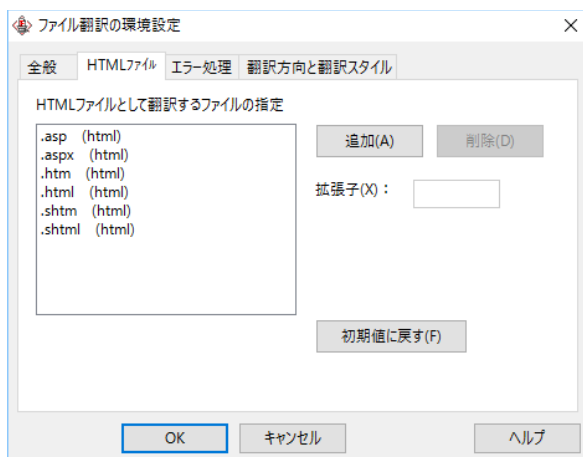
[指定したフォルダに翻訳結果ファイルを保存する]

チェックボックスがオンになっていると、翻訳結果のファイルまたはフォルダが保存先指定ボックスに入力したフォルダに保存されます。オフになっていると、訳文ファイルが原文ファイルと同じフォルダに保存されます。初期値では、このチェックボックスはオフになっています。

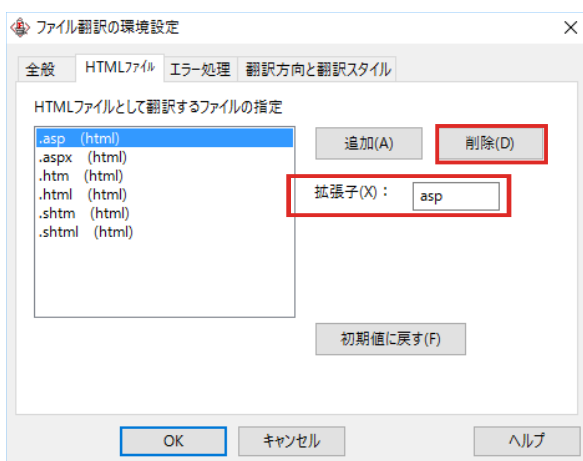
[保存先指定]ボックス	訳文ファイルを保存するフォルダを指定します。
[フォルダの参照]ボタン	クリックすると [フォルダの参照] ダイアログが表示されます。保存したいフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックすると、そのフォルダのディレクトリが [保存先指定] ボックスに入力されます。
[初期値に戻す]ボタン	クリックすると、保存先が My Documentに戻ります。

◆ 翻訳対象の HTML ファイルを指定する ―[HTML ファイル]タブ

[HTML ファイル] タブでは、ファイル翻訳で HTML ファイルとして識別させたい拡張子の追加登録または削除ができます。ここに登録されている拡張子を基準にファイルを識別し、HTML ファイルと判断した場合、自動的にタグを正しく処理して翻訳します。



拡張子の追加と削除

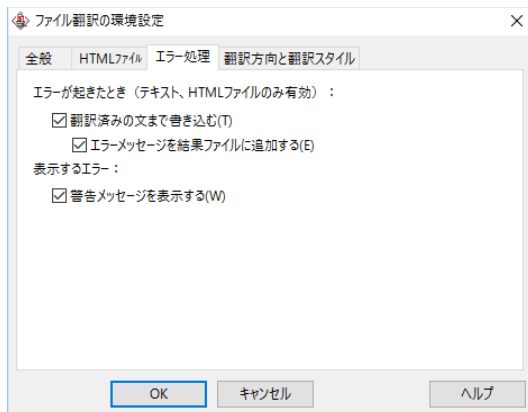


拡張子を追加する場合は、[追加] ボタンをクリックします。[拡張子] 入力ボックスが表示されますので、キーボードから拡張子を入力して登録します。

拡張子を削除する場合は、対象の拡張子を選択してから [削除] ボタンをクリックします。

エラー時の処理方法を変更するには — [エラー処理] タブ.....

[エラー処理]タブでは、翻訳を行っているときに起きたエラーの処理方法を設定します。



【エラーが起きたとき（テキスト、HTMLファイルのみ有効）】

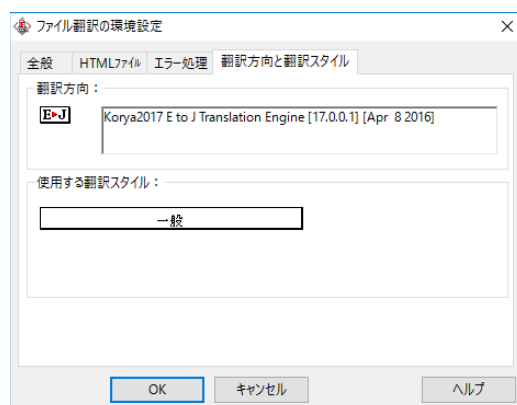
【翻訳済みの文まで書き込む】	エラー発生時以前に翻訳を終了していた文までを保存先のファイルに書き込みます。オフにすると、翻訳済みの文は保存されません。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。
【エラーメッセージを結果ファイルに追加する】	エラーの内容を保存先のファイルに書き込みます。このタブは、【翻訳済みの文まで書き込む】チェックボックスがオンになっているときに有効です。この初期値ではこのチェックボックスがオンになっています。

【表示するエラー】

【警告メッセージを表示する】	エラーが発生したときにダイアログを開き、警告メッセージを表示します。初期値では、このチェックボックスがオンになっています。
----------------	---

翻訳方向と翻訳スタイルを設定するには — [翻訳方向と翻訳スタイル] タブ.....

原文ファイルを追加したとき、デフォルトで適用される翻訳方向と翻訳スタイルを指定します。



【翻訳方向】

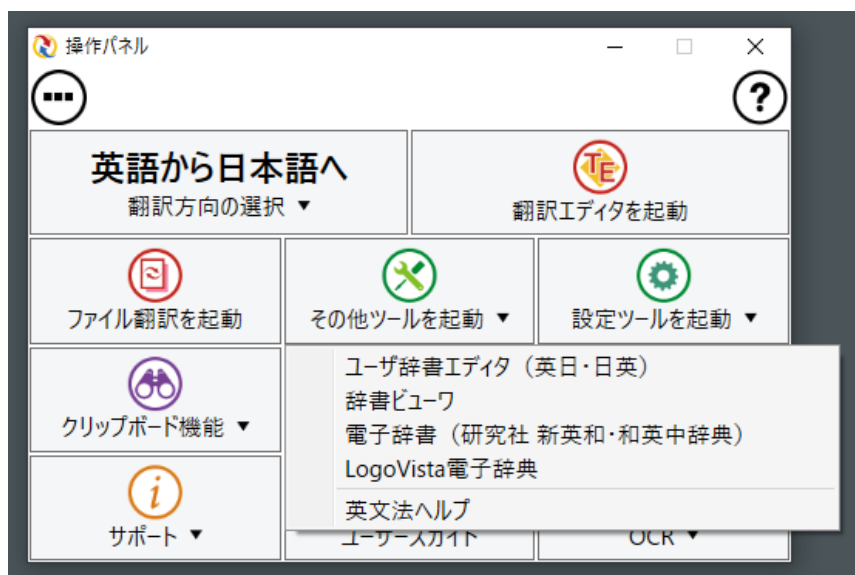
デフォルトの翻訳方向が表示されます。クリックするとリストから別の翻訳方向を選択して変更できます。

【使用する翻訳スタイル】

原文ファイルを追加したときにデフォルトで適用される翻訳スタイルが表示されます。クリックするとリストから別の翻訳スタイルを選択して変更できます。

その他ツールの起動

「その他ツールを起動」ボタンには、コリヤ英和！一発翻訳のいろいろな翻訳アプレットや辞書ツールが用意されています。ここでは、いろいろな翻訳アプレットの概要を紹介します。



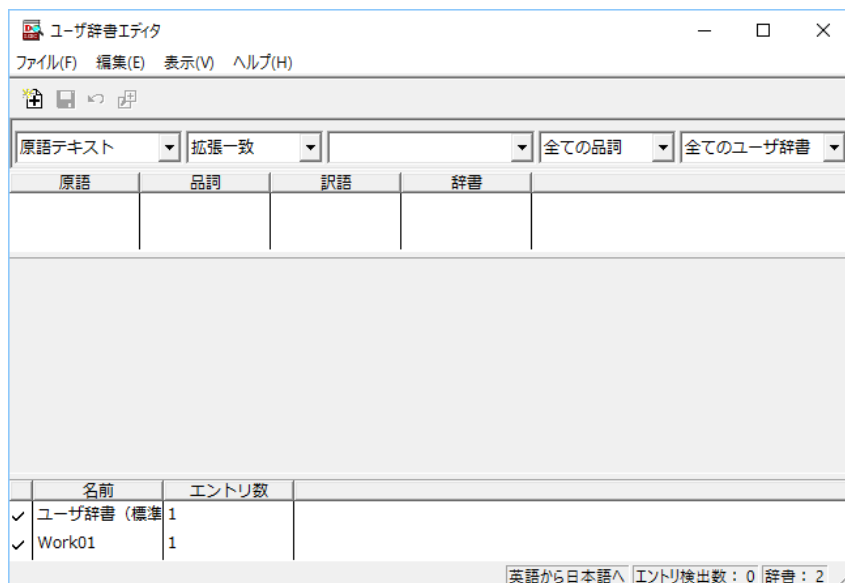
◆ユーザ辞書エディタを使うには (英日・日英翻訳専用)

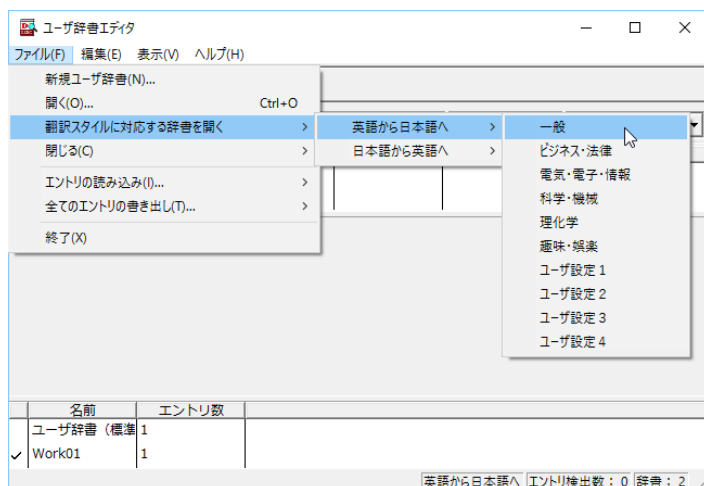
ユーザ辞書はお使いになる方が独自に語句を登録し、地名や人名など辞書にはない独特な語句を翻訳するときなどに活用します。このユーザ辞書に登録された語句などの編集を行うアプレットが「ユーザ辞書エディタ」です。ここではユーザ辞書エディタの概要を紹介します。

ユーザ辞書エディタを起動するには.....

1 「その他ツールの起動」をクリックし、表示されるメニューから「ユーザ辞書エディタ」を選択します。ユーザ辞書エディタが起動し、次のウィンドウが開きます。

2 「ユーザ辞書 (標準)」が開きます。





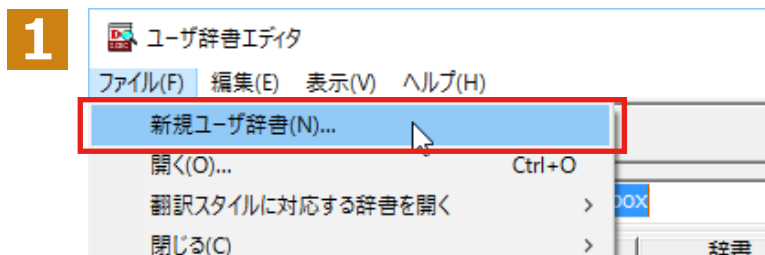
最初にユーザ辞書エディタを起動したときは、[英語から日本語へ]が選択されています。[ファイル]メニューから[翻訳スタイルに対応する辞書を開く]を選択し、翻訳方向と翻訳スタイルを指定します（この例では[英語から日本語へ]の「一般」）。



ユーザ辞書は複数作成でき、用途に合わせて使い分けことができます。使用するユーザ辞書は、翻訳スタイルを編集するときに指定できます。実際の翻訳作業では、翻訳スタイルを選択することで使用するユーザ辞書を使い分けれます。「翻訳スタイルに対応する辞書を開く」というのは、英日または日英の翻訳スタイルに登録（ロード）されているユーザ辞書のことです。複数のユーザ辞書をロードしているときは、すべてのユーザ辞書を対象にします。ここでは、翻訳スタイル「一般」にあらかじめ用意されている「ユーザ辞書（標準）」だけがロードされているものとして説明しています。

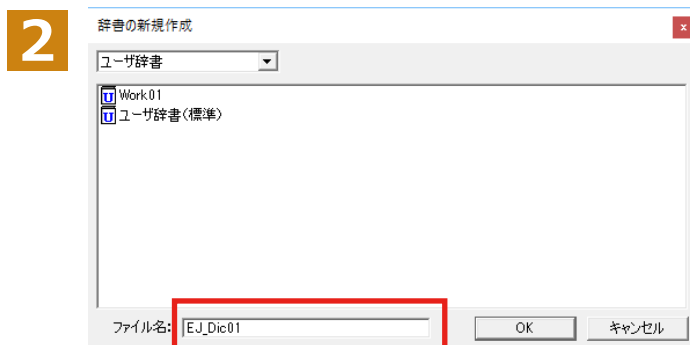
新規にユーザ辞書を作成するには.....

ユーザ辞書エディタから新規にユーザ辞書を作成することもできます。

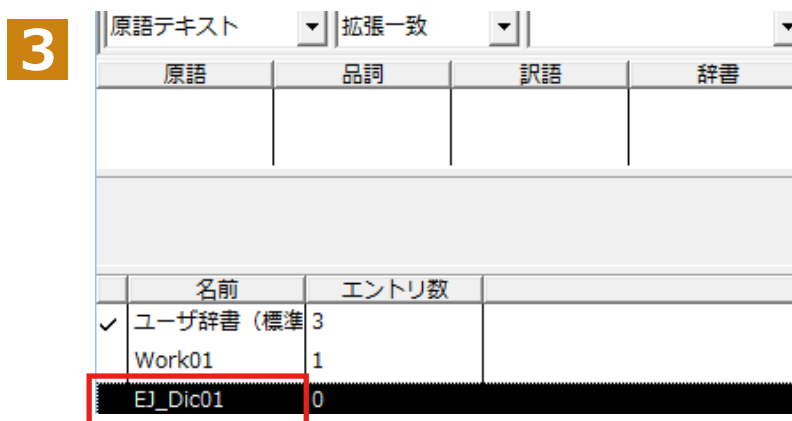


[ファイル]メニューから[新規ユーザ辞書]を選択します。

[辞書の新規作成]ダイアログが開きます。



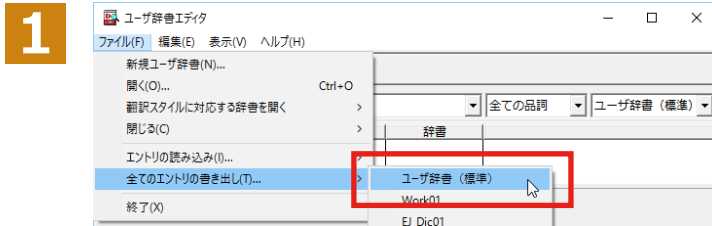
任意のファイル名を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



ユーザ辞書エディタに戻ります。作成したユーザ辞書はオープンされた状態になっています。これで新規にユーザ辞書を作成できます。

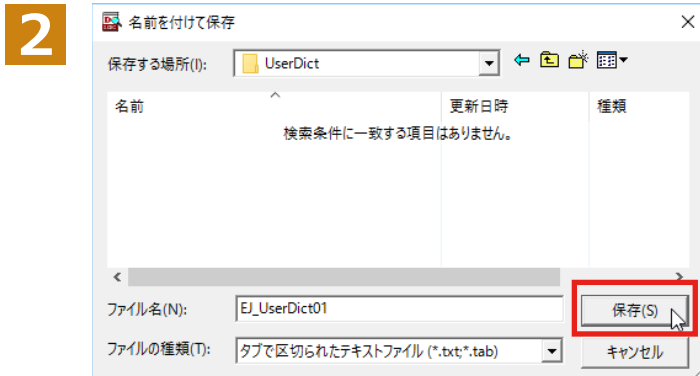
登録した語句を書き出すには.....

ユーザ辞書に登録した語句やその情報は、テキストファイルに書き出すことができます。テキストファイルに書き出すと、ワープロソフトや表計算ソフトで語句を管理・編集することができます。また、他のユーザ辞書にテキストファイルを読み込んで語句を一括して登録することができます。



[ファイル] メニューから [全てのエントリの書き出し] を選択し、対象のユーザ辞書 (この例では「ユーザ辞書 (標準)」) を選択します。

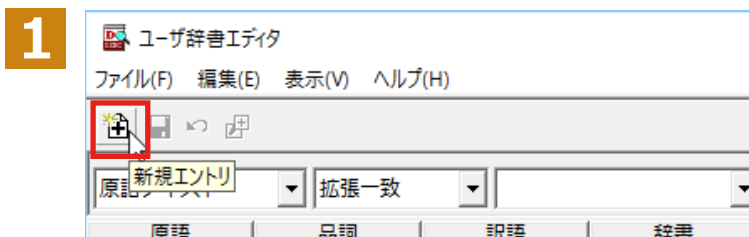
[名前を付けて保存] ダイアログボックスが開きます。



保存先のフォルダに移動し、任意にファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックします。

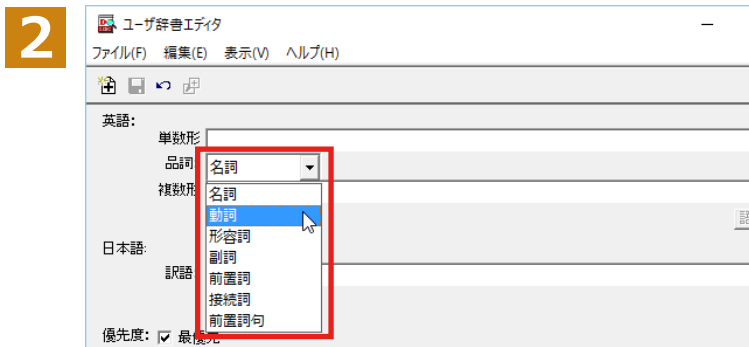
語句を登録するには.....

ユーザ辞書エディタで語句を登録するときは、以下の手順で行います。



[新規エントリ] ボタンをクリックします。

登録画面 (詳細表示) に変わります。



これは名詞の語句を登録するための画面です。登録する語句の品詞によって画面が異なります。たとえば、[品詞] のプルダウンリストから [動詞] を選択します。

動詞の登録画面になります。



例として、英語の語句「live」を他動詞で日本語訳を「～の生活をする」として登録する場合は、文型を「他動詞」にし、活用形や日本語訳を図のように入力、設定します。



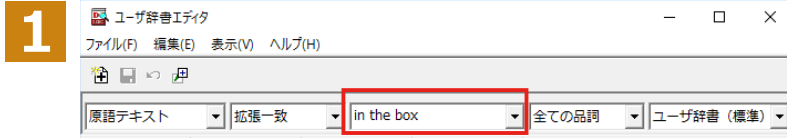
[不定詞形] を入力し、[語尾変化] ボタンをクリックすると、活用形が表示されます。必要に応じて修正します。

設定できたら、[エントリ保存] ボタン () をクリックします。

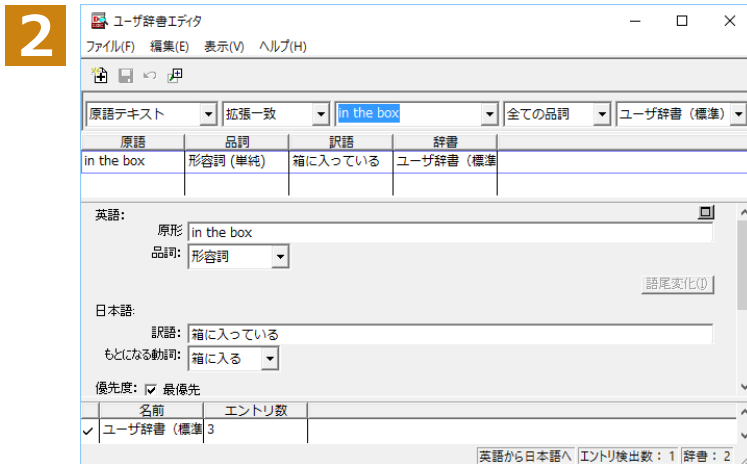
画面が戻ります。登録した語句がリストに表示されます。終了するときは、[ファイル] メニューから [終了] を選択するか、右上のクローズボックスをクリックします。

語句を編集するには.....

ユーザ辞書に登録した語句はユーザ辞書エディタで編集することができます。ユーザ辞書エディタで編集する語句を検索し、目的の語句を呼び出して編集します。



検索フィールドの見出し語入力ボックスに編集する語句を入力します。

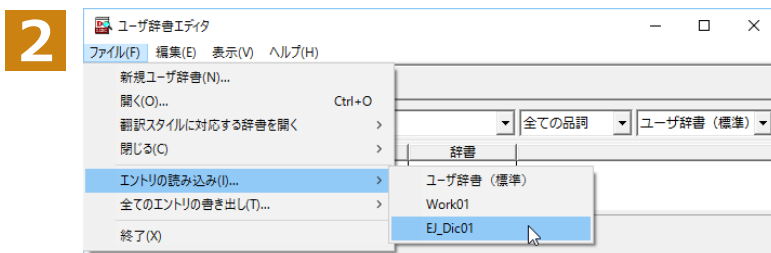


見出し語が入力されると、検索され、結果がリストに表示されます。必要な編集作業を行い、[エントリ保存] ボタンをクリックして保存し直します。

テキストファイルの語句を読み込むには.....

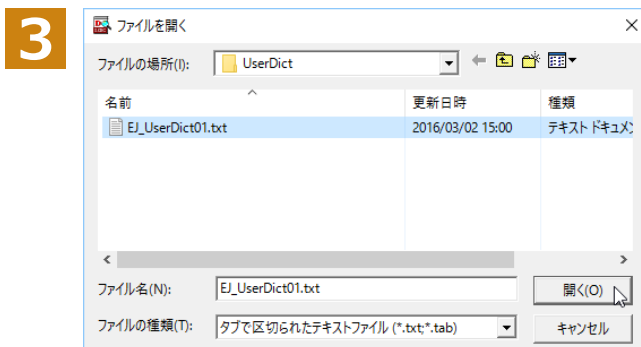
「登録した語句を書き出すには」で書き出したテキストファイルを別のユーザ辞書に読み込むことができます。これで一括して語句を登録することができます。

1 読み込むユーザ辞書を開いておきます。



[ファイル] メニューから [エントリの読み込み] を選択し、読み込み先のユーザ辞書を選択します。

[ファイルを開く] ダイアログボックスが開きます。



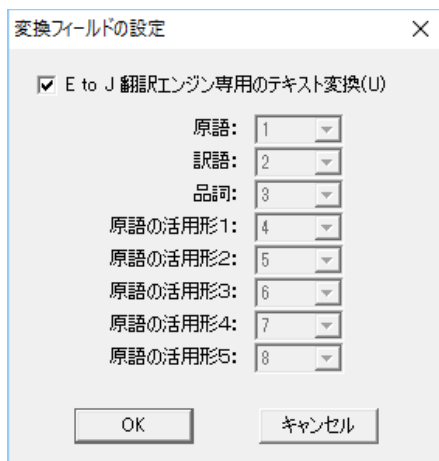
ユーザ辞書形式のテキストファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

[変換フィールドの設定] ダイアログボックスが表示されます。



ユーザ辞書から書き出したテキストファイルは1つのエントリが1行にまとめられ、項目間はタブ記号で区切られます。項目には順番があります。順番が異なると不正な内容が登録されてしまいます。[変換フィールドの設定] ダイアログボックスは項目の順番を調整するためにあります。通常は、このまま [OK] ボタンをクリックしてかまいません。

4



ここでは、このまま [OK] ボタンをクリックします。これでテキストファイルを読み込むことができます。

☞ 変換フィールドの設定の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

◆辞書ビューアで辞書引きするには（英語）

[その他ツールを起動] ボタンのリストから [辞書ビューア] を選択すると、[辞書ビューア] ウィンドウが開きます。辞書ビューアでは、英日・日英翻訳で、次のいずれかの辞書で辞書引きすることができます。その他の翻訳方向では、翻訳辞書で辞書引きすることができます。

● 研究社 新英和・和英中辞典 ● クイック辞書 ● 翻訳辞書

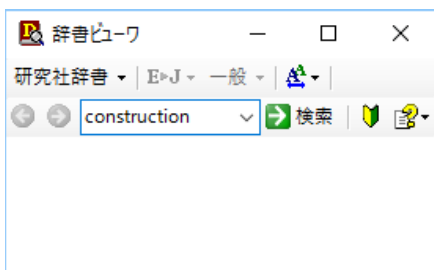
基本的な辞書引き.....

1

[その他ツールを起動] ボタンをクリックして表示されるメニューから「辞書ビューア」を選択します。

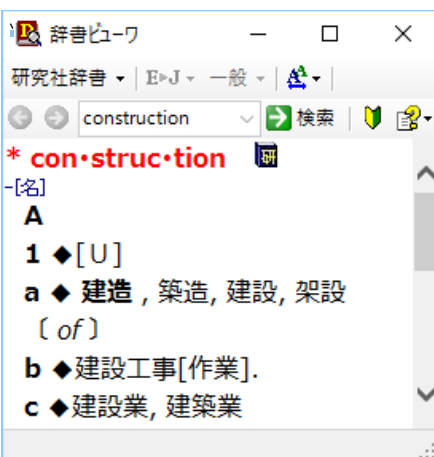
[辞書ビューア] ウィンドウが開きます。

2



ツールバーの入力フィールドに辞書引きする語句を入力し、[検索] ボタンをクリックします。

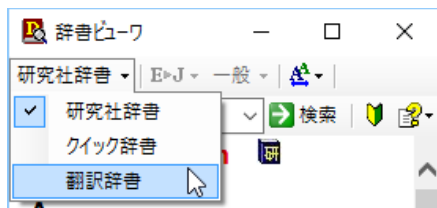
3



辞書引き結果が表示されます。この例では、研究社 新英和・和英中辞典で辞書引きが行われました。

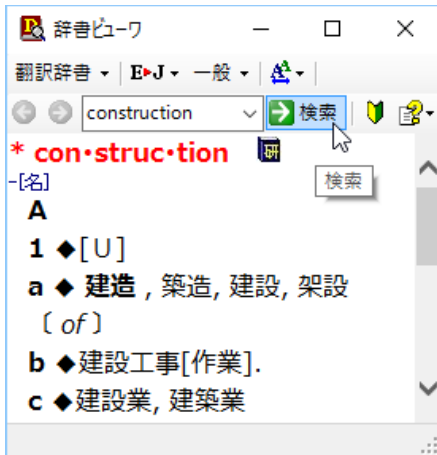
辞書の変更.....

4

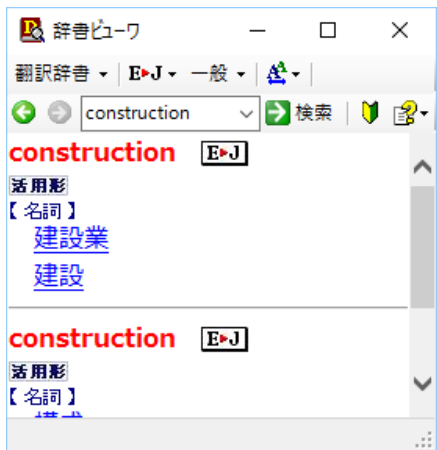


今度は、別の辞書で辞書引きします。辞書のリストから「翻訳辞書」を選択します。

5

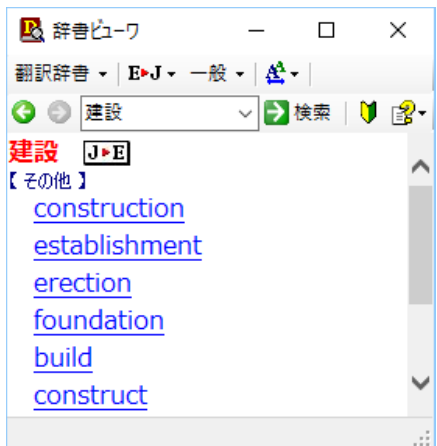


[検索]ボタンをクリックします。



翻訳辞書による辞書引き結果が表示されます。

6



青字をクリックすると、関連する項目を参照できます。

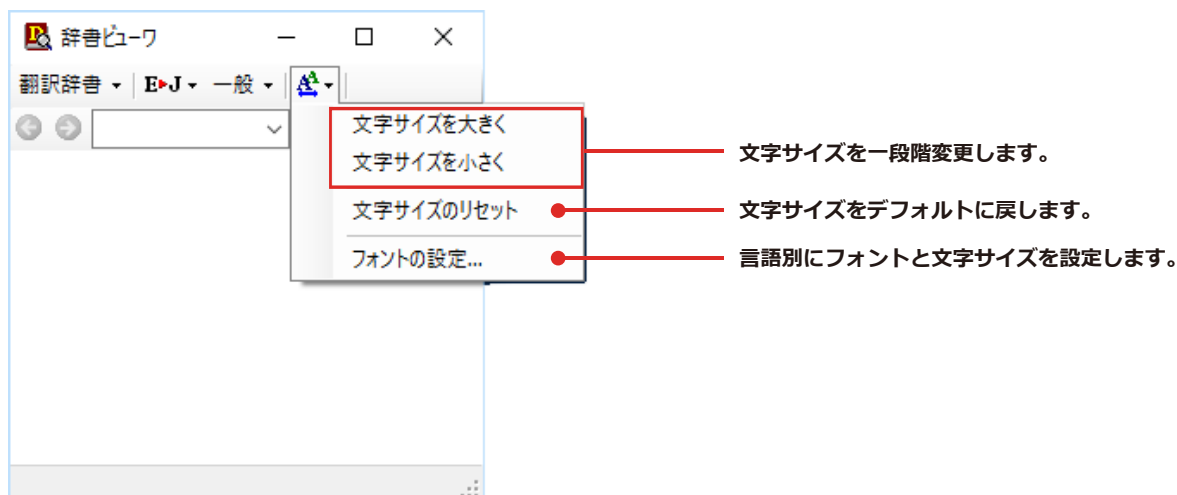


ヒント

- ・[戻る]ボタンをクリックすると、1つ前の辞書引き結果に戻ることができます。[進む]ボタンで1つ後の辞書引き結果に進むことができます。
- ・[クイック辞書]を選択した場合は、より高速な辞書引きが可能な専用の辞書から辞書引きすることができます。語句によっては、英語の発音記号を確認することもできます。

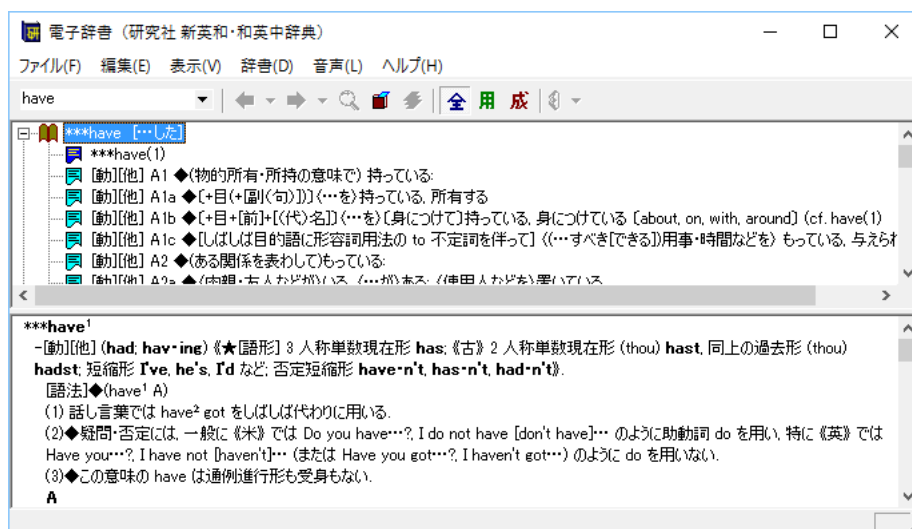
表示フォントを変更する.....

[フォント設定]ボタンをクリックするとメニューが表示され、文字サイズやフォントを変更することができます。



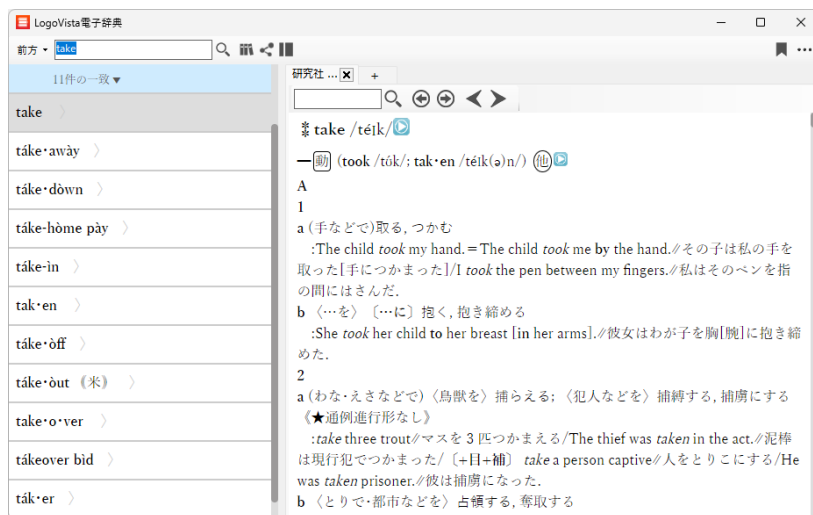
◆電子辞書（研究社 新英和・和英中辞典）

電子辞書（研究社 新英和・和英中辞典）を起動します。



◆LogoVista電子辞典

LogoVista 電子辞典ブラウザを起動します。



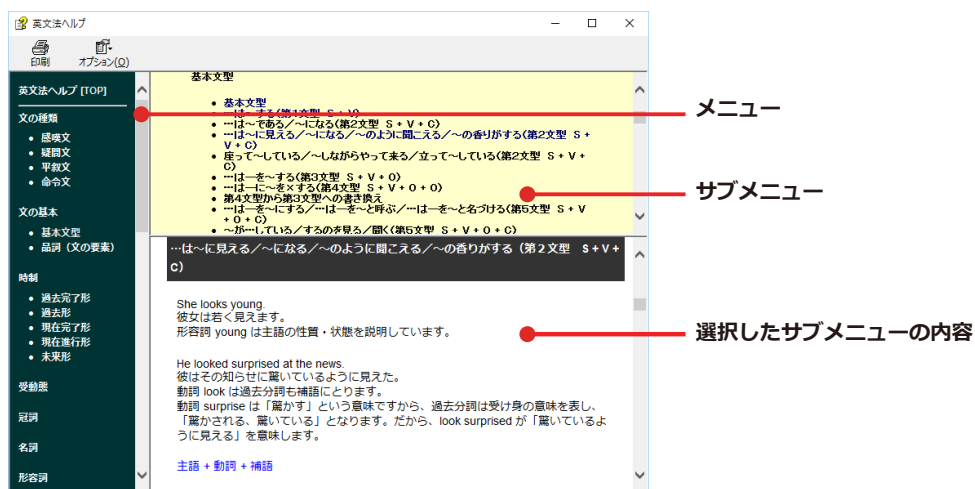
※画面は、別売の、研究社「新英和(第7版)・和英(第5版)中辞典 - 音声付き」をインストールした LogoVista 電子辞典ブラウザです。

◆英文法ヘルプを参照するには

英文法ヘルプでは、英文法の基本がまとめられています。ちょっとした疑問を解決したいときにお使いください。

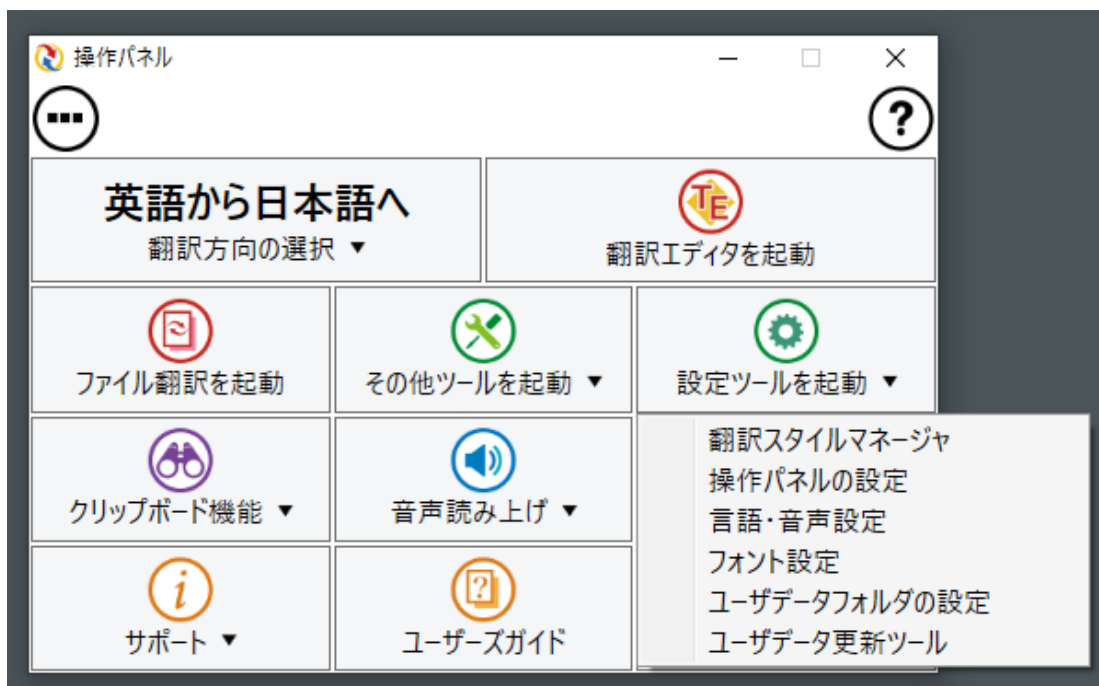
- 1 [その他ツールを起動]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[英文法ヘルプ]を選択します。
英文法ヘルプが表示されます。

- 2 左側のメニューから、読みたいタイトルをクリックし、上のフレームに表示されたサブメニューからサブタイトルをクリックします。選択した内容が、下のフレームに表示されます。



設定ツールを起動

[設定ツールを起動]ボタンには、コリヤ英和!の翻訳アプレットで使用する各種の設定が用意されています。

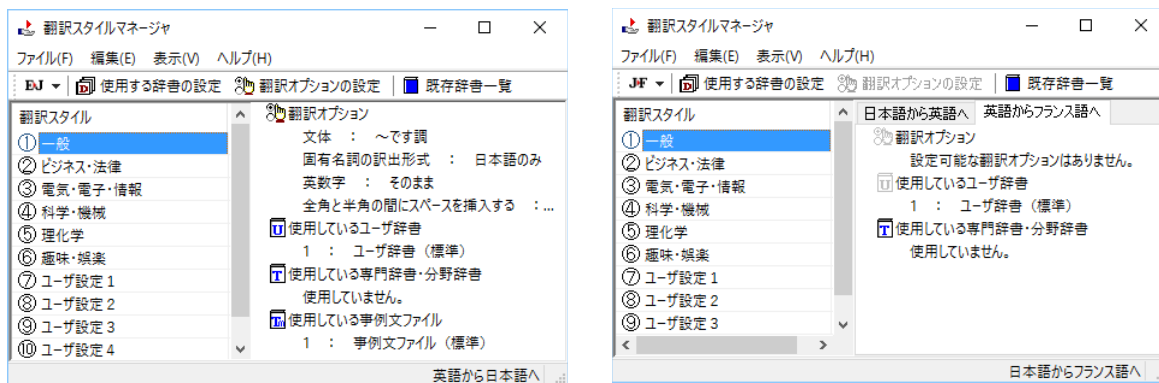


◆ 翻訳スタイルマネージャ

翻訳スタイルマネージャを起動します。

翻訳スタイルを編集するには.....

翻訳スタイルに設定されている内容は、[翻訳スタイルの選択] ボタンのメニューにある [翻訳スタイルの編集] で、いつでも編集することができます。このボタンをクリックすると、[翻訳スタイルマネージャ] が起動します。右はマルチリンガルの例です。言語によりタブで分類されています。

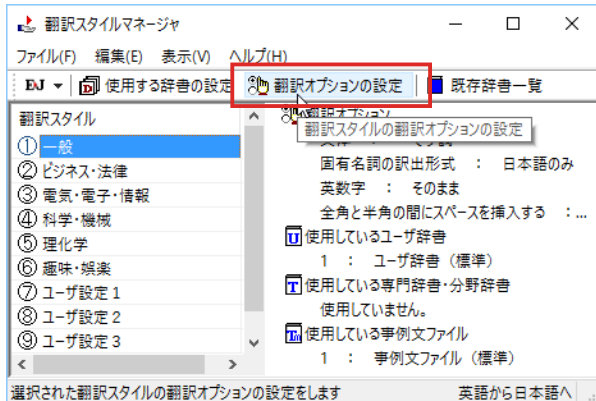


このダイアログの左側には、設定されている翻訳スタイルが一覧表示されます。その1つを選択すると、右側に設定されている内容が表示されます。

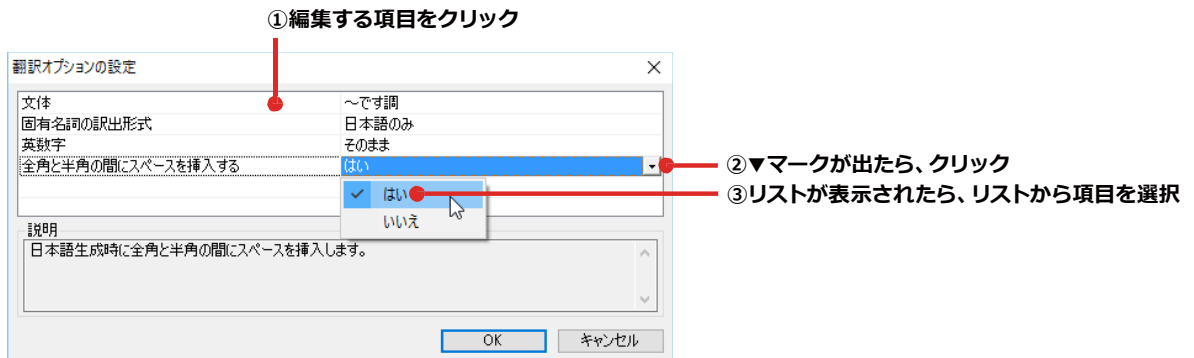
ヒント アプレットによっては、呼び出しが異なることがあります。その場合は、オンラインヘルプをご覧ください。

翻訳オプションを変更するには.....

[翻訳スタイルマネージャ]ウィンドウで、翻訳オプションを変更する翻訳スタイルを選択し、[翻訳オプションの設定]ボタンをクリックします。



これで、[翻訳オプションの設定] ダイアログが開きます。翻訳オプションでは、それぞれの項目をクリックすると、▼マークが出ますので、これをクリックして開くメニューから選択して設定します。

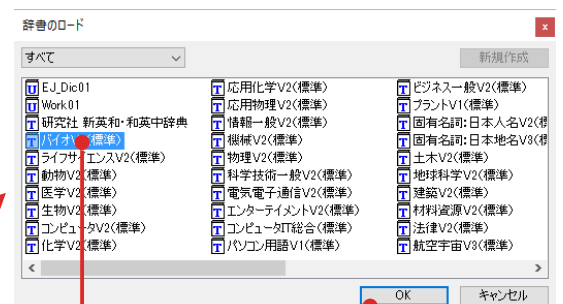
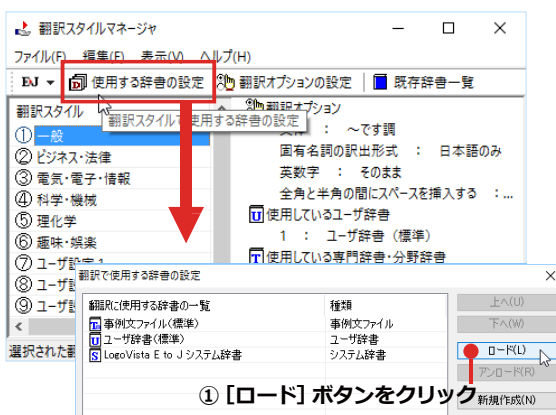


翻訳オプションの変更は、「英語から日本語へ」、「日本語から英語へ」の場合と、マルチリンガルの場合、これらを含む翻訳方向の「英語から日本語へ」、「日本語から英語へ」のタブでのみ可能です。

分野辞書・専門辞書・辞典連携機能対応製品の翻訳辞書をロード（登録）するには.....

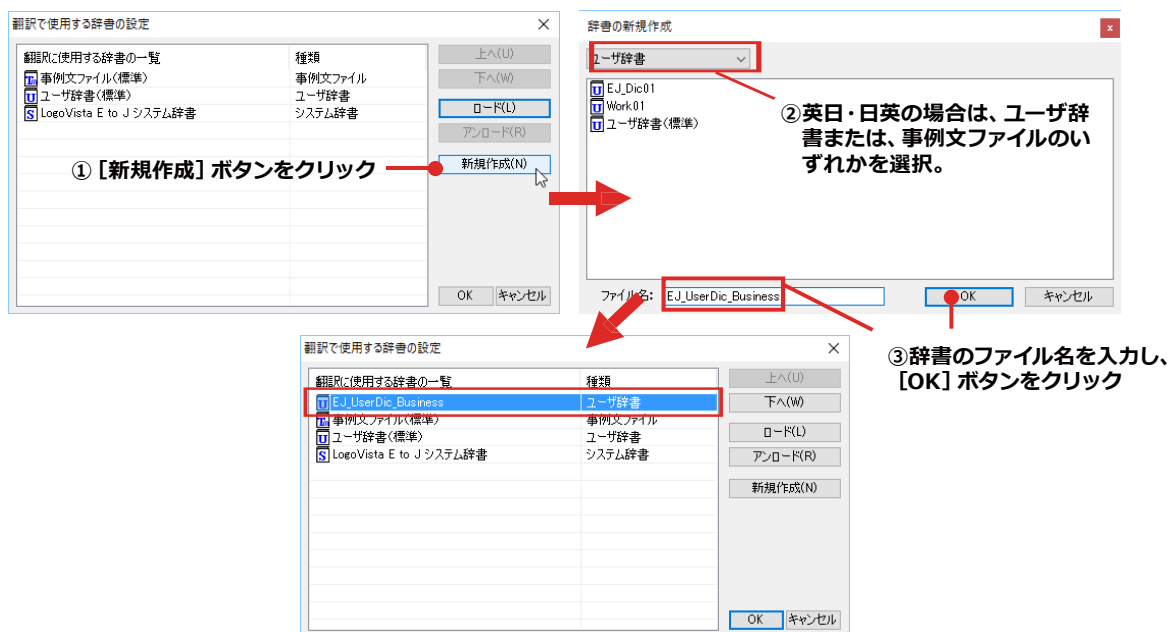
翻訳スタイル「一般」や「ユーザ設定」には分野辞書・専門辞書・辞典連携機能対応製品の翻訳辞書はロードされていません。ロードすることで翻訳に使用されます。

[翻訳スタイルマネージャ]ウィンドウで、辞書をロードする翻訳スタイルを選択し、[使用する辞書の設定]ボタンをクリックします。これで、[翻訳で使用する辞書の設定]ダイアログが開きます。



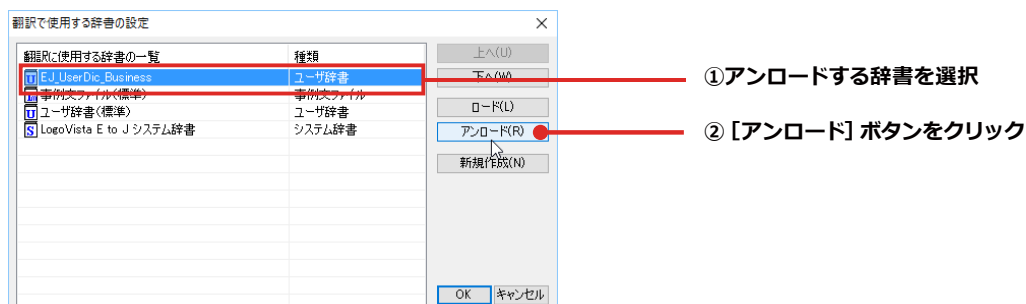
ユーザ辞書や事例文ファイルを新規に作成するには.....

ユーザ辞書は、デフォルトでは「ユーザ辞書(標準)」が用意されていますが、複数作成し、目的にそって使い分けることができます。また、英日・日英翻訳では、事例文を登録しておく事例文ファイルを活用することもできます。これらが必要になったときは、新規にファイルを作成し、翻訳スタイルにロードしておく必要があります。



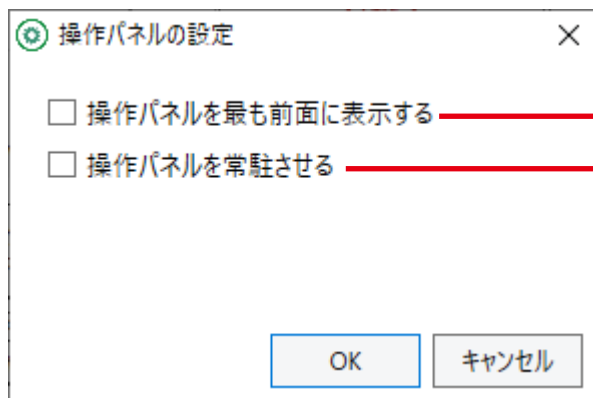
辞書をアンロード(解除)するには.....

使わない辞書をロードしたままにしておくと、翻訳速度が低下したり、思わぬ翻訳結果になったりします。使わない辞書はアンロードしておきます。



◆操作パネルの設定

ワープロなどのアプリケーションと同時に起動して、操作パネルを使う場合、翻訳を中心に作業を進めたいときは、操作パネルが常に前面に表示されていると便利です。また、翻訳を補助的に使いたいときなど、操作パネルが隠れていた方が便利な場合もあります。コリヤ英和！一発翻訳では、このような使い方に合わせて操作パネルの表示方法を変更できます。



【操作パネルを最も前面に表示する】チェックボックス

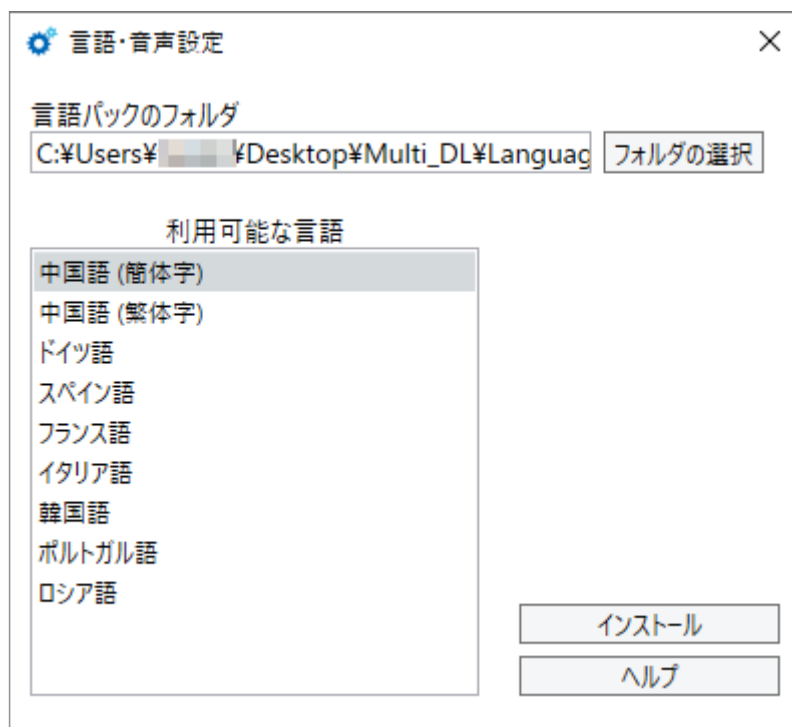
チェックしておく、操作パネルを常に画面の最前面に表示しておくことができます。

【操作パネルを常駐させる】チェックボックス

【操作パネル】を終了させても、タスクトレイに【操作パネル】アイコンを残します。Windows を起動したときにも表示されますので、いつでもコリヤ英和！一発翻訳の機能を活用できます。

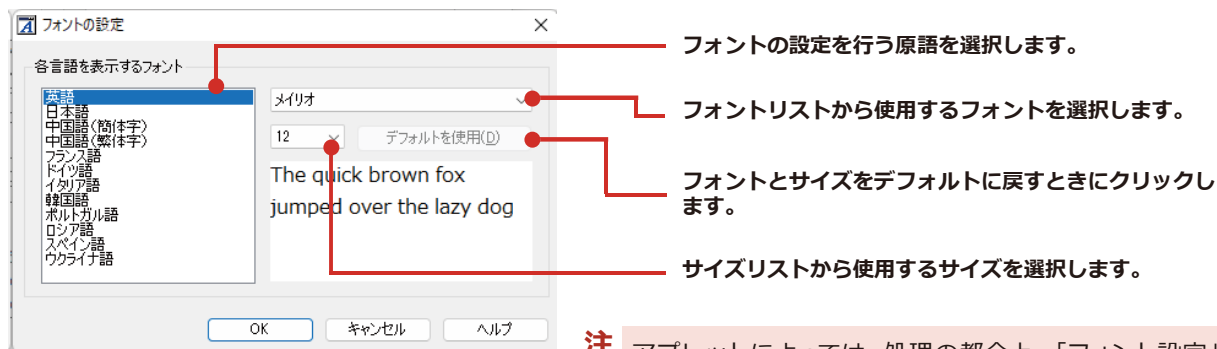
◆言語・音声設定

「言語・音声設定」は、インターネットに接続されていない環境でコリヤ英和！の外国語音声読み上げや入力機能を利用できるようにするために、Windowsの言語パックをインストールするツールです。



◆フォント設定

コリヤ英和！一発翻訳の各アプレットで表示するフォントの種類とサイズを設定します。[設定ツールを起動] ボタンから[フォント設定]を選択して[フォントの設定]ダイアログボックスを開いて設定します。



注意！

アプレットによっては、処理の都合上、「フォント設定」で選択した表示フォントが使われない場合があります。

◆ユーザーデータフォルダの設定（英日・日英）

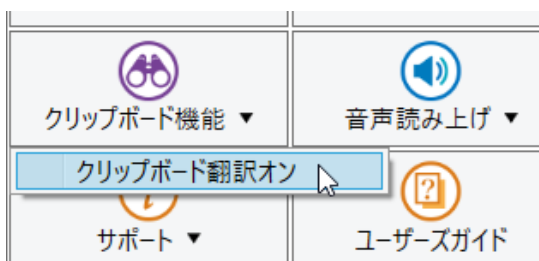
ユーザ辞書などのユーザーデータファイルを保存するフォルダを変更することができます。

◆ユーザーデータ更新ツール（英日・日英）

弊社旧製品で作成されたユーザーデータを本製品で利用できるようにするために、旧データファイルの内容を解析して、本製品のデータファイルへの更新、または追加処理を行います。詳しくは、[コリヤ英和！操作パネル ヘルプ]をご確認ください。

クリップボード機能

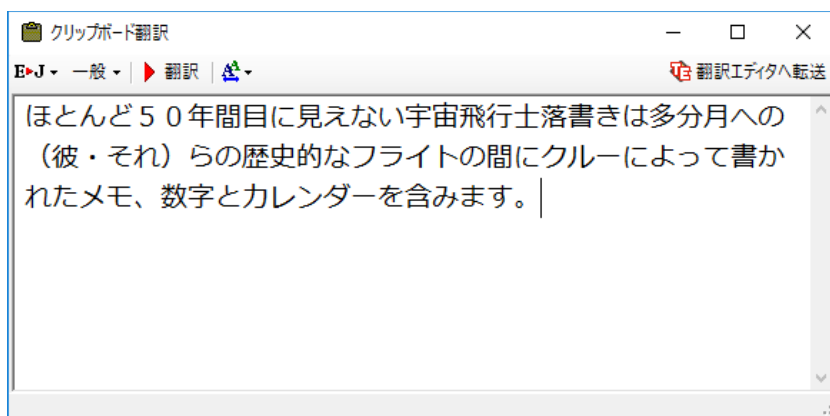
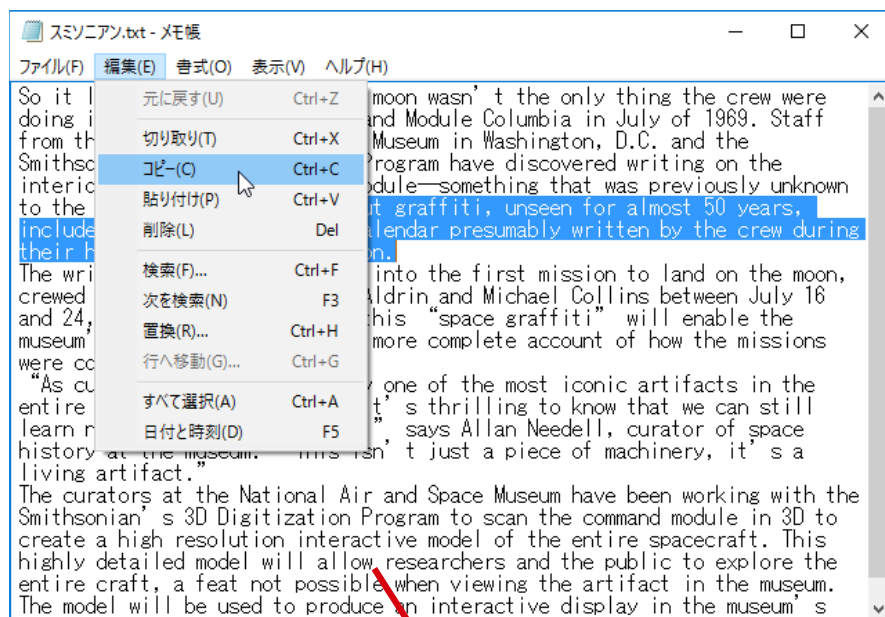
クリップボード機能は、クリップボードを監視し、クリップボードに収納されたテキストに対し、翻訳を実行させる機能です。



◆クリップボード翻訳を使うには

アプリケーション上のテキストをコピーや切り取りコマンドで、クリップボードに収納すると、翻訳を実行します。

翻訳



OCR翻訳の起動

OCR翻訳は画像ファイルや画面キャプチャーからテキストデータを抽出できるOCR機能と、翻訳機能の両方を持ったツールです。

注意！

- 対応言語は、英語および日本語です。
- マルチリンガルの場合、対応する言語は英語・日本語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・ポルトガル語・スペイン語・ロシア語・中国語・韓国語です。
(ウクライナ語、ベトナム語、タガログ語からのOCR・翻訳は非対応)

◆OCR翻訳を起動するには



操作パネルの[OCR]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[OCR 翻訳]を選択します。
[OCR 翻訳]ウィンドウが表示されます。



ヒント

詳しいご利用方法はオンラインヘルプをご参照ください。

Chapter 3

翻訳エディタで翻訳するには

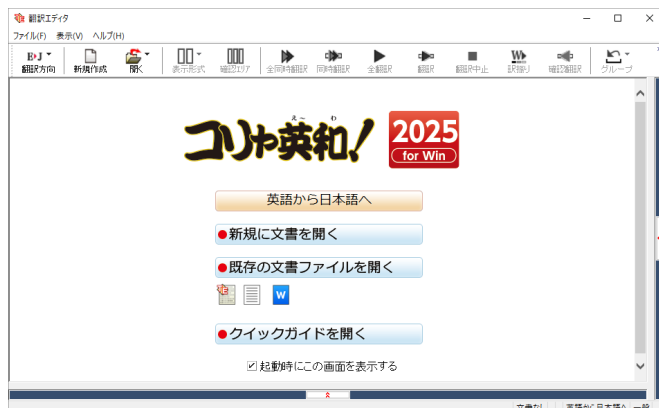
翻訳エディタについて

翻訳エディタでは、入力した原文の訳や翻訳結果の書き出し、印刷をはじめとして、原文や訳文の編集、翻訳方法の変更、辞書引き、ユーザ辞書への語句の登録などが行えます。この章では、翻訳エディタの主な機能やよりよい翻訳結果を得るためのコツを実際の翻訳例に添って説明します。

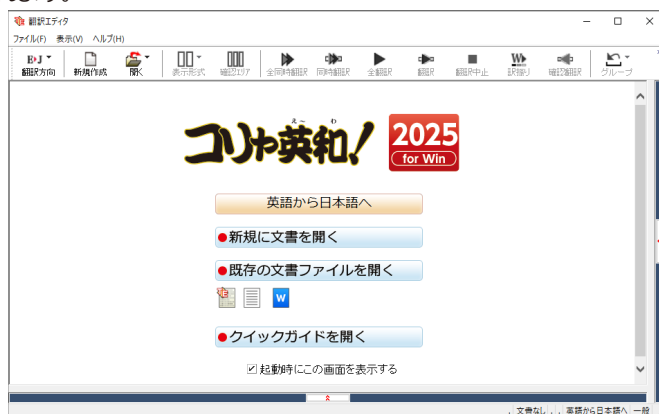
◆翻訳エディタを起動するには

次の3つの方法で翻訳エディタを起動できます。

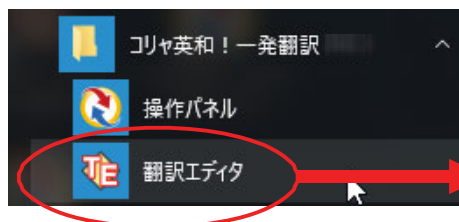
- ① デスクトップの [コリヤ英和! 翻訳エディタ] をダブルクリックします。[翻訳エディタ] ウィンドウが表示されます。



- ② デスクトップの [コリヤ英和! 操作パネル] をクリックして [操作パネル] を起動し、[翻訳エディタを起動] ボタンをクリックします。[翻訳エディタ] ウィンドウが表示されます。



- ③ [スタート] ボタン→[すべてのプログラム(アプリ)]→[コリヤ英和! 一発翻訳(マルチリンガル)]→[翻訳エディタ]の順に選択します。



◆ 翻訳エディタで扱えるファイル形式

翻訳エディタでは、原文として以下のファイル形式の文書を開いて翻訳することができます。

- テキストファイル（拡張子「.txt」）
- Word 文書ファイル（拡張子「.doc」「.docx」）
- リッチテキスト形式のファイル（拡張子「.rtf」）
- Acrobat ファイル（拡張子「.pdf」）

ヒント

- ・ Word の文書ファイルやリッチテキスト形式のファイルを読み込んだときは、フォントやスタイルなどの書式情報は失われます。
- ・ 読み込めるファイルのサイズは、約 4MB(30,000文程度)までです。
- ・ Word の文書ファイル、リッチテキストファイルを読み込むためには、Word 2016～2021 のいずれかが必要です。

注意！

- 英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・ポルトガル語・スペイン語・ロシア語・ウクライナ語、ベトナム語、タガログ語の文は、大文字で始まり、ピリオド・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。ピリオド（.）・疑問符（?）・感嘆符（!）の後にスペース・タブ・改行コードのいずれかが続き、更に次の語句が大文字で始まる場合、文の切れ目と認識します。ダブルコロン（:）・セミコロン（;）は、見出しなど翻訳の区切りとして認識しますが文の切れ目とは認識されません。
- 日本語の文は、句点・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。全角の句点（。）・疑問符（?）・感嘆符（!）で文の区切りとします。これらの後に括弧が続いても構いません。
- 韓国語の文は、ピリオド・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。半角のピリオド（.）・疑問符（?）・感嘆符（!）を文の区切れとします。
- 中国語の文は、句点・疑問符・感嘆符で終わるのが原則です。全角の句点（。）・全角または半角の疑問符（?/?）・感嘆符（! /!）で文の区切りとします。
- 2つ以上の改行コードは文末と認識します。見出しや箇条書きのように句読点を含まない文の場合は、次の文とつながらないように、改行を2つ以上入れます。

ヒント

- ・ 英文の場合、単語の区切りに 3 つ以上の連続したスペース記号を入れると、タブ記号として処理され、スペース記号が 2 つ以下のときと翻訳結果が異なります。特に必要がなければ、スペース記号の入力は、2 つ以下にしてください。

翻訳結果は、次のファイル形式に保存、書き出しができます。

- 翻訳エディタ専用の文書ファイル（拡張子「.krydoc」）原文や訳文以外に、翻訳方向、翻訳に使用した辞書、翻訳のしかたに関する情報などが含まれます。
- テキストファイル（拡張子「.txt」）原文のみ、訳文のみ、左右対訳、上下対訳のいずれかの形式でテキストファイルに書き出せます。

◆ LogoVista 電子辞典連携機能

付属または別売の LogoVista 電子辞典を翻訳辞書「英語→日本語翻訳」として使用することができます。

※コリヤ英和！一発翻訳に「専門辞書」として追加されます。使用するには、他の専門辞書と同様に翻訳スタイルで辞典をロードしてください。ロードについては、[第 2 章 操作パネルの使い方]→[8 設定ツールを起動]の「分野辞書・専門辞書・辞典連携機能対応製品のロード(登録)するには」を参照してください。

※使用できるのは翻訳方向が「英語→日本語」のときのみです。

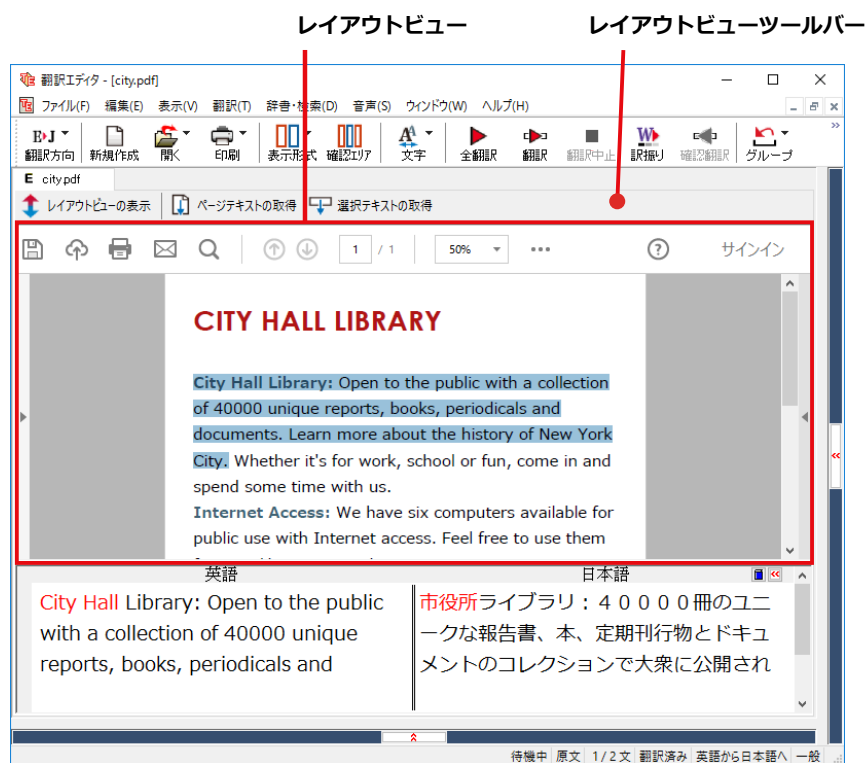
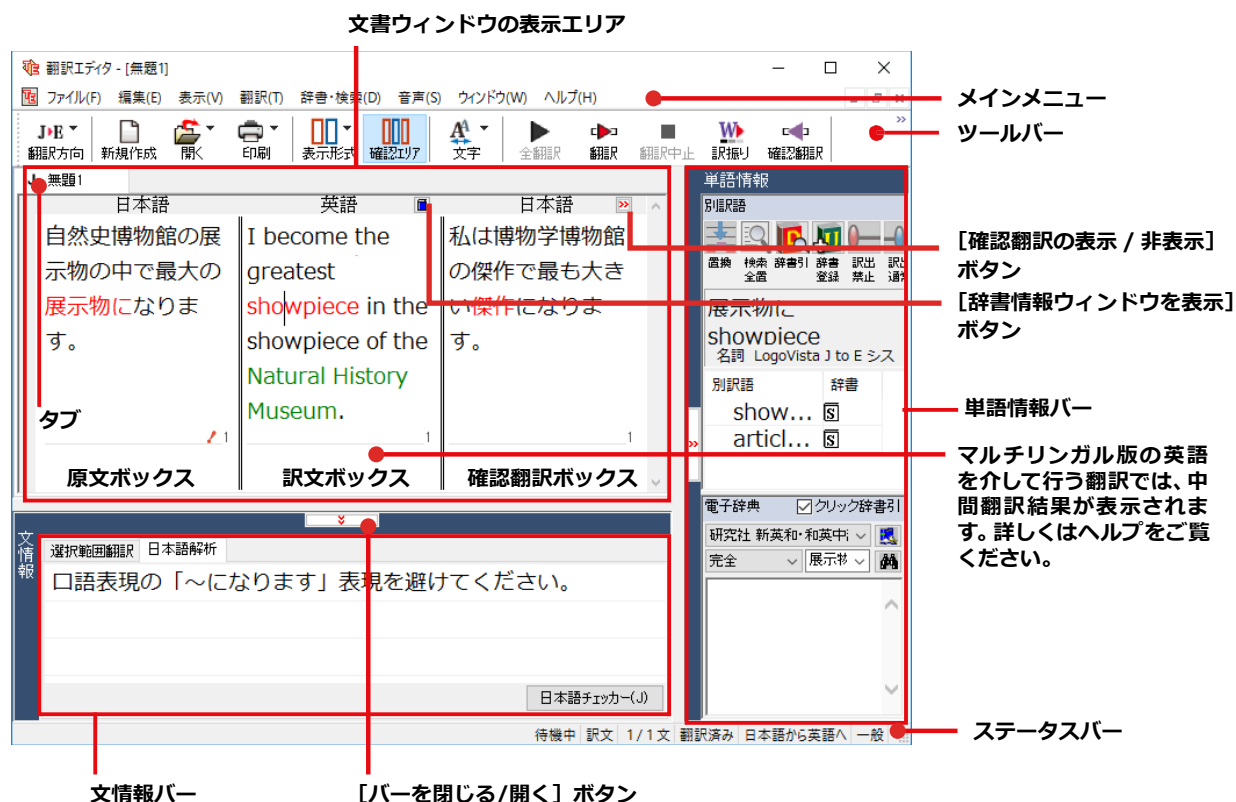
※英語以外の言語では使用できません。

※対象となる別売の LogoVista 電子辞典は、ロゴヴィスタのホームページにある専用サイトをご確認ください。

[操作パネル]→[サポート]→[辞典連携機能対応製品について]を選択してください。Web ブラウザが起動して弊社の専用ページが表示されます。

https://www.logovista.co.jp/LVERP/information/shop/trans-dic_align/index.html

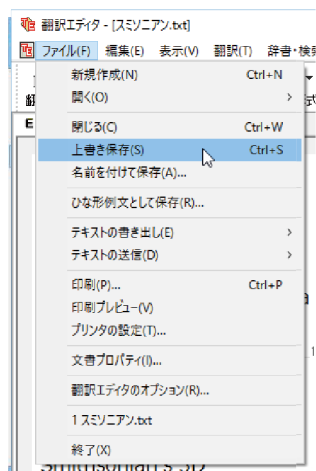
◆ 翻訳エディタの名称と機能



メインメニュー

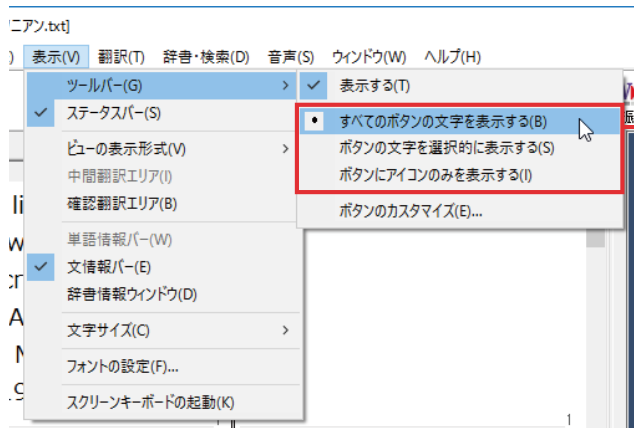
翻訳エディタのコマンドメニュー形式でまとめられています。メニュー項目をクリックするとプルダウンメニューが表示され、その中から実行するコマンドを選択します。

☞メインメニューのコマンドについては、オンラインヘルプをご覧ください。



ツールバー

よく使用する翻訳エディタのコマンドボタンの形式でまとめられています。クリックすると、実行できます。ツールバーの表示形式は[表示]メニューの[ツールバー]のサブメニューで設定できます。[すべてのボタンに文字を表示する][ボタンの文字を選択的に表示する][ボタンにアイコンのみを表示する]のいずれかを選択できます。



ツールバーにコマンド名を表示するかどうかを設定

【すべてのボタンの文字を表示する】



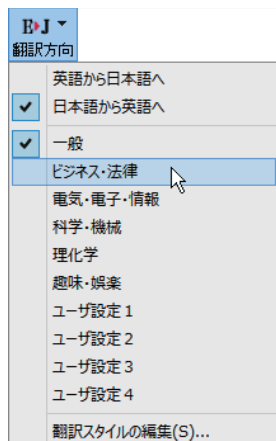
【ボタンの文字を選択的に表示する】



【ボタンにアイコンのみを表示する】



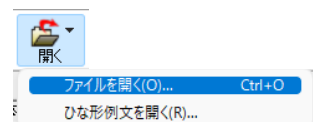
【翻訳方向】ボタン



翻訳方向の選択と翻訳スタイルの選択を行います。

【新規作成】ボタン

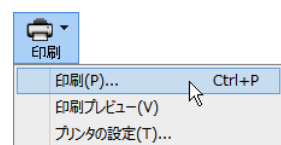
新しい文書を開き、空の文書ウィンドウを表示します。

【開く】ボタン

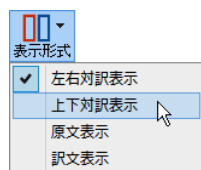
クリックすると、文書ファイルを開くためのメニューが表示されます。

【ファイルを開く】では、保存してある翻訳エディタ専用の文書ファイル（拡張子「.krydoc」）や、翻訳したいテキストファイル、Word 文書ファイル、PDF などを開くことができます。

【ひな形を開く】では、300 以上の英文レターのひな形例文から作成したい英文のサンプルとして文書を開くことができます。

【印刷】ボタン

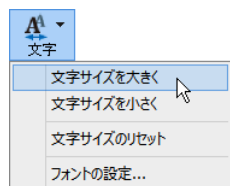
クリックすると、文書の印刷に関するメニューが表示されます。

【表示形式】ボタン

文書ウィンドウの表示形式を変更できます。[左右対訳表示][上下対訳表示][原文表示][訳文表示]のいずれかの形式を選択できます。

【確認翻訳エリア表示】ボタン

【確認翻訳エリア】の表示／非表示を切り替えます。

【文字】ボタン

文書ウィンドウに表示する文字サイズやフォントを変更します。

【文字サイズを大きく】[文字サイズを小さく][文字サイズのリセット]では、原文ボックス、訳文ボックス、日本語解析、選択範囲翻訳、単語情報バーすべての文字サイズを同時に変更します。【フォントの設定】では、言語ごとにフォントと文字サイズを指定できます。

【全翻訳】ボタン

原文ボックスのすべての未翻訳の原文を翻訳し、訳文ボックスに訳文を表示します。翻訳後、編集した原文も翻訳対象にします。

**【選択文翻訳】ボタン**

ポインタが置かれている原文、または選択されている複数の原文を翻訳し、訳文を訳文ボックスに表示します。

**【翻訳停止】ボタン**

実行中の翻訳を中止します。

【全翻訳】ボタン



翻訳エディタで現在表示している全ての文章を、翻訳エディタとオンライン翻訳ビューアの両方で同時に翻訳します。

※ [全同時翻訳]を利用できるのはオフライン+オンライン版だけです。

【選択文翻訳】ボタン



現在キャレットが置かれている位置の文章、もしくは選択した（反転させた）文章のみを翻訳エディタとオンライン翻訳ビューアの両方で同時に翻訳します。

※ [同時翻訳]を利用できるのはオフライン+オンライン版だけです。

【訳振り】ボタン



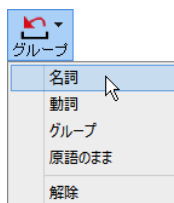
クリックしてオンにすると、文書ウィンドウの表示が訳振りモードになります。訳振りモードでは、原文の主要単語の上に訳語が表示されます。

【確認翻訳の実行】ボタン



ポインタが置かれている文の翻訳結果の文、再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳し直し、結果を表示します。確認翻訳された文が原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。

【グループ指定】ボタン



英語から日本語へ翻訳する場合に有効になります。翻訳結果が思わしくないとき、特に文節の区切りや品詞を取り違えて翻訳されているときに使います。選択した語句の品詞（[名詞][動詞]）の設定、文節を明確にするために選択した語句の[グループ]の指定、[原語のまま]訳したい語句の指定、または、これらの[解除]をすることができます。

【辞書引き】ボタン



選択した語句を研究社 新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で辞書引きします。

【例文検索】ボタン



ビジネスレターや私的な手紙、案内状などのひな形や、状況に応じたさまざまな例文を検索して、編集集中の文書に転送できます。

【音声入力】ボタン



発話された音声を聞き取って翻訳エディタに入力します。

【音声読み上げ】ボタン



選択した文を音声読み上げします。

【スクリーンキーボードの起動】ボタン



スクリーンキーボードを起動します。マルチリンガル版をお使いのとき、英語に含まれないアルファベットやアクセント記号などを入力するときに便利です。

文書ウィンドウの表示エリア.....

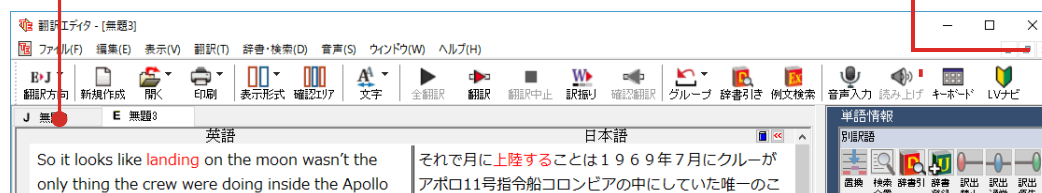
翻訳エディタでは、原文と訳文を含む文章のセットを1つの文書として扱い、文書ウィンドウに表示します。翻訳エディタを起動後の最初に新規文書や既存の文書を開くと文書ウィンドウは最大化され、[翻訳エディタ] ウィンドウと一体化します。複数の文書を開いたときは、タブまたはウィンドウメニューで編集する文書を選択できます。編集中の文書を閉じるときは、[ファイル] メニューの [閉じる] を選択するか、 [閉じる] ボタンをクリックするか、タブを右クリックしてコンテキストメニューから [閉じる] を選択します。

タブ

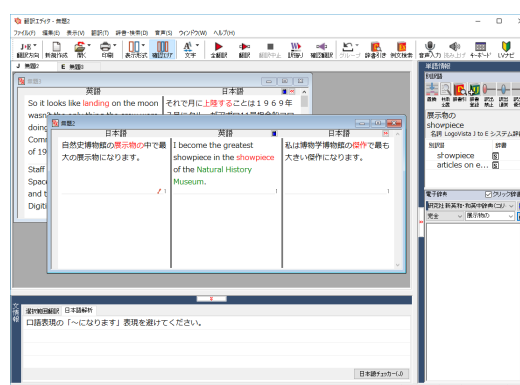
原文の言語を表すアルファベットと、文書名が表示されます。クリックした文書が表示されます。

[閉じる] ボタン

表示中の文書を閉じます。



文書ウィンドウを最小化または拡大表示して、複数の文書を同時に表示することもできます。



文書ウィンドウ.....

原文ボックス

翻訳元のテキストを入力するボックスです。翻訳エディタはこのボックスにあるテキストを翻訳します。原文ボックスには、次のいずれかの方法でテキストを入力します。

- キーボードから直接入力する、ファイルに保存されたテキストを読み込む、アプリケーション上からテキストをコピー&貼り付け、またはドラッグ&ドロップする。
- OCRソフトでテキストファイルに保存されたテキストを読み込む。

原文ボックスのテキストは [編集] メニューのコマンドやキーボードで編集できます。翻訳済みの原文テキストを編集すると、その文が自動的に再翻訳されます。(自動的に再翻訳しないオプションもあります。)

訳文ボックス

翻訳された訳文が表示されます。1文ごとに原文に対する形式で表示されます。訳文ボックスのテキストは [編集] メニューのコマンドやキーボードで編集できます。

確認翻訳ボックス

[確認翻訳] には、翻訳結果の文を、再度、オリジナル言語へと逆方向に翻訳し直した結果が表示されます。確認翻訳された文が原文テキストとほぼ同じ意味であれば、翻訳がかなり正確だと判断できます。

中間翻訳結果

マルチリンガル版で、日本語と欧州言語間の翻訳など、英語を介して翻訳するときに表示されます。原文を中間言語である英語に翻訳した結果が表示されます。[中間翻訳結果] の内容を編集すると、訳文に反映されます。

単語情報バー（英語のみ）

単語情報バーには、原文ボックスまたは訳文ボックスで選択した単語に関する情報が表示されます。▶▶ [バーを閉じる] ボタン/◀◀ [バーを開く] ボタンで表示／非表示を切り替えられます。

[別訳語]には、単語対応表示させた単語の別訳語が表示されます。

[電子辞典]では、電子辞典での辞書引きが可能で、[クリック辞書引]にチェックを入れている場合、選択した単語が自動で辞書引きされます。

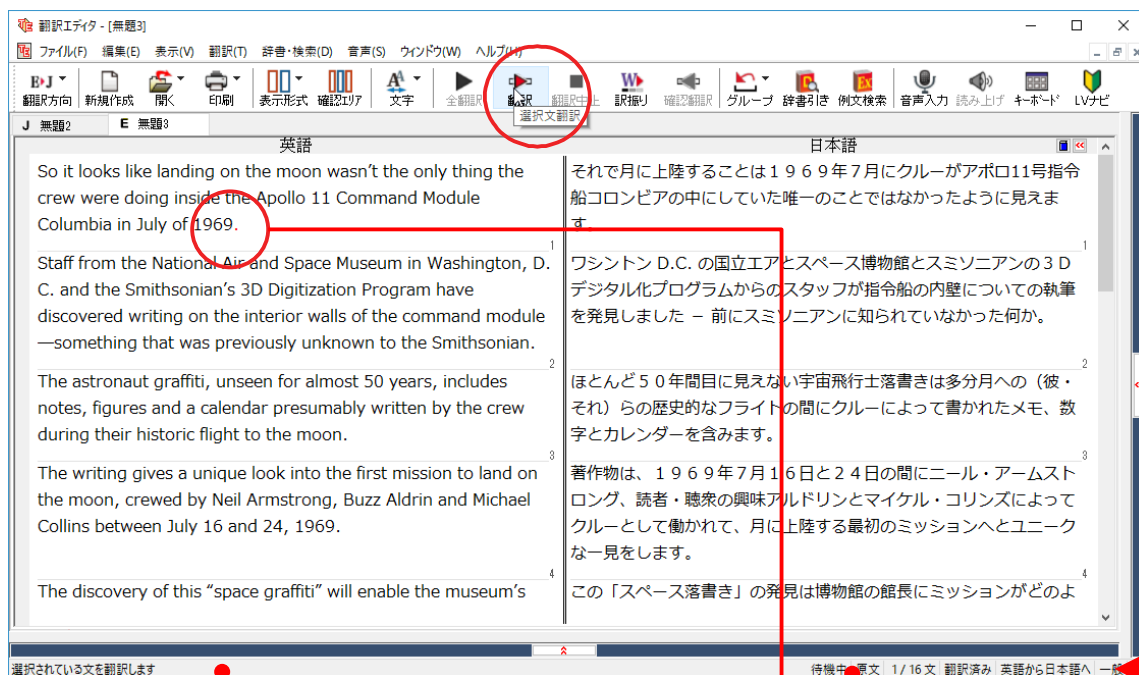
- 原文ボックスまたは訳文ボックスで単語を選択後 [辞書引き] コマンドの実行
- 原文ボックスまたは訳文ボックスで単語を選択し [クリック辞書引] での自動辞書引き
- [別訳語] のリストでリスト内の項目を選択
- 電子辞典の入力ボックスに語句を入力して辞書引き

文情報バー

[日本語解析]は、日本語から英語または別の言語に翻訳する時に有効になります。原文を分析し、翻訳に誤りが起こるようなあいまい要素があった場合は、その情報を表示します。日本語解析結果リストから項目を選択して [日本語チェック] ボタンをクリックすると、日本語編集ウィンドウが表示されます。編集ポイントを参考に、日本語を修正し [書き換え] ボタンをクリックします。[選択範囲翻訳]は、原文をマウスでドラッグすると、ドラッグされている部分だけの翻訳結果が自動で表示されます。▶ [バーを閉じる] ボタン/◀ [バーを開く] ボタンで表示／非表示を切り替えられます。

ステータスバー

コマンドボタンの説明や、現在行われている作業の内容（待機中、翻訳中など）、ポインタの位置の情報（原文か訳文か、行数）を表示します。また、選択されている翻訳方向や翻訳スタイルも表示されます。



マウスカーソルが置かれている
ツールバーボタンの説明

ポインタ位置の情報

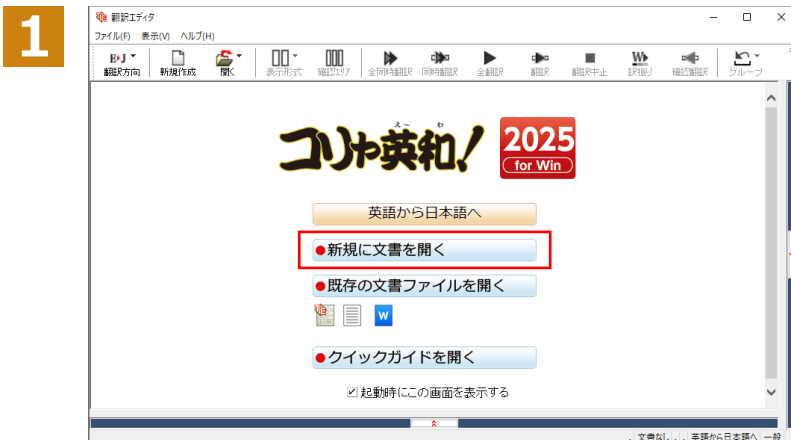
ステータスバー

◆ 原文エリアへの音声入力

原文エリアへの音声による入力機能です。

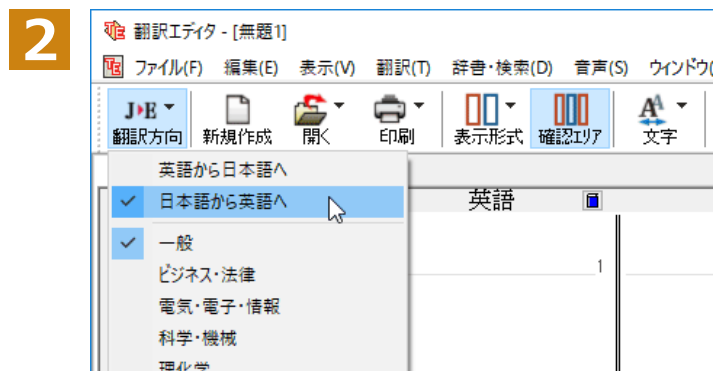
注意！

- 事前にWindowsコントロールパネルにある音声認識の設定や言語パックのインストールが必要となります。また、OSによって利用できる言語の条件やインストール方法に違いがあります。
- ご使用のパソコンに入力装置がない場合は、別途入力装置が必要です。
- マルチリンガルの場合、対応する音声入力言語は英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語のみとなります。



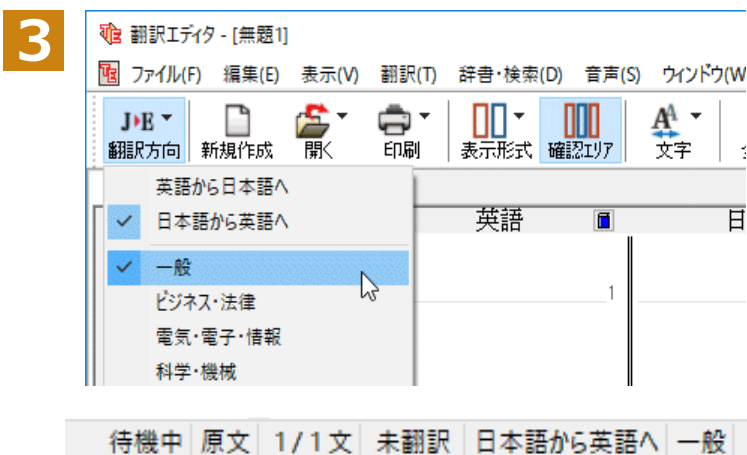
翻訳エディタを起動します。

起動メニューから「新規に文書を開く」ボタンをクリックし、新規文書を開きます。



「翻訳方向と翻訳スタイルの選択」ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。

この例では、「日本語から英語へ」を選択します。

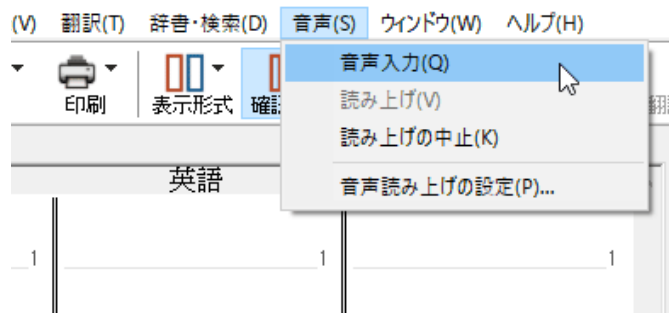


再度、「翻訳方向と翻訳スタイルの選択」ボタンをクリックし、翻訳スタイルを選択します。

この例では、「一般」を選択します。

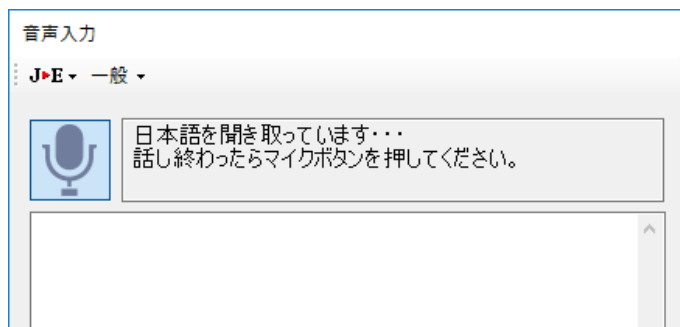
選択した翻訳方向と翻訳スタイルがステータスバーに表示されます。

4



メニューにある[音声]から[音声入力]を選択します。

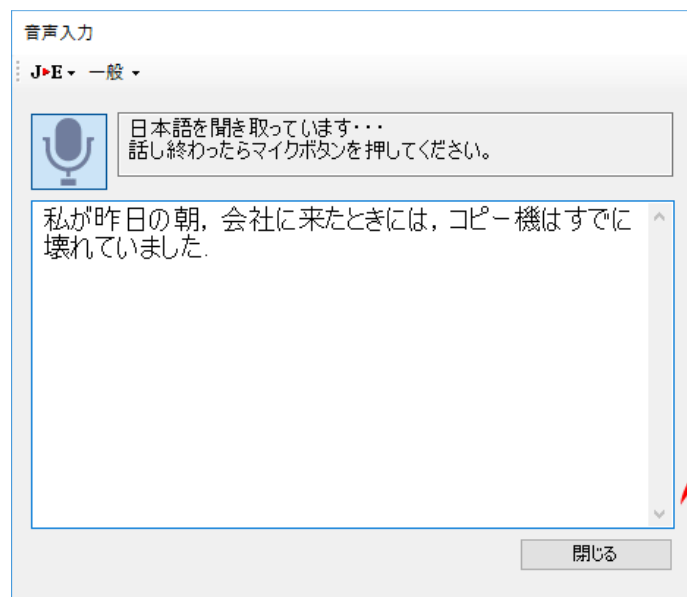
5



音声入力画面がでできます。

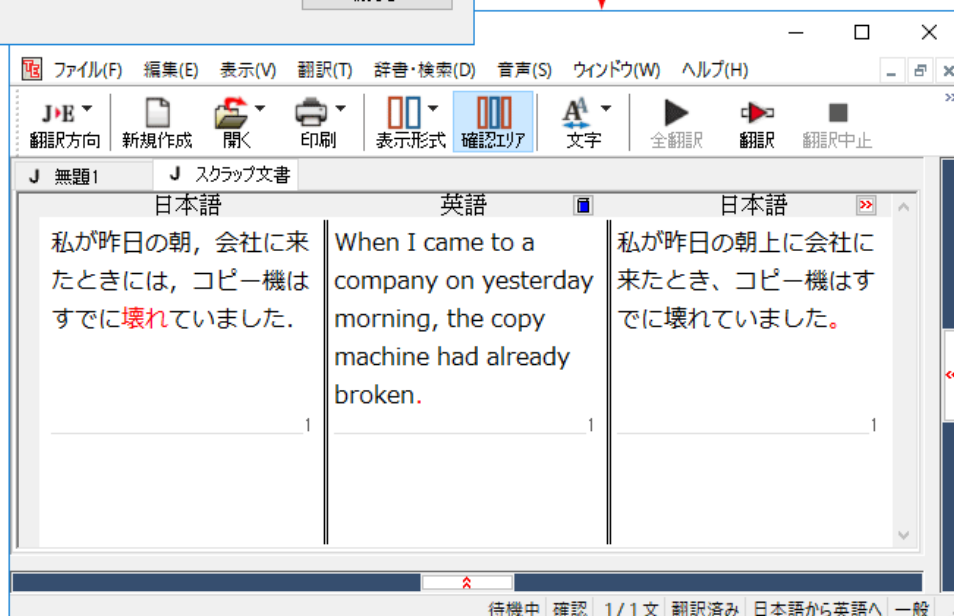
翻訳する原文を音声入力します。

6



話し終わったらマイクボタンをおしてください。

マイクボタンを押すと自動で翻訳結果が表示されます。



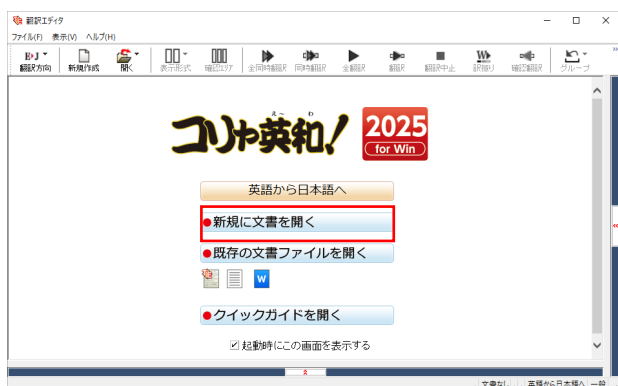
基本的な翻訳の流れ

翻訳エディタの最も基本的な機能を使って、原文の翻訳から、結果を保存・印刷するまでの流れを説明します。

◆ 翻訳の準備

翻訳エディタを起動したら、起動メニューから「新規に文書を開く」を選択して新規文書を開きます。翻訳方向と翻訳スタイルを設定し、翻訳する原文を入力します。

1



翻訳エディタを起動します。

起動メニューから「新規に文書を開く」ボタンをクリックし、新規文書を開きます。

2



「翻訳方向と翻訳スタイルの選択」ボタンをクリックし、翻訳方向を選択します。

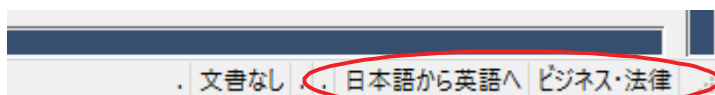
この例では、「日本語から英語へ」を選択します。

3



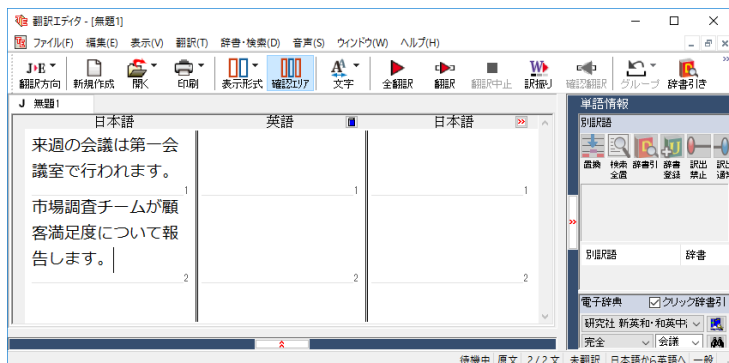
再度、「翻訳方向と翻訳スタイルの選択」ボタンをクリックし、翻訳スタイルを選択します。

この例では、「ビジネス・法律」を選択します。



選択した翻訳方向と翻訳スタイルがステータスバーに表示されます。

4



翻訳する原文を入力します。

これで翻訳の準備ができました。

◆ 翻訳する

入力した原文は、[全翻訳] または [翻訳] ボタンで翻訳できます。

- ヒント**
- ・[選択文翻訳]は、翻訳・未翻訳に関わらず、ポインタが置かれている文または選択している複数の文を翻訳します。
 - ・[すべて翻訳]は、未翻訳のすべての原文を頭の行から順次翻訳します。

注意！

一度翻訳した後に原文を編集した場合、その原文も「未翻訳」として扱われます。

1

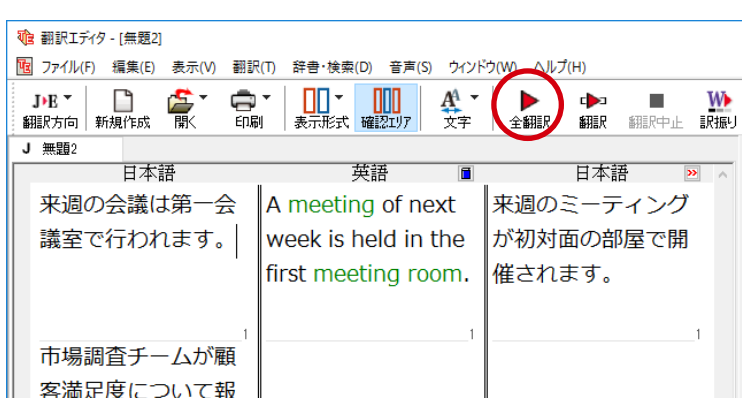


最初の文だけを翻訳してみましょう。

1文目の原文にポインタを置き、[翻訳] ボタンをクリックします。

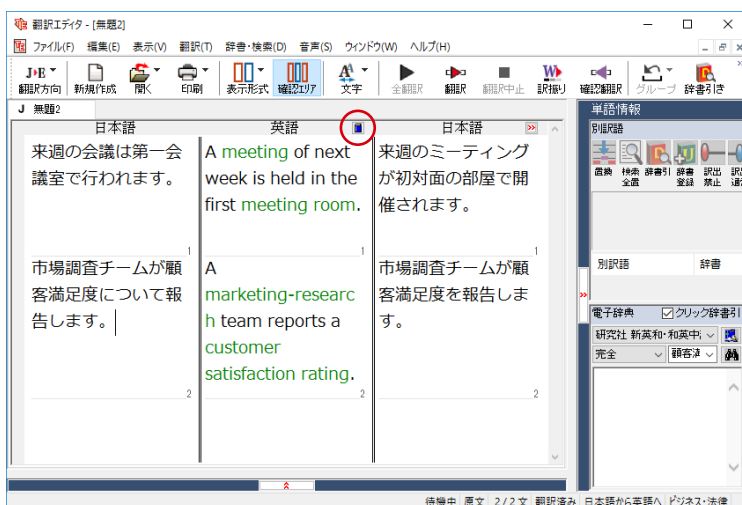
1文目が翻訳され、訳文ボックスに訳文が表示されます。このように[翻訳]では、ポインタの置かれた文だけを翻訳します。

2

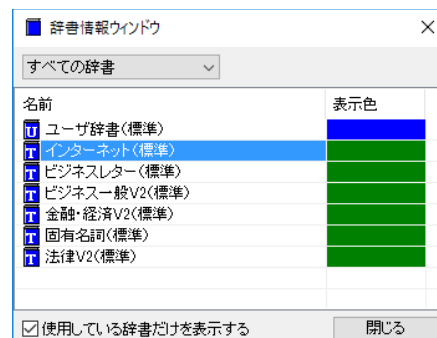


残りの文をまとめて翻訳してみましょう。

[全翻訳]ボタンをクリックします。



未翻訳のすべての原文が翻訳され、訳文ボックスのそれぞれの行に訳文が表示されます。緑色に表示されている単語は出典元の辞書を参照することができます。単語を選択し、 ボタンをクリックします。



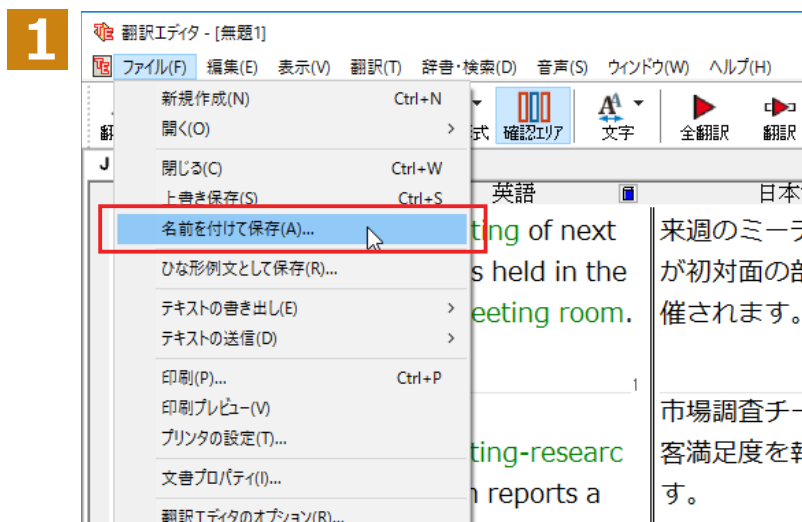
- ヒント**
- 翻訳エディタには、訳文の精度を上げていくためのさまざまな機能が用意されています。詳しくは「3 英文を翻訳してみよう」、「4 和文を翻訳してみよう」をお読みください。

◆ 翻訳結果を保存する

翻訳結果は翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存できます。文書ファイルには、原文と訳文のほか、翻訳方向や使用した翻訳スタイルなどの情報も記録され、翻訳エディタでの作業内容がそのまま保存されます。また、翻訳結果を別のアプリケーションソフトなどで利用したい場合は、テキスト形式のファイルに書き出すことができます。

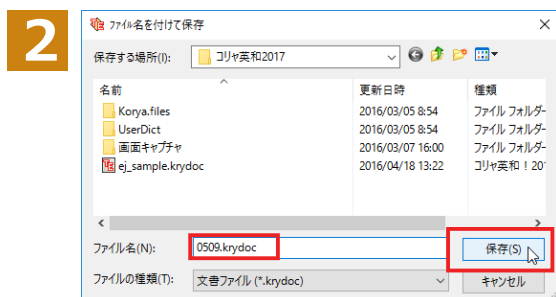
文書ファイルに保存する.....

翻訳結果を翻訳エディタ専用の文書ファイルに保存します。



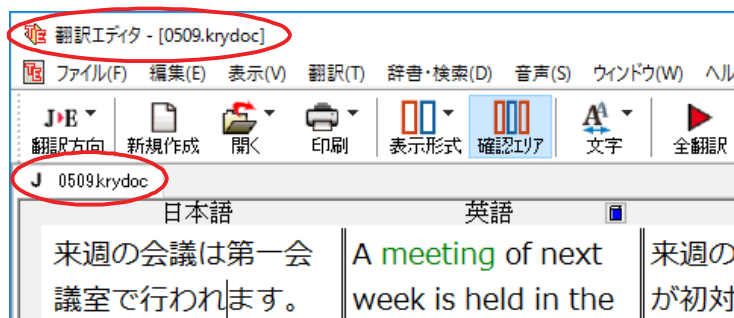
[ファイル] メニューから [名前を付けて保存] を選択します。

[ファイル名を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。



必要に応じて、保存先のフォルダに移動し、ファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックします。

これで文書ファイルに保存できます。



保存されると、ファイル名がウィンドウに表示されます。



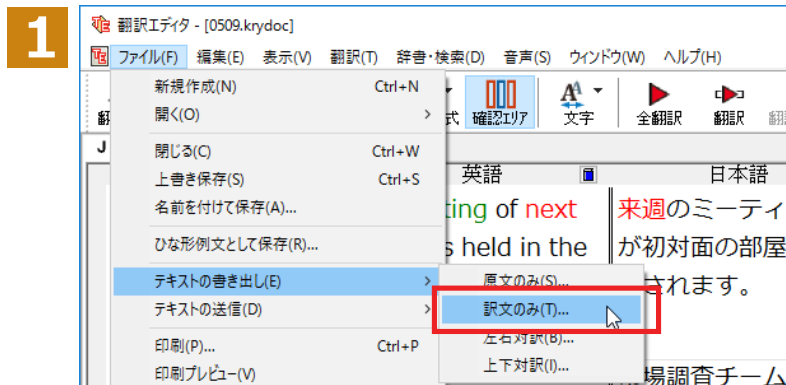
すでに保存してある文書ファイルに上書き保存するときは、[上書き保存] コマンドを使います。まだ保存したことがない文書の場合は、[ファイル名を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

テキストファイルに書き出す.....

テキストファイルには、次のいずれかの形式で書き出しができます。

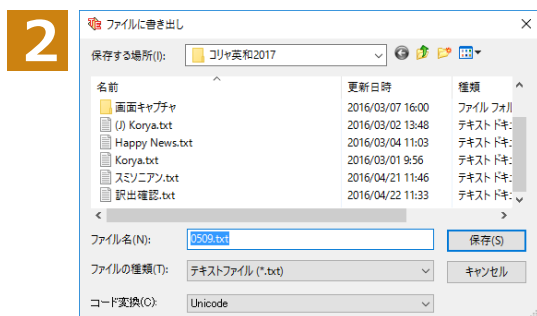
- 原文のみ
- 訳文のみ
- 左右対訳
- 上下対訳

ここでは「訳文のみ」の形式で書き出してみましょう。



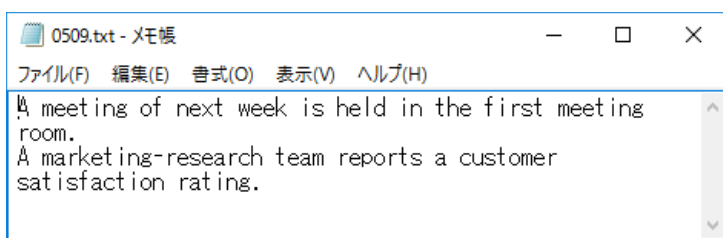
[ファイル] メニューから [テキストの書き出し] を選択し、サブメニューから [訳文のみ] を選択します。

[ファイルに書き出し] ダイアログボックスが表示されます。



必要に応じて、保存先のフォルダに移動してファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

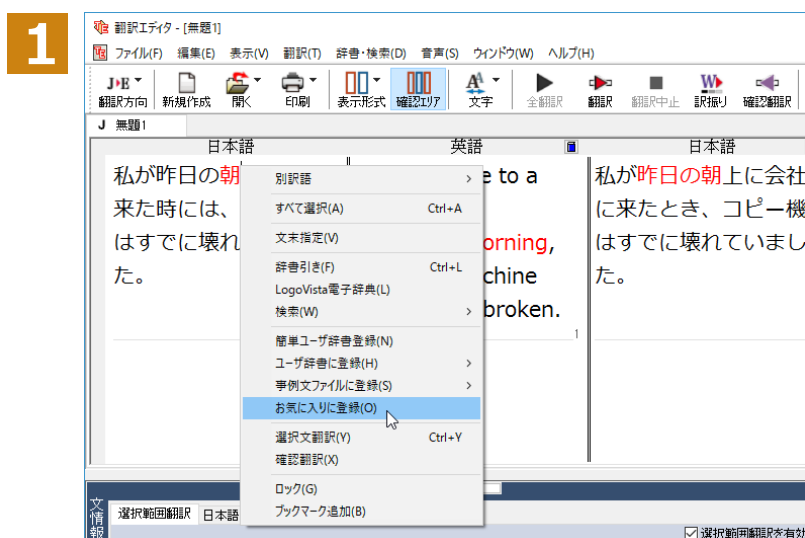
訳文ボックスの内容が、テキストファイルに書き出されます。



左の画面例は、書き出されたテキストファイルをメモ帳で開いたものです。このように、1文ごとに改行して保存されます。

お気に入りに登録.....

保存したい翻訳結果をお気に入りリストに登録することが出来ます。



登録したい文章を右クリックして、コンテキストメニューから [お気に入りに登録] を選択します。

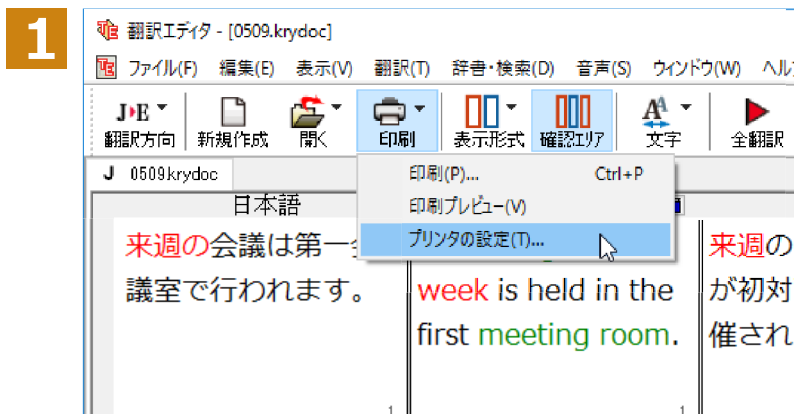
お気に入りリストへの登録画面が表示されます。

◆ 翻訳結果を印刷する

翻訳結果を印刷してみましょう。翻訳エディタではビューの表示形式に応じて印刷することができます。最初に表示形式ボタンから、印刷する表示形式を決めておきます。

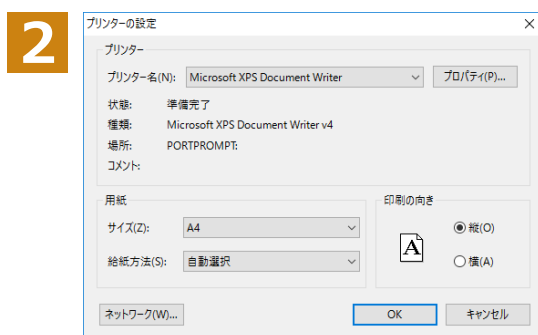
プリンタの設定

最初に印刷するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きなどの設定を行います。



[印刷]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[プリンタの設定]を選択します。

[プリンタの設定] ダイアログボックスが開きます。



印刷するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きなどを設定します。このダイアログの機能は、他のWindowsのアプリケーションと共通です。設定できたら [OK] ボタンをクリックします。

注意！

ご使用のプリンタによって、ダイアログの内容は異なります。

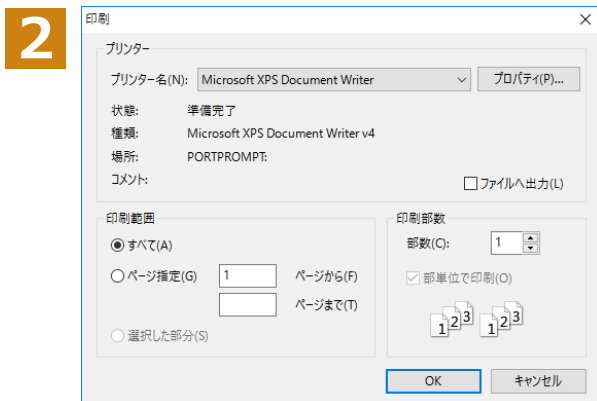
印刷の実行

印刷を実行する前に、プリンタが接続され、印刷できる状態になっていることを確認してください。



[印刷]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[印刷]を選択します。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。



印刷部数などを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

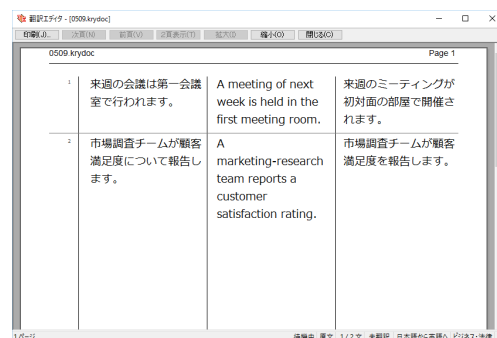
注意！

ご使用のプリンタによって、ダイアログの内容は異なります。

印刷が実行されます。

ヒント

印刷前に、印刷されるイメージを画面に表示して確認できます。確認するときは、[印刷]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[印刷プレビュー] コマンドを選択します。図のようなプレビュー画面が表示され、どのように印刷されるかが確認できます。



ヒント

[ファイル]メニューの[翻訳エディタのオプション]コマンド[印刷]タブでは、印刷に関する次の設定ができます。

- ・ 原文表示や訳文表示の印刷時に、文のセパレータを印刷するかどうか。
- ・ ヘッダーを付けるかどうか。
- ・ 余白をあけるかどうか。
- ・ 左右対訳表示の印刷時に文番号を付けるかどうか

◆発音ビューアを利用する（英語・日本語）

翻訳結果 英語→カタカナ/発音記号表記/日本語→ローマ字表記機能.....

翻訳結果が英語の場合は、主に日本人を対象とし、英語の読みをカタカナまたは発音記号で表示します。翻訳結果が日本語の場合は、主に英語圏の方を対象とし、日本語の読みをローマ字で表示します。読み上げ機能を使用して、読み方を見ながら音声を聞くことができます。

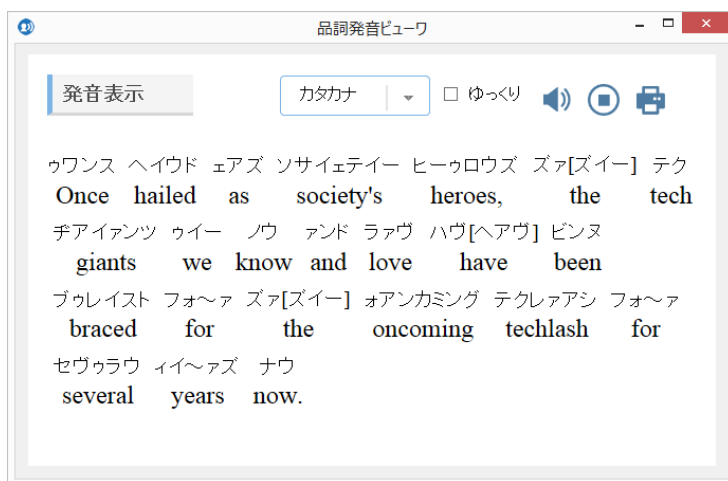
1



確認したい行の上で右クリックし、表示されるメニューから「発音表示」コマンドを選択します。

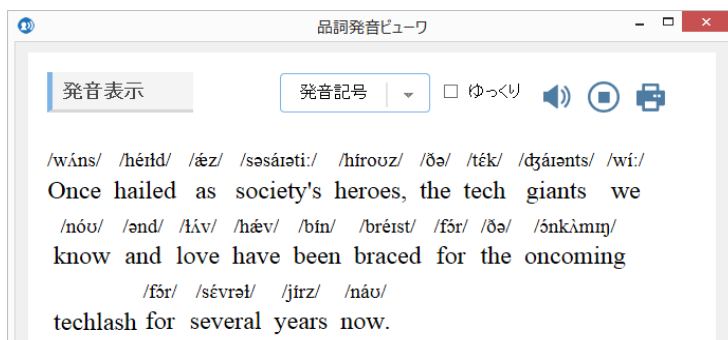
確認したい行にカーソルを合わせて「Ctrl」キー + 「Shift」キー + 「P」のショートカットキーによる起動も可能です。

2



「品詞発音ビューア」が表示されます。

英語の読みは、カタカナと発音記号を表示することができます。



プルダウンメニューから「発音記号」を選択すると表示を切り替えることが出来ます。



「読み上げ」ボタンを選択すると音声を聞くことができます。
「印刷」ボタンを選択すると印刷メニューが表示されます。

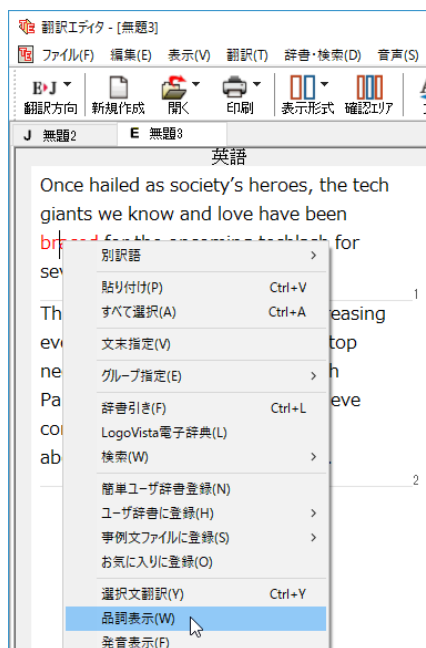
読み上げたい用語をクリックすると、用語単位で再生できますので繰り返し読み上げ確認ができます。

「ゆっくり」にチェックを入れると読み上げるスピードを遅くして再生させることもできます。また、どの用語を読み上げているのか分かるように、読み上げている用語を色付きで表示再生します。

翻訳結果 品詞情報表示機能（英語のみ）

翻訳結果から各用語の品詞が一目で分かるように構文解析情報の品詞を表示し参照できる機能です。

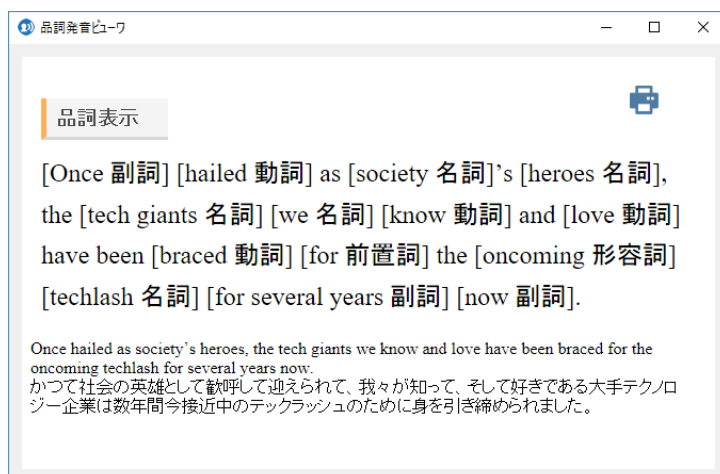
1



確認したい行の上で右クリックし、表示されるメニューから「品詞表示」コマンドを選択します。

確認したい行にカーソルを合わせて「Ctrl」キー + 「Shift」キー + 「W」のショートカットキーによる起動も可能です。

2



「品詞発音ビュー」が表示されます。



「印刷」ボタンを選択すると印刷メニューが表示されます。

英文を翻訳してみよう

翻訳エディタの基本的な機能を理解いただくために、サンプルのテキストファイルを読み込んで翻訳したり、翻訳結果を改良したりする方法を練習してみましょう。サンプルのテキストファイルは、コリヤ英和！一発翻訳をインストールしたフォルダの[Sample] フォルダ内にあります。規定値のままインストールした場合は以下のフォルダです。

C:\Program Files (x86)\LogoVista Corp\Korya2025\Sample

◆ 英文を読み込んで翻訳する

1

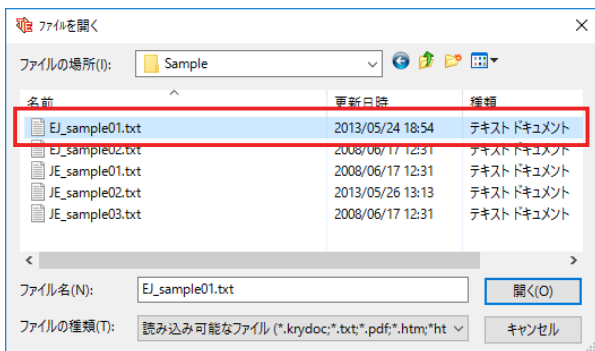


翻訳エディタを起動します。

起動メニューから[既存の文書ファイルを開く]ボタンをクリックします。

[ファイルを開く]ダイアログボックスが開きます。

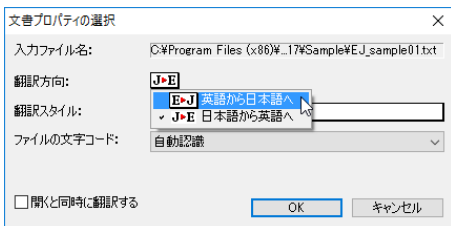
2



サンプルのテキストファイルがあるフォルダに移動し、「EJ_sample01 (.txt)」を選択して[開く]ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログボックスが開きます。

3

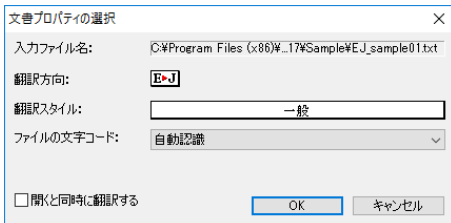


このダイアログボックスは、テキストファイル、リッチテキストファイル、Word の文書ファイルなどを開いたときに表示されます。

翻訳方向と翻訳スタイルを設定できます。

ここでは翻訳方向で [E]、翻訳スタイルで [一般] を設定します。

4



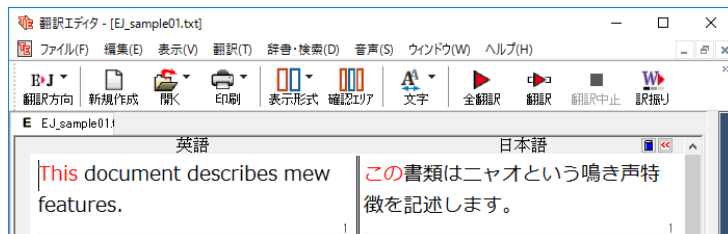
[OK]ボタンをクリックします。

テキストファイルが読み込まれます。

5



1文目の原文をクリックしてポインタを置き、[翻訳] ボタンをクリックします。

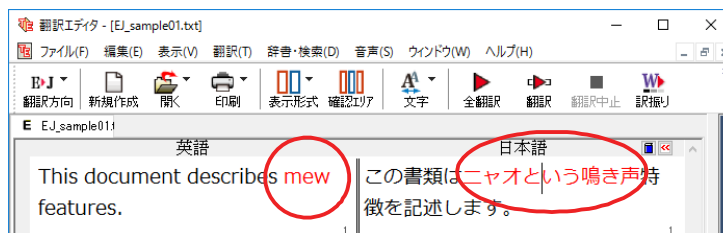


原文が翻訳され、翻訳結果が訳文ボックスに表示されます。

◆ 翻訳結果を検討して、再翻訳する

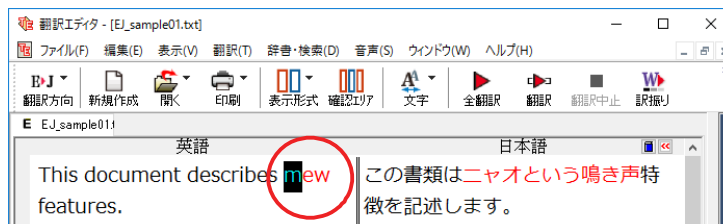
"new"という単語が"mew"と入力されていたため、おかしい訳文になっています。そこで、英文の誤りを修正し、再度翻訳してみましょう。ここではすでに、修正すべき単語がわかっています。しかし実際の翻訳では、まず、間違っている単語を見つけなければなりません。この作業は、翻訳エディタの単語対応の機能を使えば簡単にできます。

1

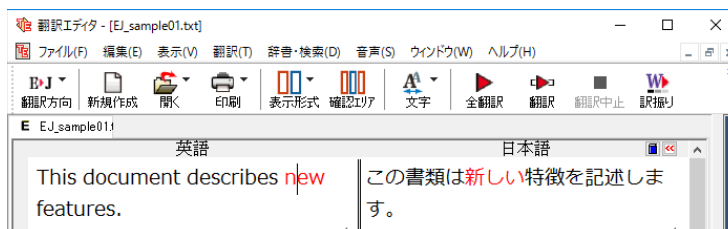


訳文の"ニャオ"という部分をクリックします。英文の"mew"、訳文の"ニャオという鳴き声"が赤で表示され、この部分が対応していることを示します。これで"ニャオという鳴き声"を改善するためには、"mew"を修正すればよいことが分かります。

2



"mew"のmをマウスでドラッグして選択し、"new"に修正します。



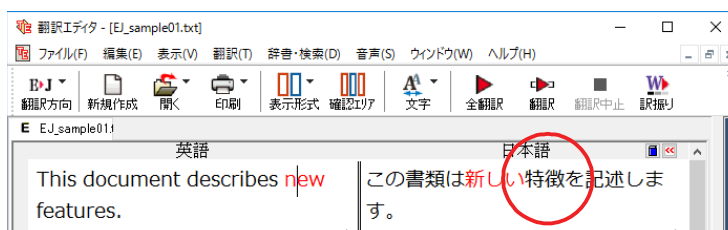
翻訳済みの原文を編集すると、すぐに再翻訳が実行されます。

適切な訳文になりました。このように、翻訳結果が思わしくないときは、まず不自然な部分を単語対応で検討することで、元の英文にタイプミスやOCRの認識ミス等による不備がなかったかどうかをチェックできます。

◆ 別の訳語を選択する

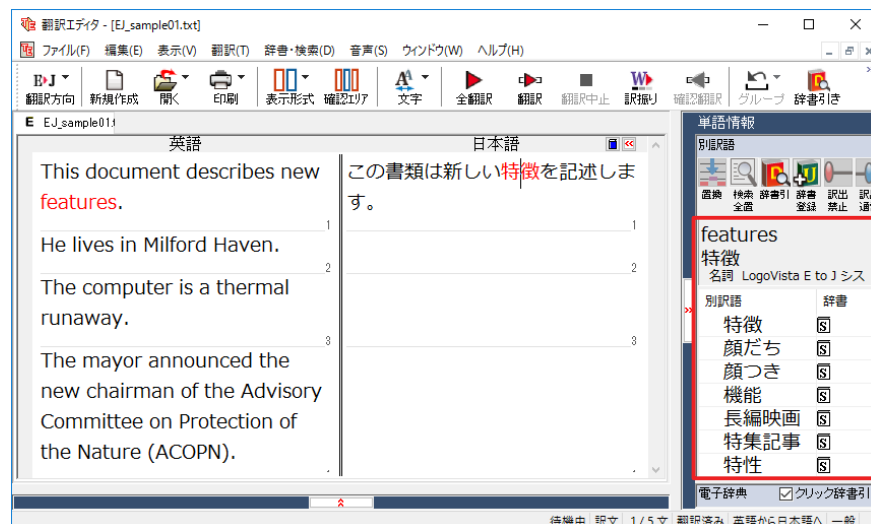
ある単語の訳語は、1つだけではありません。コリヤ英和！一発翻訳は、もっとも使用頻度の高い訳語を使って翻訳を行います。別の訳語を選んだ方が、より好ましい訳文になることもあります。そこで翻訳エディタには、翻訳後、任意の単語に対する訳語の一覧を表示して、別の訳語に変更する機能が用意されています。

1

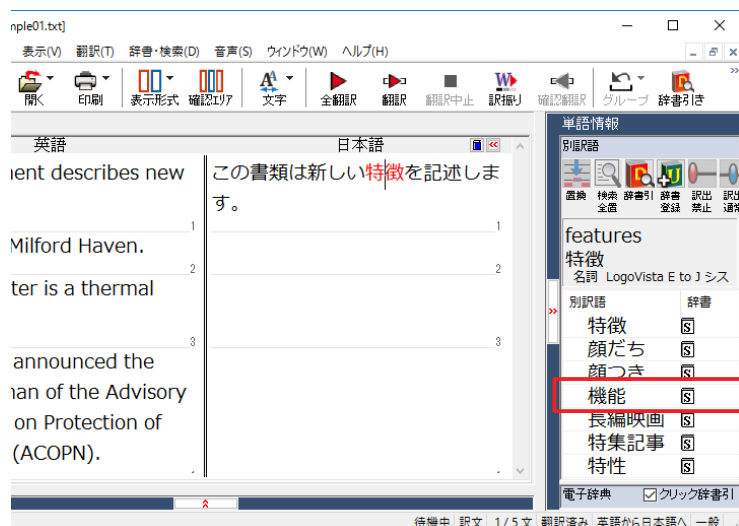


訳文の"特徴"にマウスカーソルを合わせ、マウスをクリックします。

英文の"features"と"特徴"が赤で単語対応表示されます。また、単語情報バーの[別訳語]に"features"に対する訳語の一覧が表示されます。

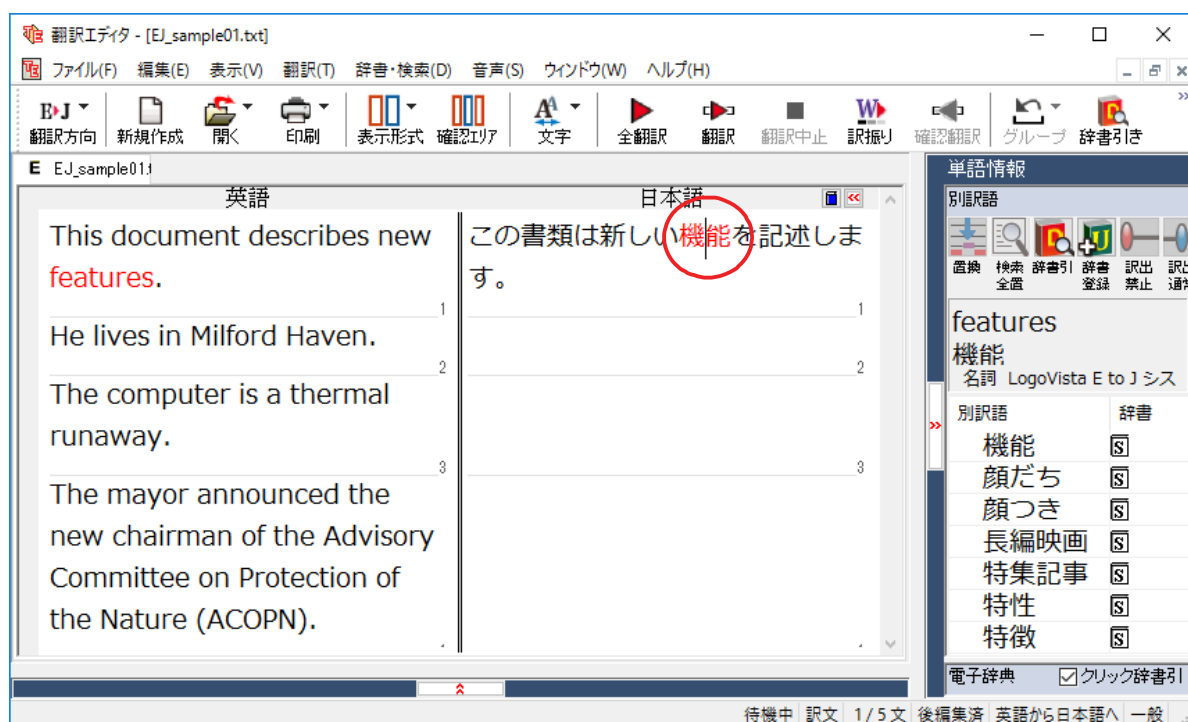


2



別訳語の一覧から、"機能"をダブルクリックします。

訳文の"特徴"が"機能"に変わります。



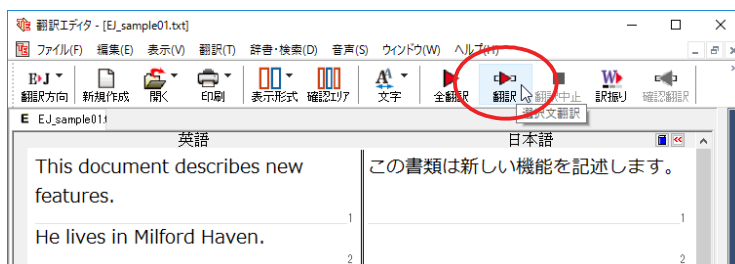
◆ユーザ辞書を使用する (英日・日英)

コリヤ英和！一発翻訳には、ユーザ自身が語句を登録できるユーザ辞書の機能があります。コリヤ英和！一発翻訳が訳せなかった単語や固有名词などを登録していくことで、翻訳の精度が上がっていきます。コリヤ英和！一発翻訳をインストールした時点では、「ユーザ辞書 (標準)」という名称のユーザ辞書が翻訳スタイルに登録されています。ユーザ辞書は、最大5個まで同時に使用できます。また、5個以上のユーザ辞書を作っておき、必要に応じて切り替えて使用することもできます。ユーザ辞書の管理は、翻訳スタイルの一部として行います。新規作成、ロード (「コリヤ英和！一発翻訳」で使用するユーザ辞書として指定すること)、アンロード (「コリヤ英和！一発翻訳」で使用するユーザ辞書の指定から外すこと) が行えます。翻訳スタイル「一般」にロードされている「ユーザ辞書 (標準)」に語句を登録する方法を紹介します。

辞書にない単語が含まれる文を翻訳してみる.....

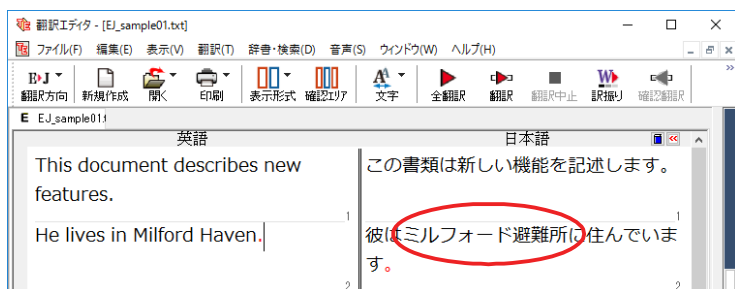
翻訳エディタで、辞書に登録されていない単語が英文に含まれる場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。

1



2文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。

英文が翻訳され、翻訳結果が訳文ボックスに表示されます。



"Milford Haven"は地名ですが、辞書に登録されていないため、"ミルフォード避難所"と訳されてしまいました。

ユーザ辞書に語句を登録する.....

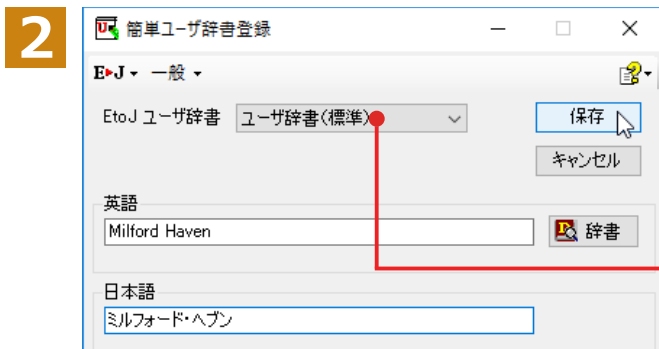
地名として翻訳されなかった"Milford Haven"をユーザ辞書に登録し、再翻訳してみましょう。

1



"Milford Haven"をマウスドラッグで選択して、[辞書・検索] メニューから [簡単ユーザ辞書登録] をクリックします。

[簡単ユーザ辞書登録] ダイアログボックスが表示されます。英語の欄には、選択した"Milford Haven"が自動的に入力されます。

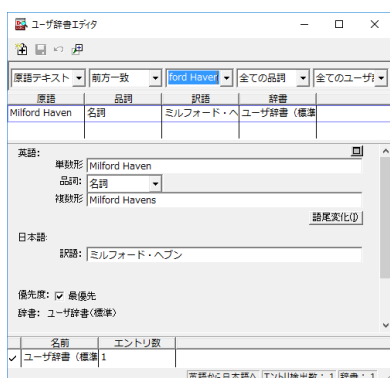


日本語の欄にミルフォード・ヘブンを入力し、[保存] ボタンをクリックします。

これで"Milford Haven"の登録が終了し、簡単ユーザ辞書登録] ダイアログボックスが閉じます。

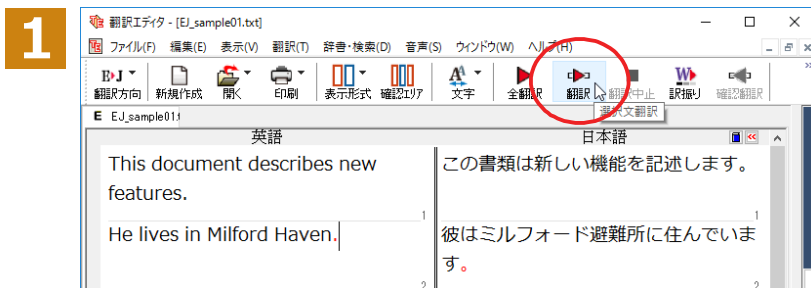


- ・翻訳スタイルに複数のユーザ辞書が設定されているときは、優先度が最も高いユーザ辞書が登録先のユーザ辞書名の欄に表示されます。欄の▼をクリックすると、翻訳スタイルに設定されているユーザ辞書の一覧が表示され、登録先の辞書を変更できます。
- ・[辞書・検索]メニューの[ユーザ辞書に登録]では、品詞などの詳しい情報を設定できます。

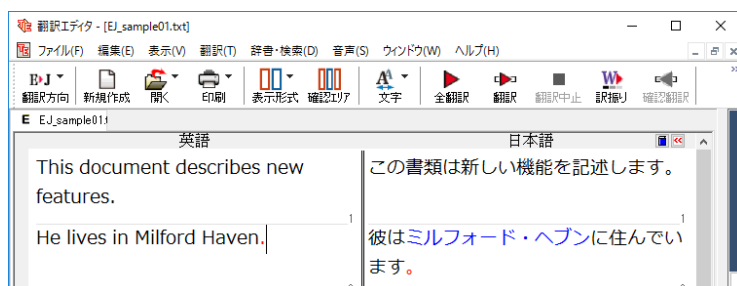


詳しくは翻訳エディタのヘルプをご覧ください。

再翻訳する.....



翻訳エディタの[翻訳] ボタンをクリックして、再翻訳してみます。



再翻訳され、以前の訳文が新しい和訳に入れ替わります。"Milford Haven"も正しく翻訳されます。



ユーザ辞書が出典元の語句は、青字で表示されます。

◆専門辞書・分野辞書を使用する（英日・日英）

専門辞書や分野辞書は、分野ごとの専門用語が収録された辞書です。翻訳を行う文書に応じて使い分けると、より適切な翻訳結果を得ることができます。ここでは、専門辞書・分野辞書を使うことにより、翻訳結果がどのように変わるかを紹介します。

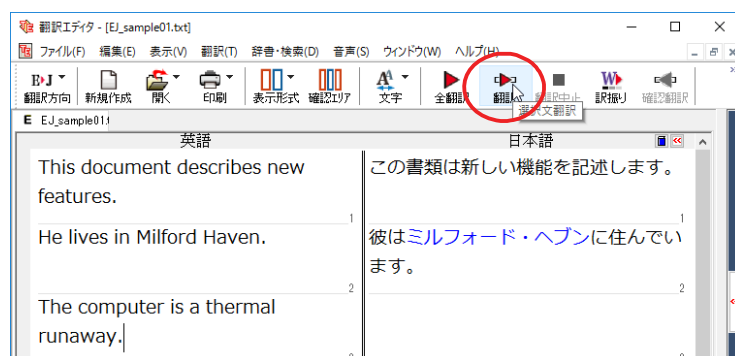


- ・ 翻訳に使用できる専門辞書・分野辞書については、本マニュアル第1章の「コリヤ英和！一発翻訳での翻訳で使用する辞書について」をご覧ください。
- ・ 分野辞書は、翻訳スタイルの編集ダイアログ上では専門辞書の一種として扱われます。

専門辞書なしで、コンピュータ関連の文章を翻訳してみる.....

まずは、専門辞書を利用しない場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。

1

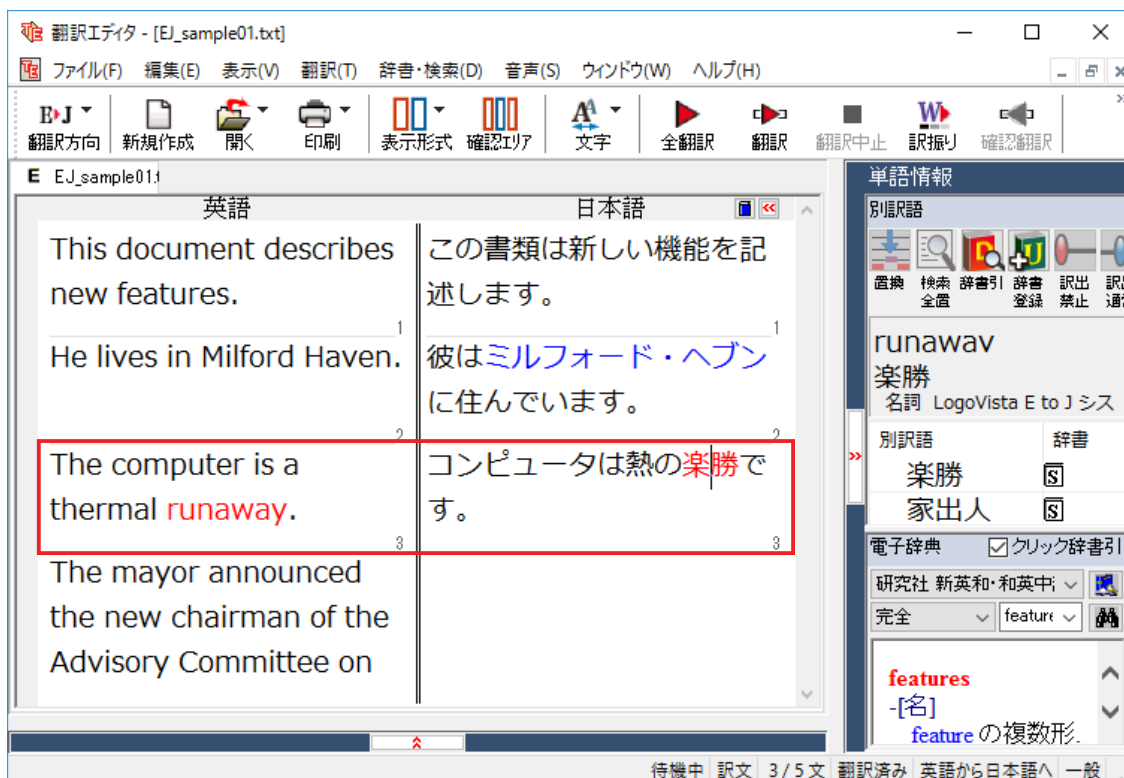


3文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。

次の訳文が表示されます。

コンピュータは熱の楽勝です。

"thermal"と"runaway"が別々の単語として「熱の」と「楽勝」と訳されていることがわかります。それでは、専門辞書を利用すると、この文がどのように訳されるか見ていきましょう。

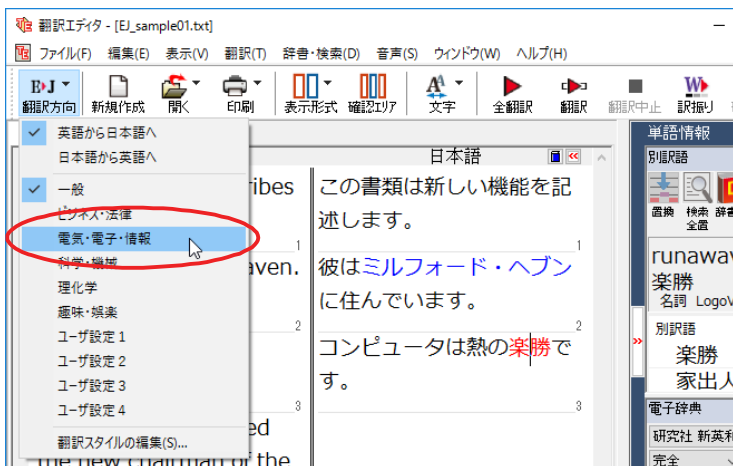


翻訳スタイル「電気・電子・情報」を使って再翻訳する.....

インストールした専門辞書を翻訳に利用するには、専門辞書をロードしておく必要があります。ここではコンピュータの専門辞書を使用します。この専門辞書は、あらかじめセットされている翻訳スタイルの「電気・電子・情報」にロードされています。

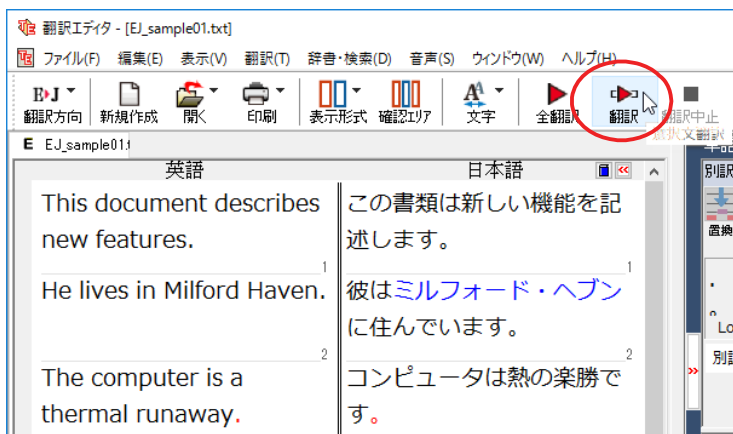
そこで、翻訳スタイルを「電気・電子・情報」に変更します。

1



[翻訳方向]ボタンをクリックし、メニューから[電気・電子・情報]を選択します。これで使用する翻訳スタイルが「電気・電子・情報」に変更されます。

2



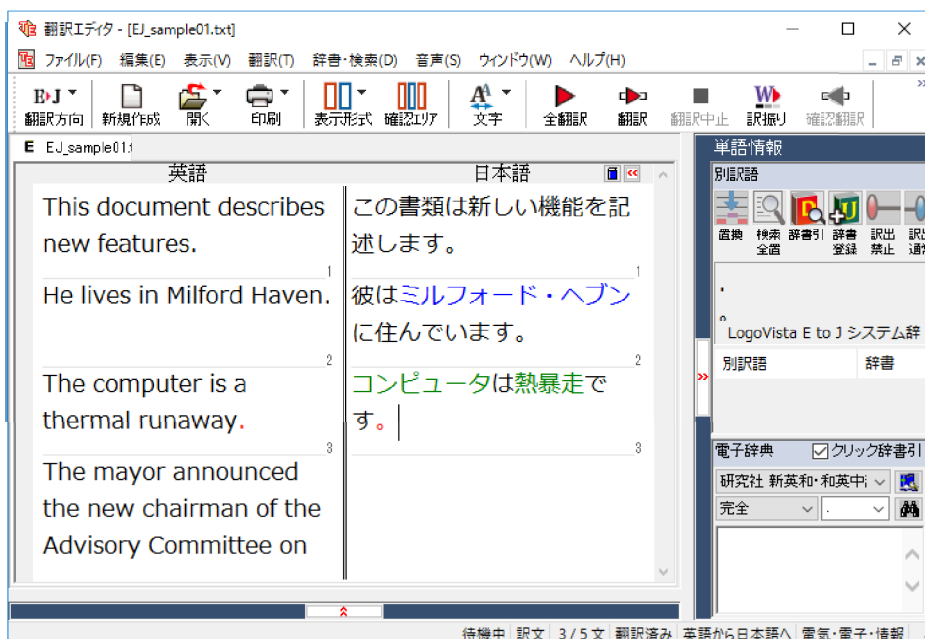
翻訳スタイルを「電気・電子・情報」に変更したことによって、翻訳結果がどのように変わるか、見てみましょう。

翻訳エディタの
"The computer is a thermal runaway."
にポインタを置き、[翻訳] ボタンをクリックします。

専門辞書を使って翻訳が行われ、以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

コンピュータは熱暴走です。

以前は別々の単語として「熱の楽勝」と訳されていた"thermal runaway"が、ひとまとまりの語句として「熱暴走」と訳されていることがわかります。



このように、専門辞書・分野辞書を使うことで、専門的な文章をより正しく翻訳することができます。

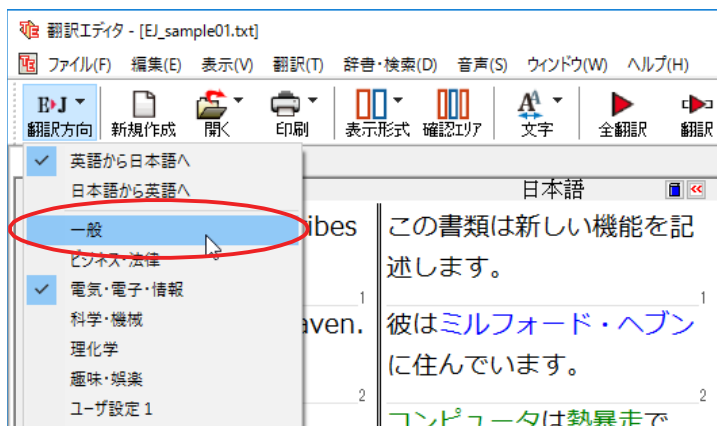
◆語句をグループや原語のままにする（英日）

英日翻訳では、[グループ] ボタンをつかって、グループとしてひとまとまりに翻訳したい語句や、英語のまま訳出したい語句を指定できます。ここでは、[グループ] ボタンを使うことにより、翻訳結果がどのように変わるかを紹介します。

長い組織名を含む英文を、グループ指定をせずに翻訳してみる.....

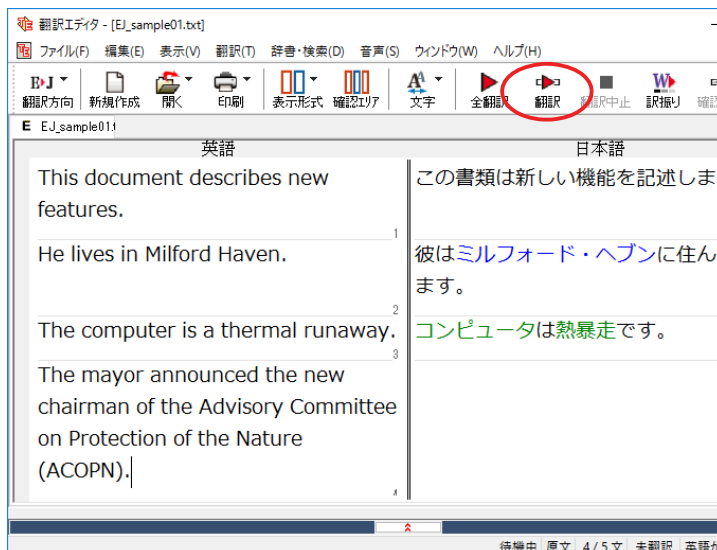
まずは、グループ指定をしない場合、どのように翻訳されるかを見てみましょう。

1

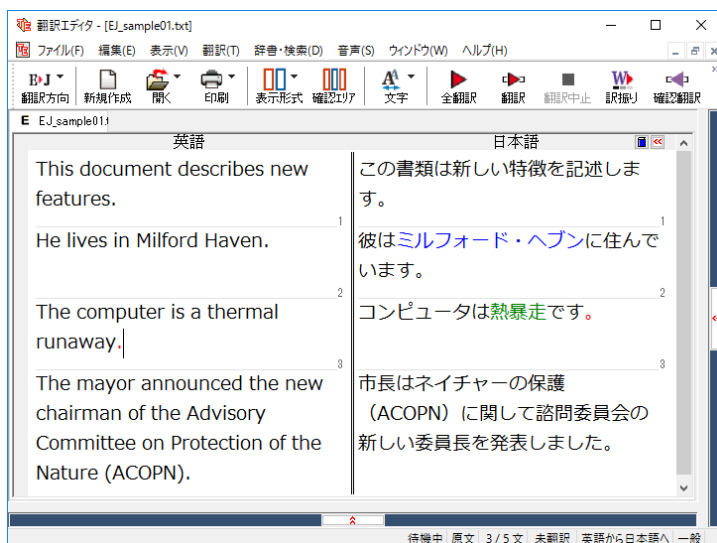


使用する翻訳スタイルを「一般」に戻しておきます。[翻訳方向] ボタンをクリックし、メニューから[一般]を選択します。

2



4文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。



次の訳文が表示されます。

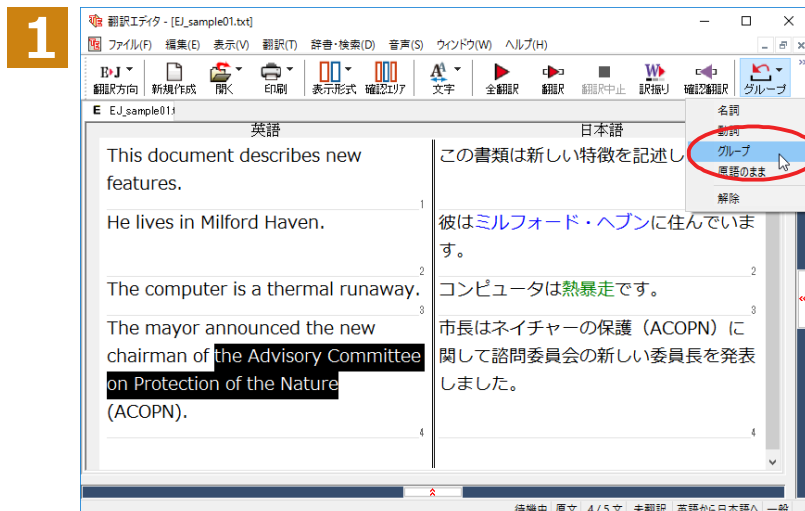
市長はネイチャーの保護 (ACOPN) に関して諮問委員会の新しい委員長を発表しました。

"the Advisory Committee on Protection of the Nature (ACOPN)"が、1つのまとまりとして訳されず、前置詞onの部分で区切られて解釈されていることがわかります。

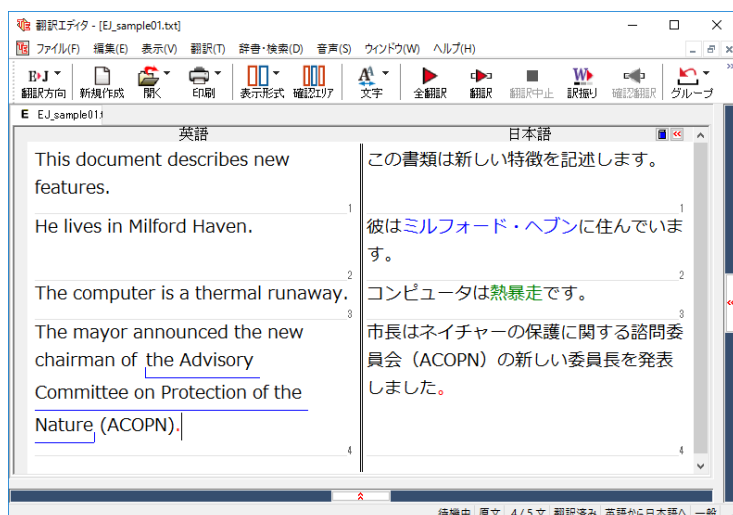
次では、グループを指定すると、この文がどのように訳されるか見ていきましょう。

組織名をグループ化する.....

組織名がひとまとまりに翻訳されるように、グループの指定をしましょう。



“ the Advisory Committee on Protection of the Nature” をマウスドラッグで選択して、[グループ] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [グループ] を選択します。



指定した部分がアンダーラインで表示され、再翻訳が行われます。以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

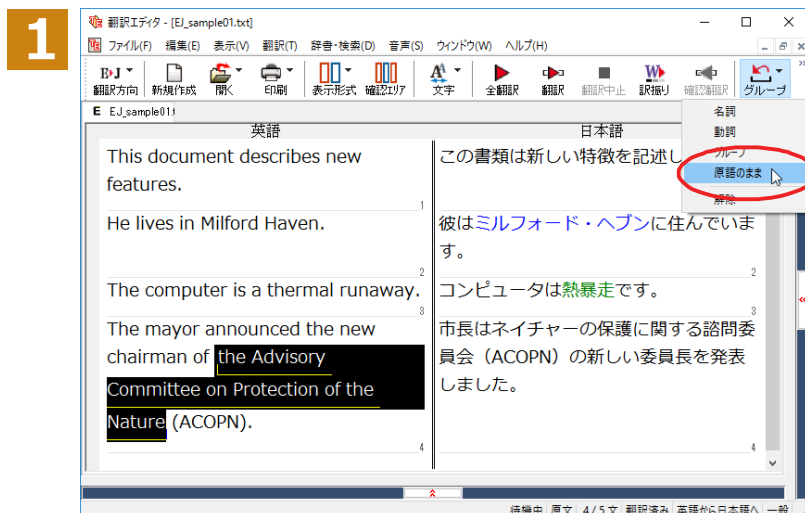
市長はネイチャーの保護に関する諮問委員会 (ACOPN) の新しい委員長を発表しました。

以前は二つに分けられて訳されていた組織名が、ひとまとまりの語句として「自然の保護に関する諮問委員会」と訳されていることがわかります。

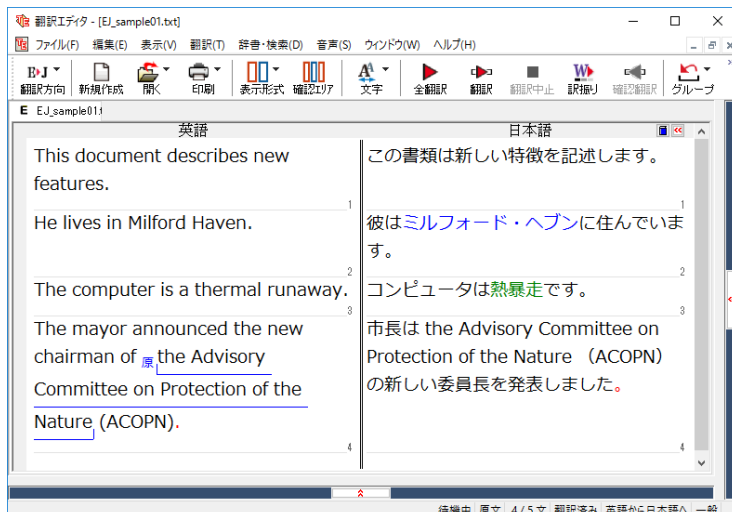
このように、複数の語句から成り立つ名称や、複文がうまく翻訳されないときは、グループを指定して翻訳することで、より正確に翻訳することができます。

組織名を原語のまま訳出する.....

名称などは、日本語に訳したくない場合があります。このときは、[原語のまま] を指定します。



“ the Advisory Committee on Protection of the Nature” をマウスドラッグで選択して、[グループ] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [原語のまま] を選択します。



指定した部分が、「原」の文字とアンダーラインで表示され、再翻訳が行われます。以前の訳文が次の訳文に入れ替わります。

市長は the Advisory Committee on Protection of the Nature (ACOPN) の新しい委員長を発表しました。

「原文のまま」を指定した部分は翻訳されずに、そのまま訳文になります。

このように、名称などで原語のまま訳出したいときは、[グループ] ボタンの [原語のまま] を使います。

◆よりよい翻訳結果を得るために

左右対訳形式で翻訳を行う翻訳エディタでは、原文と訳文を比較検討しながら、翻訳結果を改良していくことができます。ここでは、サンプルのテキストファイル「EJ_sample02 (.txt)」で改良方法を練習してみましょう。

翻訳してチェックする.....

「EJ_sample02.txt」もコリヤ英和！一発翻訳（マルチリンガル）をインストールしたフォルダの [Sample] フォルダにあります。これまでは一文ずつ翻訳してきましたが、今度は複数の文章をまとめて翻訳します。このため、各文の切れ目が明確になっていることが、正しい翻訳を得るためのポイントになります。

「英文を読み込んで翻訳する」と同様の方法でサンプルのテキストファイル「EJ_sample02. (txt)」を読み込みます。

以下のテキストが原文ボックスに入力されます。前半と後半は、ほぼ同じ内容です。どこが違うかを確認するために、まず全文を翻訳してみましょう。

Date:May 10,2007

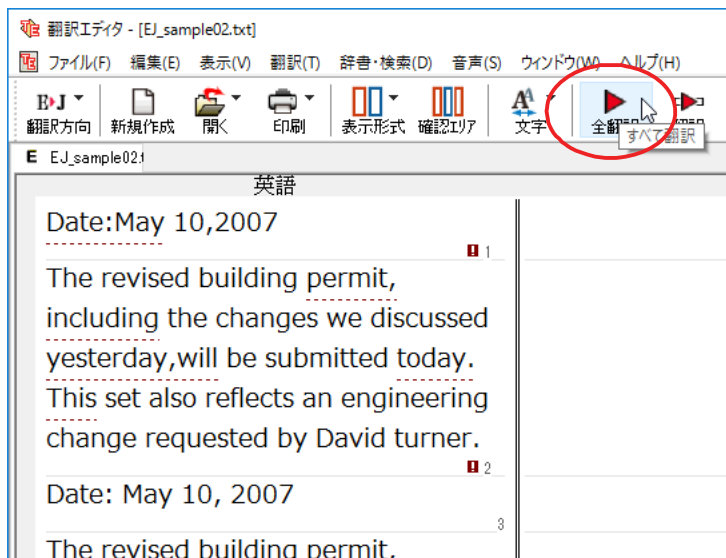
The revised building permit,including the changes we discussed yesterday,will be submitted today.This set also reflects an engineering change requested by David turner.

Date: May 10, 2007

The revised building permit, including the changes we discussed yesterday, will be submitted today.

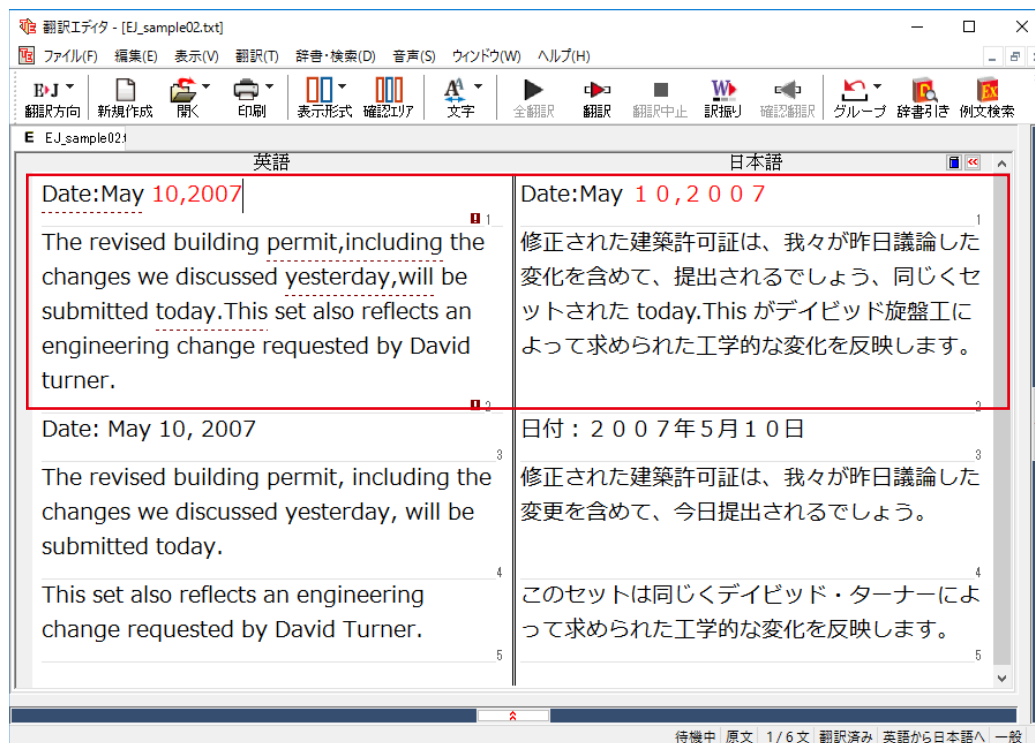
This set also reflects an engineering change requested by David Turner.

1



[全翻訳] ボタンをクリックします。翻訳が行われ、訳文が表示されます。

これが翻訳の結果です。前半と後半では、全く異なった結果になってしまいました。前半は、和訳が意味を成していないだけでなく、日付けも翻訳されていません。



原文を修正して、文末を再判定する.....

それでは、前半部分も正しい翻訳になるように修正してみましょう。

1

前半の英文で、次の△で示した部分にスペースを入力します。

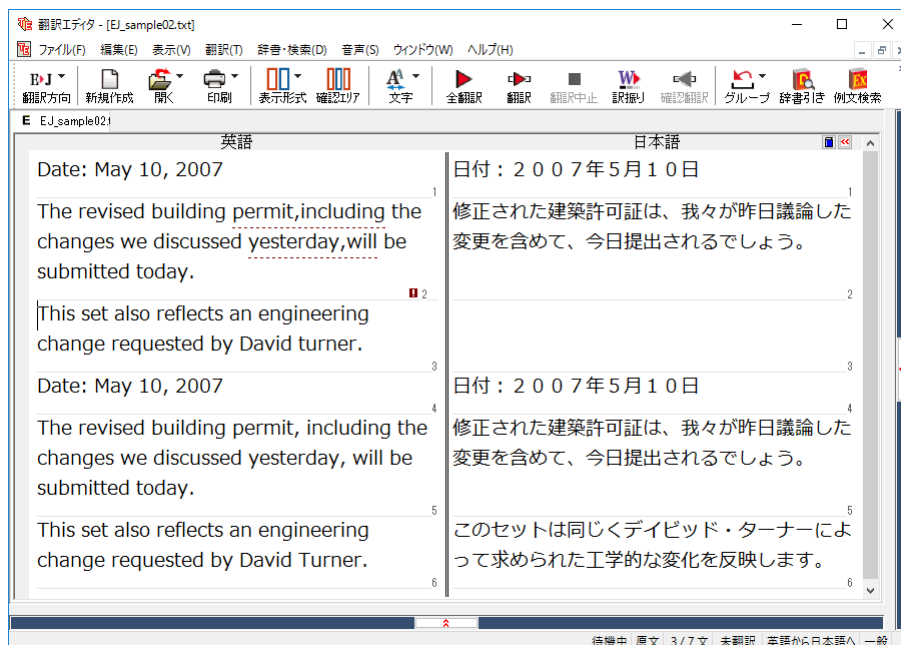
Date:△May 10,△2007

The revised building permit, including the changes we discussed yesterday,will be submitted today.△This set also reflects an engineering change requested by David turner.

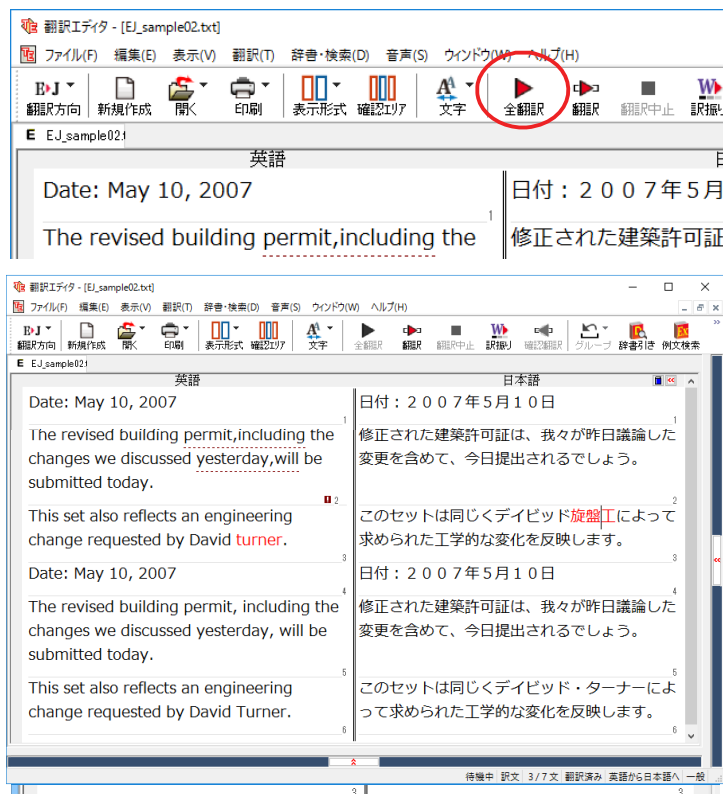
スペースが正しく入力されると、次の図のようになります。

1文目は、スペースが入力されると再翻訳が実行され、日付が正しく翻訳されます。

2文目は、スペースが入力されると行末の再判定が実行され、2つの文に分けられます。以前はピリオドの後に改行またはスペースが入力されていなかったため、この箇所が文末と認識されていなかったことがわかります。スペースを入力したことで、今度は正しく文末として判定され、文が分けられました。



2



それでは、再度翻訳してみましょう。[全翻訳] ボタンをクリックします。

未翻訳の原文だけが再翻訳されます。

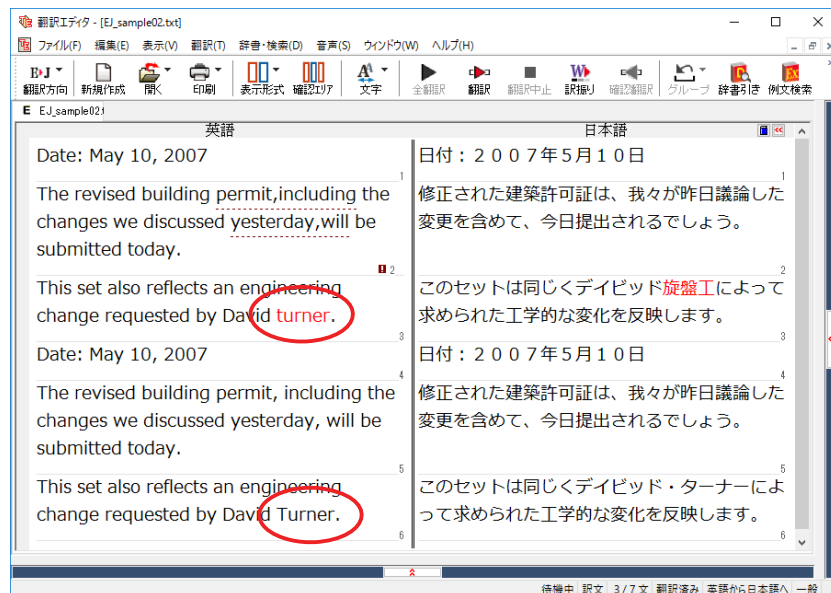
3文目の“デイビッド旋盤工”という部分を除いて、正しく翻訳されました。

全翻訳した訳文を検討して修正する

3文目の原文を修正しましょう。

1

和訳の“旋盤工”をクリックします。“旋盤工”と“turner”が赤で表示され、対応していることがわかります。後半の文とくらべてみると、大文字で始めなければならない人名“Turner”が、小文字で始まっていたために正しく翻訳されていないことがわかります。



2

This set also reflects an engineering change requested by David **turner**.

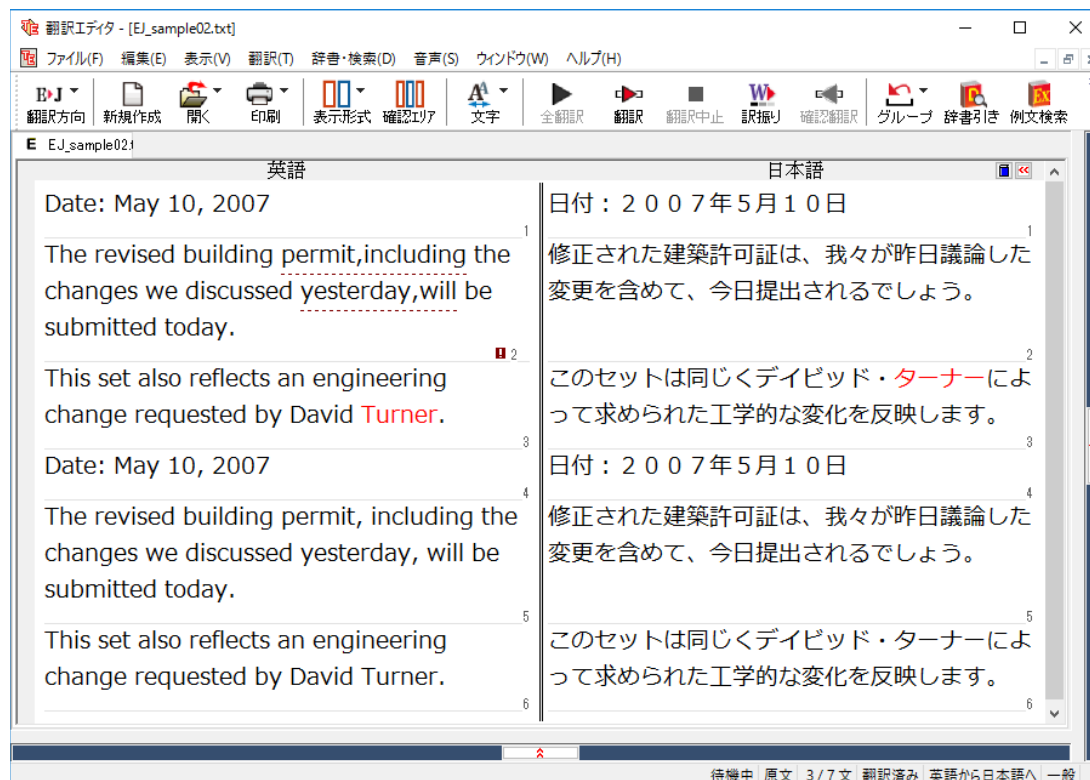
Date: May 10, 2007

The revised building permit, including the changes we discussed yesterday, will be submitted today.

"turner"を"Turner"に修正します。

このセ
求めら
日付：
修正さ
変更を

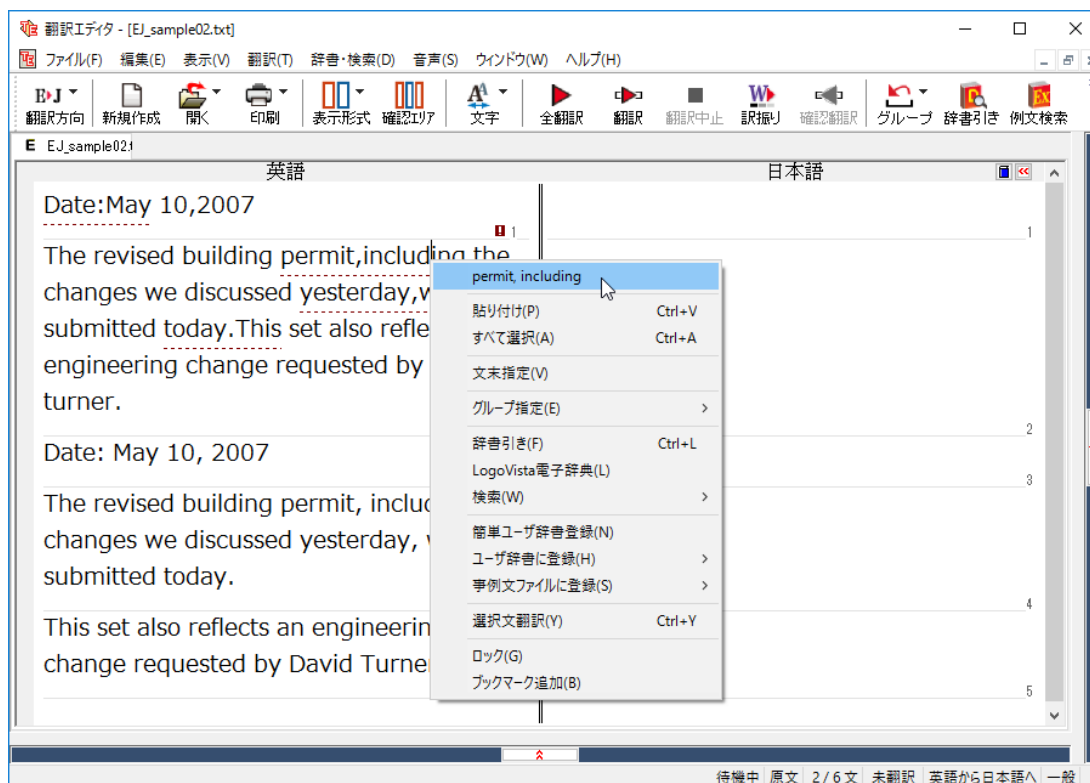
再翻訳が行われ、以前の訳文が新しい訳文に入れ替わります。今度は正しく翻訳されていることがわかります。



原文スペルチェック機能.....

原文にスペルが違ふと考えられる用語に印が付き、右クリックコンテキストメニューから他の候補を一覧で表示する機能です。

※利用には Microsoft Office Word のインストールが必要です。



和文を翻訳してみよう

和文から英文に翻訳する場合、文法の違いなどを考慮して和文を作成しておく必要があります。元になる和文によっては意味が通らない英文になってしまうことがあります。また、和文から英文以外の言語に翻訳する場合も、一度英文に翻訳されてからその他の言語に翻訳されますので、意味の通る英文に翻訳する方法を修得しておくことが重要です。翻訳エディタには、より適切な翻訳ができるよう、サポートする機能が用意されています。これらを利用しながら日英翻訳を行う方法を紹介します。

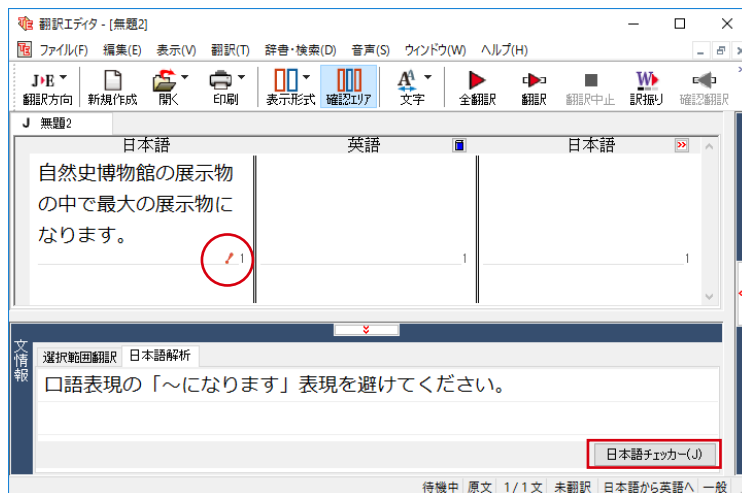
◆日本語チェッカー機能

日本語を翻訳しやすい日本語に変換してくれる機能を搭載しています。今までの日英翻訳⇒【日→英→日】から【日→日→英→日】と翻訳しやすい日本語へ直してから英語に変換することで翻訳精度が大幅に向上します。

※マルチリンガルの場合【日→日→英→多言語→日】となります。

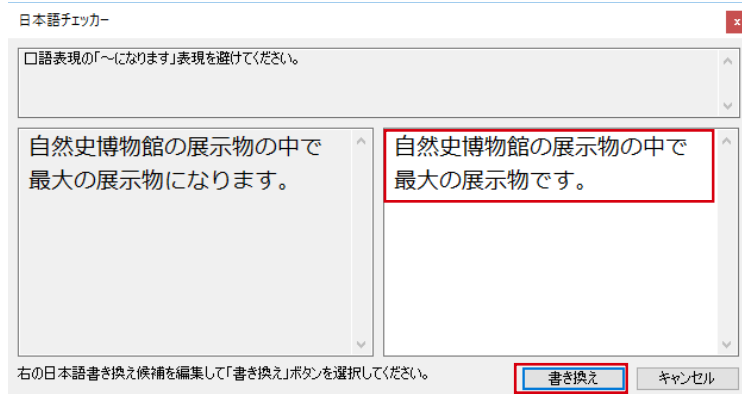
※中間言語として英語を使用しない韓国語の場合【日→日→韓国語→日】となります。

1

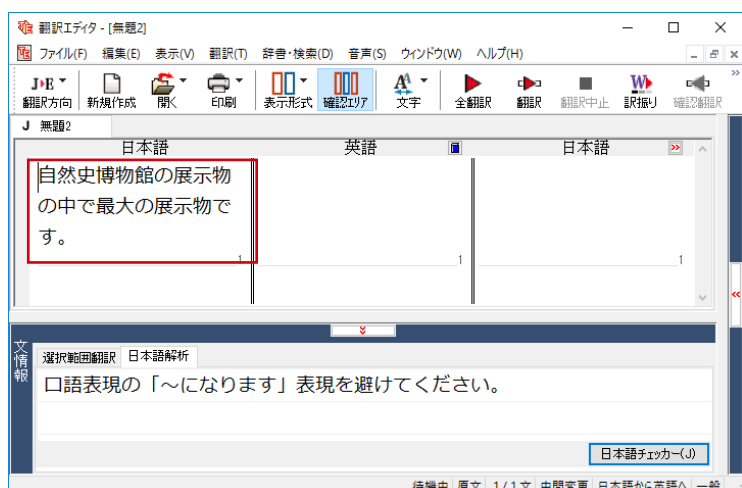


原文エリアに日本語を入力します。変換対象となる日本語がある場合、エリア右下に表示される  アイコンをクリックするか、日本語解析の[日本語チェッカー]ボタンをクリックすると、日本語チェッカーが表示されます。

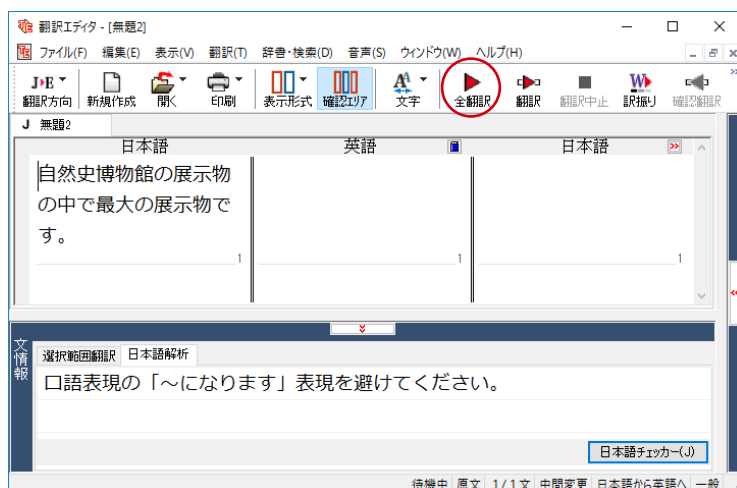
2



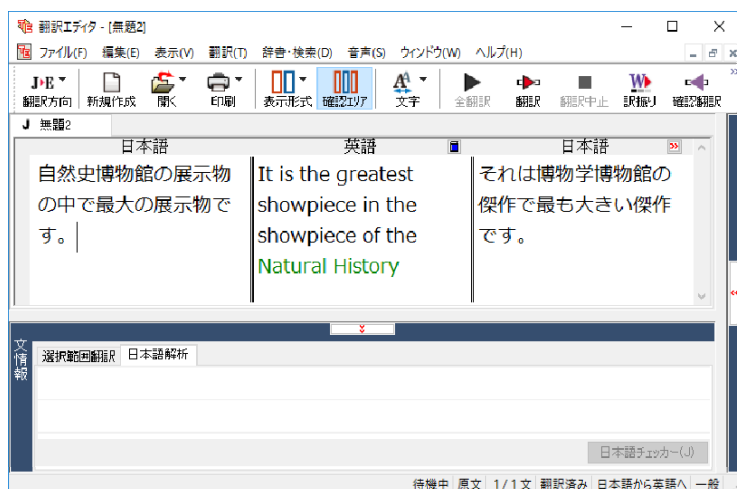
書き換え候補の日本語が表示されます。[書き換え] ボタンをクリックすると原文が書き換わります。



3



[全翻訳]ボタンをクリックして、翻訳を実行します。



翻訳結果が表示されます。

翻訳結果の比較

日本語チェッカー機能を使用せずに翻訳した場合と、日本語チェッカーで原文を書き換えた場合の比較です。

日本語を変換しないで翻訳

原文：自然史博物館の展示物の中で最大の展示物になります。

訳文：I become the greatest showpiece in the showpiece of the Natural History Museum.

確認翻訳：私は博物館の傑作で最も大きい傑作になります。

日本語を変換して翻訳

原文：自然史博物館の展示物の中で最大の展示物になります。

日本語を変換：自然史博物館の展示物の中で最大の展示物です。

訳文：It is the greatest showpiece in the showpiece of the Natural History Museum.

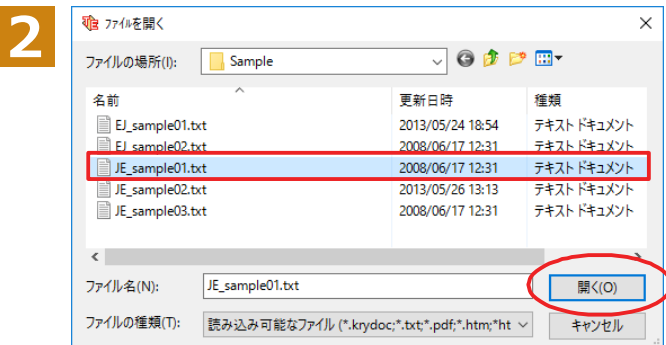
確認翻訳：それは博物館の傑作で最も大きい傑作です。

確認翻訳に注目してください。このように、日本語チェッカー機能を使用することにより、正確な訳文を作成することが可能です。

◆テキストファイルを読み込む

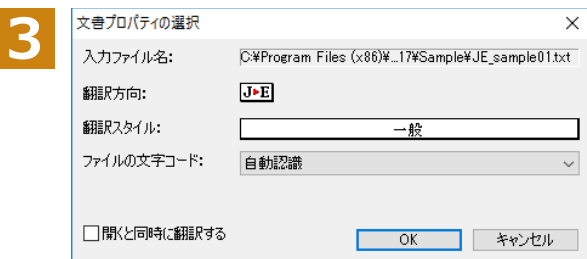
ここでは、サンプルのテキストファイル「JE_sample01 (.txt)」を読み込んで翻訳してみます。サンプルのテキストファイル「JE_sample01 (.txt)」は、コリヤ英和！一発翻訳（マルチリンガル）をインストールしたフォルダの「Sample」フォルダにあります。

1 [翻訳エディタ] ウィンドウの[開く]ボタンをクリックし、表示されるメニューから[ファイルを開く]を選択します。
[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。



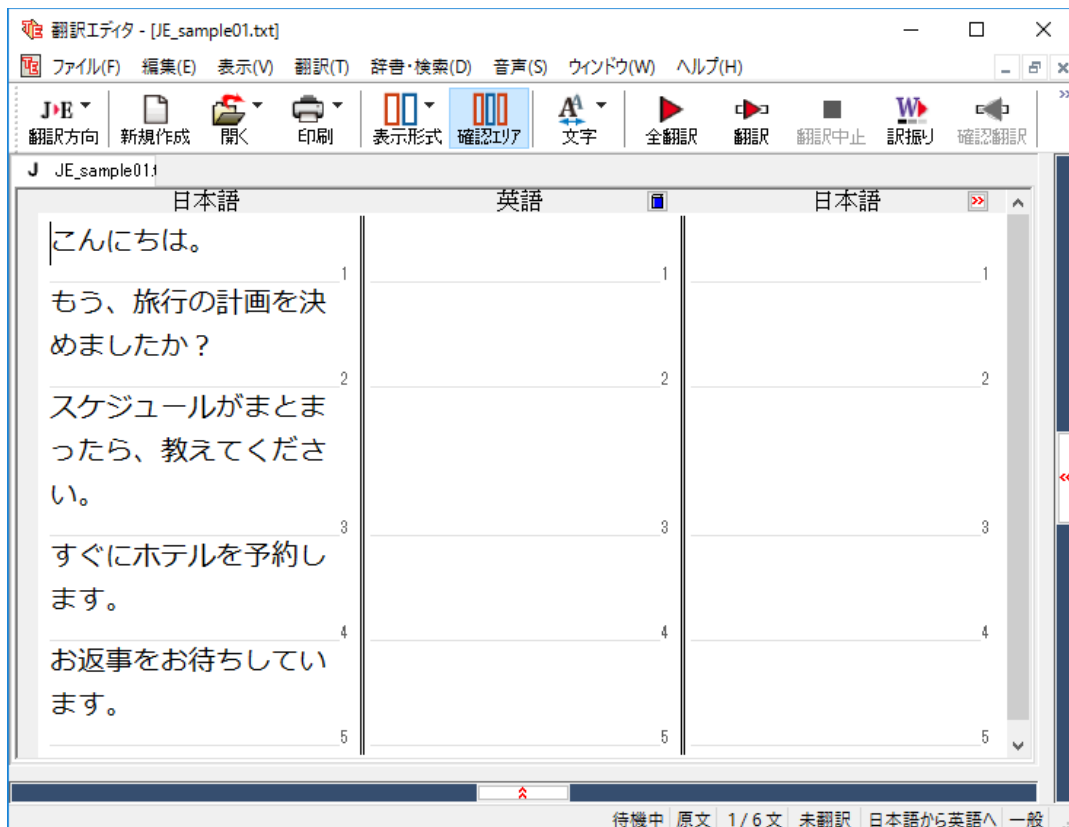
[Sample]フォルダに移動。
「JE_sample01 (.txt)」を選択し、[開く]ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログボックスが開きます。



翻訳方向で[日本語から英語へ]、翻訳スタイルで[一般]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

和文のサンプルテキストが読み込まれます。



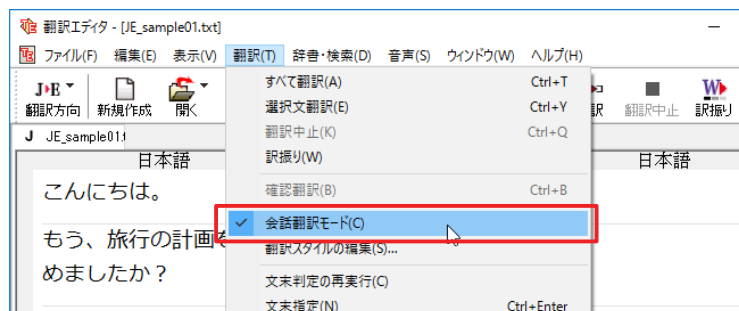
◆会話モードを活用する

親しい間柄でやりとりするメールや手紙、あるいは日記などの個人的な文章では、口語調の文体がよく使われます。口語調の文では、文語にくらべて、より主語が省略されやすくなります。このような文を翻訳するときは、会話モードを使うと便利です。原文を解析し、主語を補いながら翻訳します。

[会話モード] を使わずに翻訳してみる.....

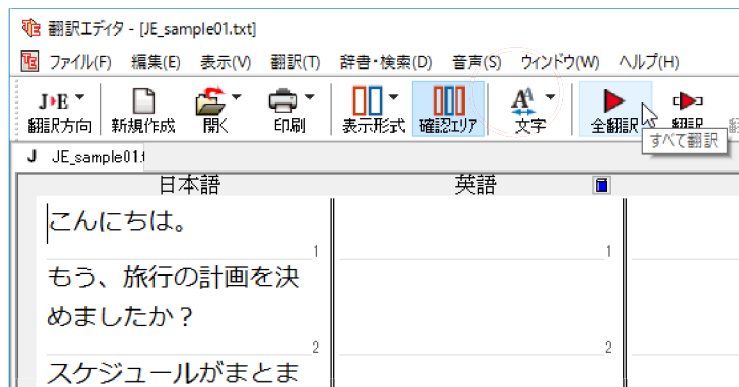
まず会話モードを使わずに翻訳し、結果を見てみましょう。

1



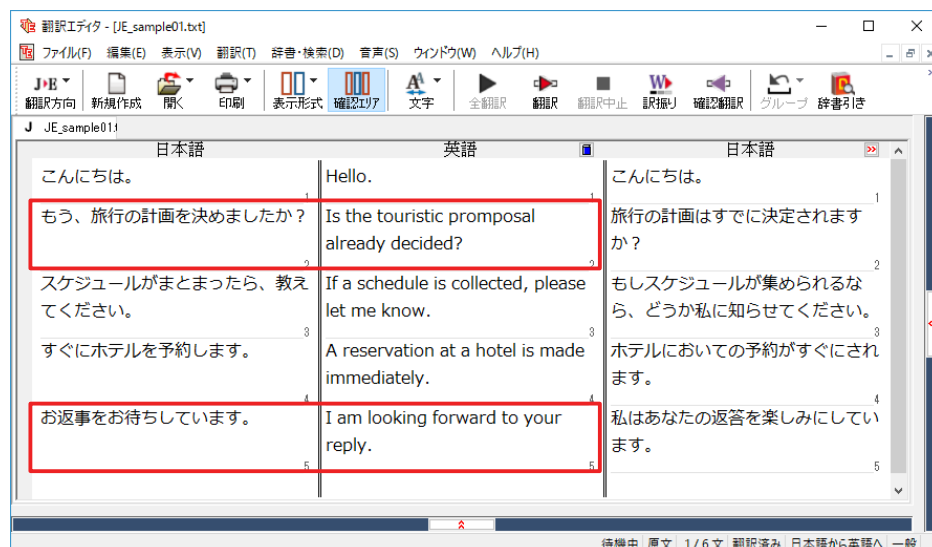
[翻訳]メニューの[会話翻訳モード]をオフ(チェックされていない状態)にします。

2



[全翻訳]ボタンをクリックします。

全ての文が翻訳され、結果が訳文ボックスに表示されます。



2文目と4文目の翻訳結果に注目してみましょう。

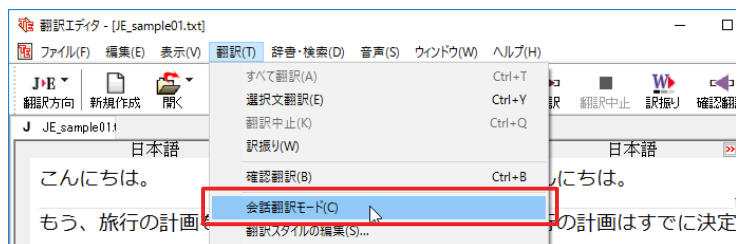
もう、旅行の計画を決めましたか？ → Is the touristic promposal already decided?
 すぐにホテルを予約します。 → A reservation at a hotel is made immediately.

いずれの原文も主語が欠けているため、訳文が受動態の文章になっていることがわかります。

【会話モード】で翻訳する.....

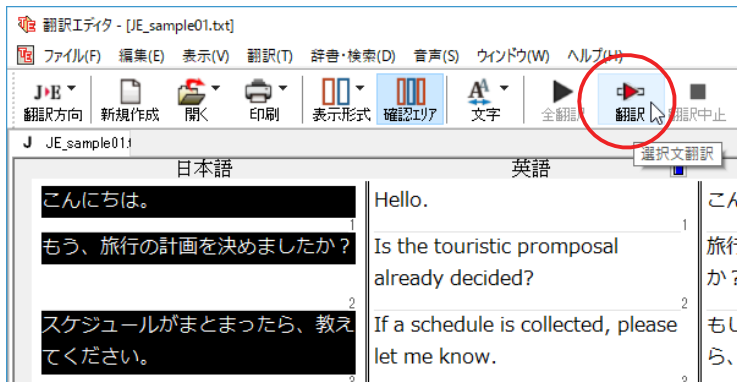
次に会話モードで翻訳し、結果を以前のものと比べてみましょう。

1



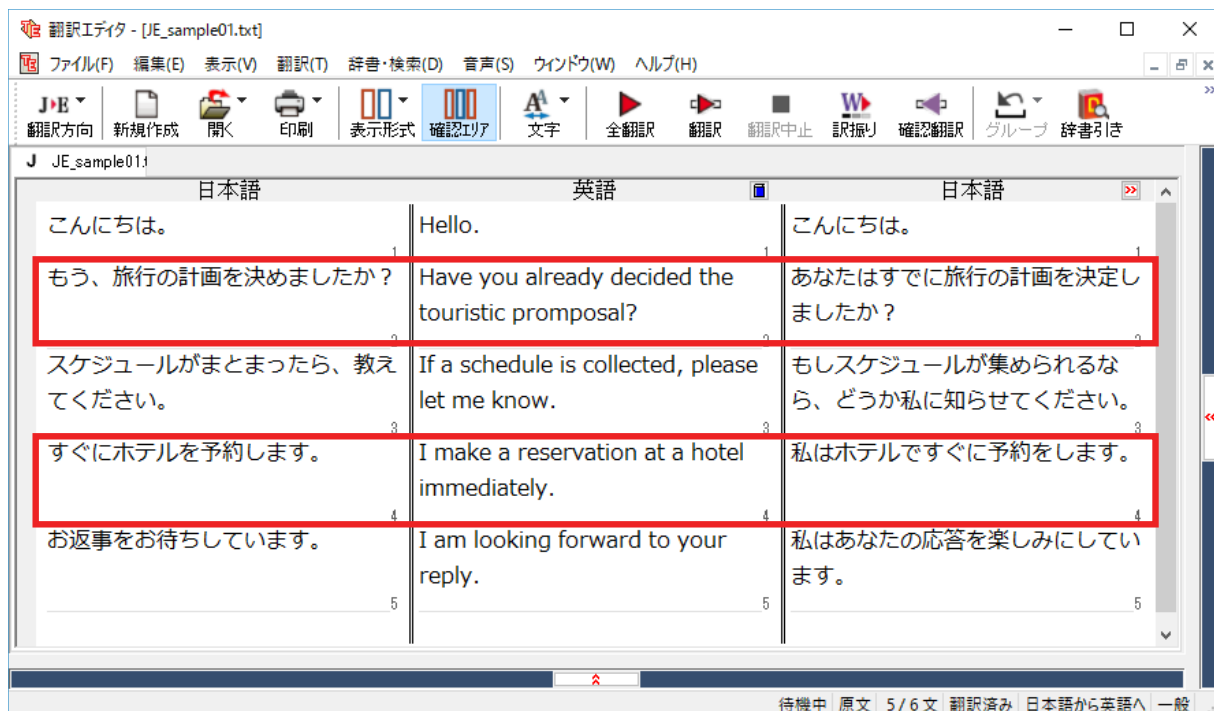
【翻訳】メニュー【会話翻訳モード】をオン(チェックが付いた状態)にします。

2



すべての原文を選択し、【翻訳】ボタンをクリックします。

再翻訳が行われます。2文目と4文目の訳文が入れ替わります。



2文目と4文目の訳文がどう変わったか見てみましょう。

もう、旅行の計画を決めましたか？ → 【会話モード】 オフ Is the touristic promposal already decided?

→ 【会話モード】 Have you already decided the touristic promposal?

すぐにホテルを予約します。

→ 【会話モード】 オフ A reservation at a hotel is made immediately.

→ 【会話モード】 I make a reservation at a hotel immediately.

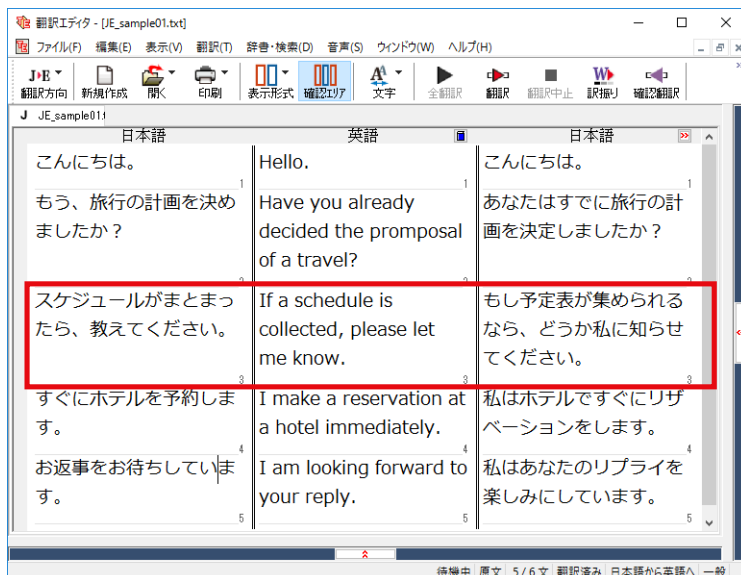
それぞれ、主語が補われてより自然な英文に翻訳されました。

このように、口語調の文章を翻訳するときは、【会話モード】を活用することで、より適切な訳文を得ることが期待できます。ただし省略されている主語が“I”か“you”以外の場合、【会話モード】では正しく翻訳できません。この場合は、原文に主語を補ってから翻訳してください。

◆[確認翻訳]を利用して原文を修正する

日本語の表現をそのまま翻訳すると、誤訳になってしまったり、ニュアンスが異なってしまったりする場合があります。[確認翻訳]には、訳文を再度日本語に翻訳した文が表示されます。[確認翻訳]の内容と原文の内容がほぼ一致するように原文を別の表現に変えることで、より適切な訳文が得られます。

1

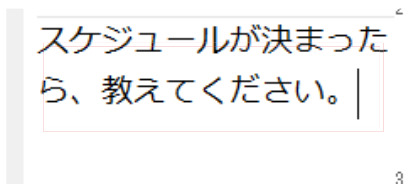


3文目に注目してください。[確認翻訳]表示エリアには3文目の訳文を日本語に翻訳した結果が表示されています。

原文 スケジュールがまとまったら、教えてください。
[確認翻訳] もしスケジュールが集められるなら、どうか私に知らせてください。

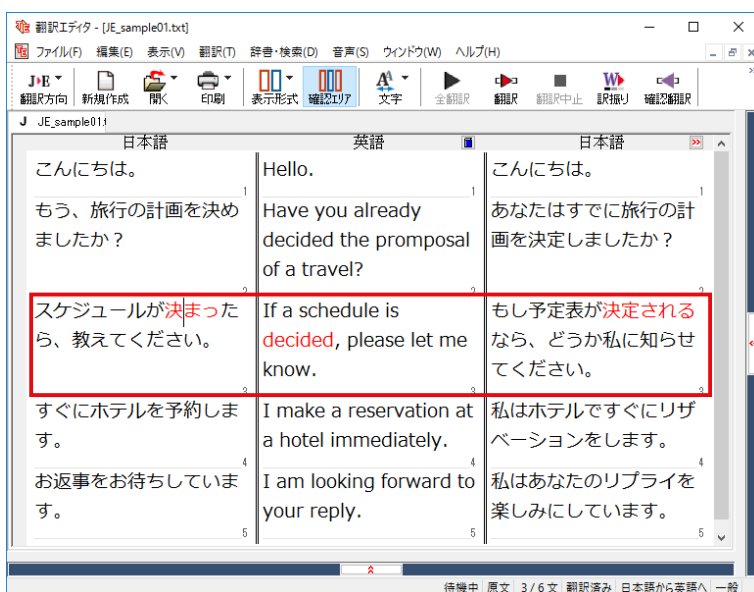
日本語の“まとめる”が、“ばらばらだったものを1つに整える”という意味で解釈されて訳されていることがわかります。しかし、この文の“まとめる”は、“決着をつける、完成させる”といった意味で使われています。そこで、原文を編集して意味を明確にします。

2



「まとまったら」を「決まったら」に修正します。

再翻訳が実行され、訳文と[確認翻訳]の内容が入れ替わります。



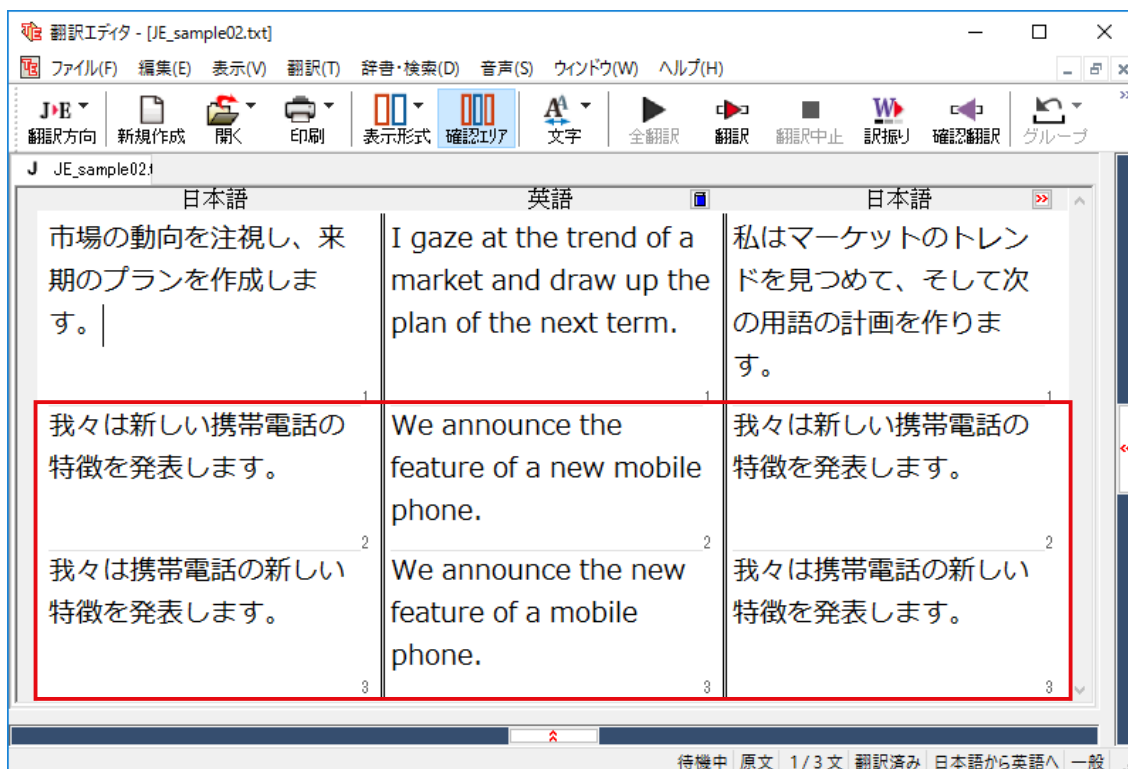
[確認翻訳]は次のようになります。

原文 スケジュールが決まったら、教えてください。
[確認翻訳] もしスケジュールが決定されるなら、どうか私に知らせてください。

こんどは、両者の意味に大きな違いが無いようです。このように確認翻訳を利用することで、適切な内容の訳文に上げることができます。

◆修飾語の位置を変えて翻訳する

修飾語の位置によって英訳が変わります。正しい訳を得るためには、できるだけ修飾される語の近くに置いてください。「JE_sample02 (.txt)」を開き、翻訳します。2文目と3文目の訳文、原文を比較してみましょう。



次のように翻訳されています。

我々は新しい携帯電話の特徴を発表します。

We announce the feature of a new mobile phone.

我々は携帯電話の新しい特徴を発表します。

We announce the new feature of a mobile phone.

これらを検討すると、前者は"新しい"が"携帯電話"の修飾語として翻訳され、後者は"新しい"が"機能"の修飾語として翻訳されていることがわかります。

このように、修飾語の位置に注意して、和文を作成してください。



和文作成のヒント

- 1文をできるだけ短くする。
わかりやすく正確な英文を作成するためには、1文を50文字以下に抑えることをお勧めします。複数の文に分けて翻訳してから、後でつなげるなど、工夫してください。
- 主語や目的語、助詞、述語等を省略しない。
- 次のような表現はできるだけ直す。
"～という"、"～のようなもの"等は削除して、明確な表現にする。
"～を行う"、"～をする"は、"～する"にならないか工夫する。
- 漢字での表記が自然なものはできるだけ漢字で書く。
「ここではきものをぬいでください。」のように複数の意味を持つ文は、漢字を使い分けることによって区別できます。また、むやみに平仮名で書くと、未知語(翻訳辞書に登録されていない語)になり、翻訳に失敗してしまいます。漢字での表記が自然なものは漢字を使ってください。助詞、助動詞などは仮名表記です。
- 体言止め(名詞・代名詞で終わる文章)にしない。
サ変名詞で終わっている文章を日英翻訳プログラムがサ変動詞にして訳することがあります。このために翻訳に失敗する場合もあります。箇条書きの文章に体言止めがよく見られますので、どう訳したいかを考えて日本語を直してください。
- 口語文、感情表現、慣用句は避ける。
口語文や感情表現は種類が多く、様々な表現があるので、翻訳ソフトでは十分な対応ができません。また、慣用句は文字どおりの意味と含蓄された意味の二つを持つ場合もあります。入力文を書き直すか、ユーザ辞書に適切な品詞で登録することで対応してください。

◆ユーザ辞書を使う（英日・日英）

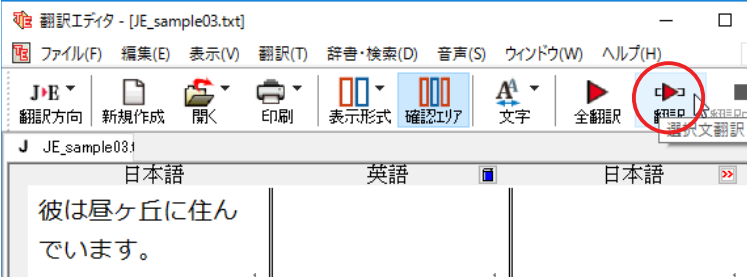
人名や地名、商品名等、システム辞書に登録されていない語句があると、訳文に日本語が残り、使われている漢字の意味で翻訳されてしまう場合があります。このような場合は、その語句をユーザ辞書に登録してください。

ヒント ユーザ辞書は、英日のときと同様に、翻訳スタイルを設定するダイアログボックスで最大 5 つまでロードしておくことができます。ここでは、デフォルトのユーザ辞書「ユーザ辞書（標準）」に語句を登録します。

辞書にない語句を含む和文を翻訳する.....

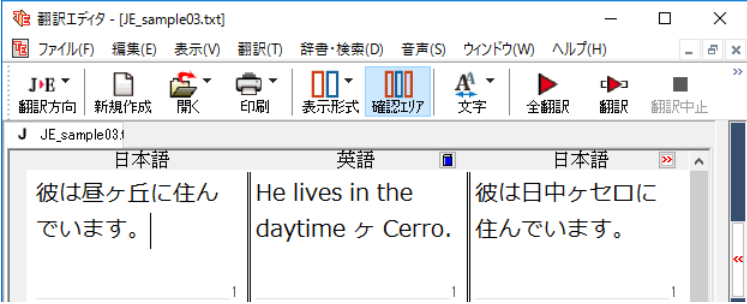
「JExample03(.txt)」は、コリヤ英和！一発翻訳（マルチリンガル）をインストールしたフォルダの[Sample]フォルダにあります。「テキストファイルを読み込む」と同様の方法で、サンプルのテキストファイル「JExample03(.txt)」を読み込みます。

1



1 文目の原文「彼は昼ヶ丘に住んでいます。」にポインタをおき、[翻訳]ボタンをクリックします。

1 文目が翻訳されます。

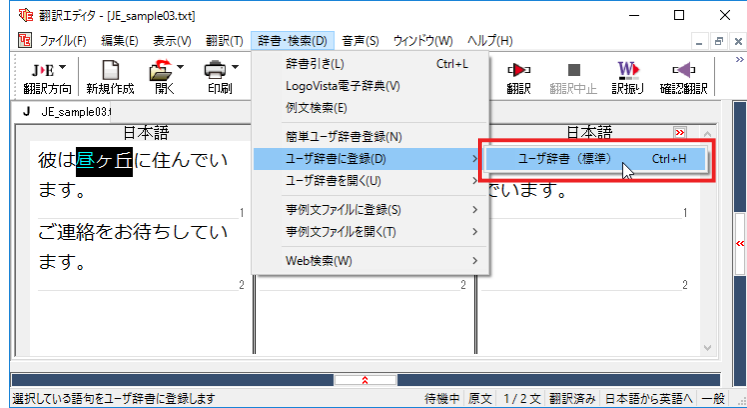


"昼ヶ丘"という地名が登録されていないため、意味を成さない英文になってしまいました。そこで、"昼ヶ丘"をユーザ辞書に登録してみましょう。

ユーザ辞書に登録する.....

ユーザ辞書への登録方法は、英語から翻訳する場合と同様、[簡単ユーザ辞書登録]と[ユーザ辞書に登録]の二種類があります。ここでは、[ユーザ辞書に登録]を使う方法を説明します。

1



和文の " 昼ヶ丘 " をマウスドラッグで選択し、[辞書・検索]メニューの[ユーザ辞書に登録]で登録先のユーザ辞書（この例では「ユーザ辞書（標準）」）を選択します。

ユーザ辞書エディタが起動し、[ユーザ辞書エディタ]ウィンドウが表示されます。

2

このウィンドウで新しい単語をユーザ辞書に登録できます。すでに「昼ヶ丘」が「見出し語」フィールドの「日本語」入力ボックスに入力されています。ここでは、次のように設定します。

「見出し語」-「品詞」：「固有名詞」を選択
「見出し語」-「意味情報」：「地名」を選択
「訳語」-「英語」：「Hirugaoka」を入力

訳語の属性も編集します。「属性の変更」ボタンをクリックします。

「訳語の属性(名詞)」ダイアログボックスが開きます。



【ユーザ辞書エディタ】ウィンドウ属性欄に表示される項目は、選択した品詞によって変わります。各項目の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

3

地名を登録するので、「複数形」で「常に単数形」、「冠詞」で「冠詞なし」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

【ユーザ辞書エディタ】ウィンドウに戻ります。

4

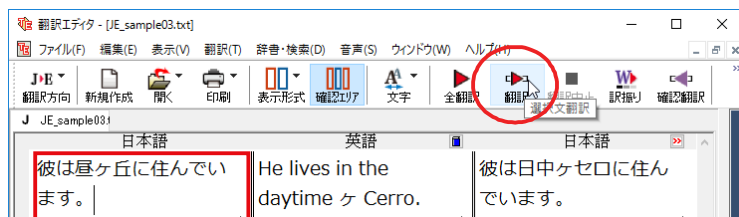
「エントリ保存」ボタンをクリックします。これで "Hirugaoka" の登録が終了します。

5

「閉じる」ボタンをクリックします。これでユーザ辞書エディタが閉じます。

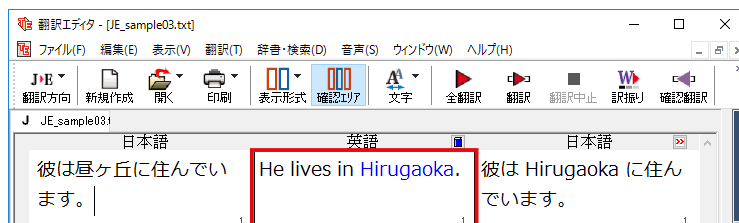
再翻訳する.....

1



1文目の原文にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックして、再翻訳してみます。

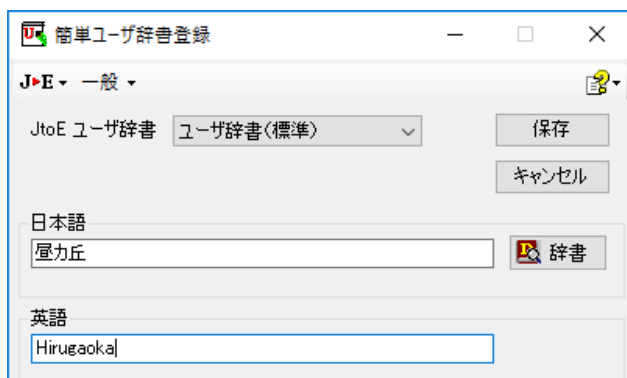
2



再翻訳され、以前の訳文が新しい英訳に入れ替わります。"昼ヶ丘"が"Hirugaoka"と訳されます。



- ・キャレットを合わせていないとき、ユーザ辞書が出典元の語句は、青字で表示されます。
- ・[辞書・検索]メニューの[簡単ユーザ辞書登録]では、訳語を入力するだけで、単語を登録できます。

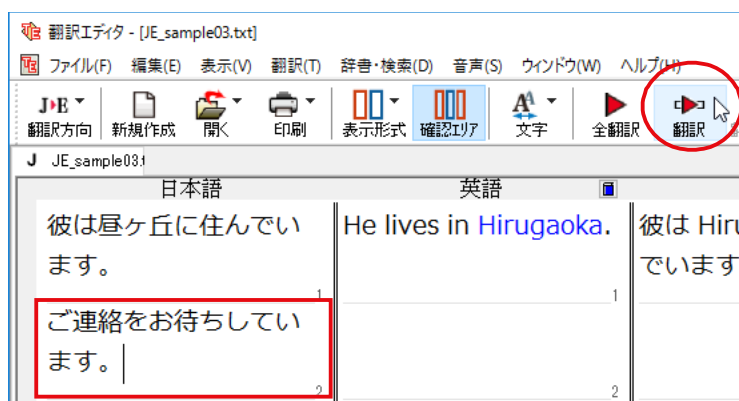


◆事例文を登録する（日本語・英語）

手紙文やビジネス文書などでは、類似した文が繰り返され、決まり文句が使われることがあります。これらを事例文として登録しておくと、翻訳がスピードアップします。また、あいさつ文など、直訳すると意味が通らなくなってしまう文章も、正確に翻訳できるようになります。事例文を登録するためには、登録先の事例文ファイルを作成し、使用する翻訳スタイルにロードしておく必要があります。

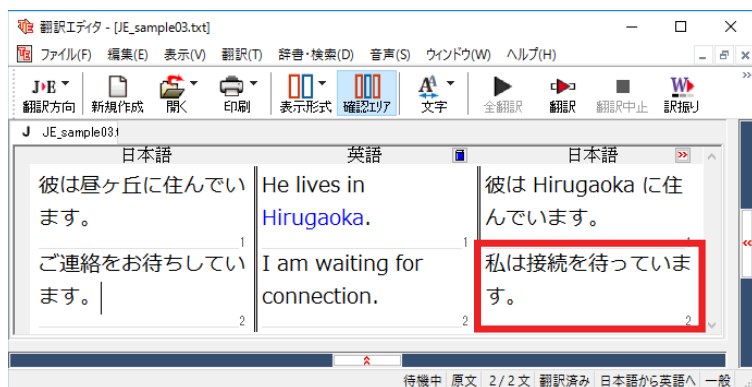
事例文を登録しないで翻訳してみる.....

1



2文目の原文「ご連絡をお待ちしています。」にポインタをおき、[翻訳] ボタンをクリックします。

翻訳結果が表示されます。

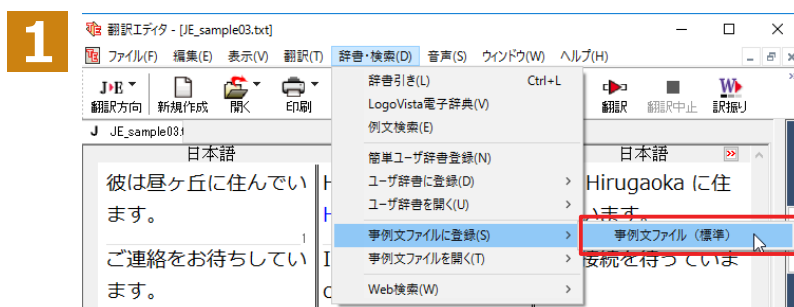


I am waiting for connection.
[確認翻訳]私は接続を待っています。

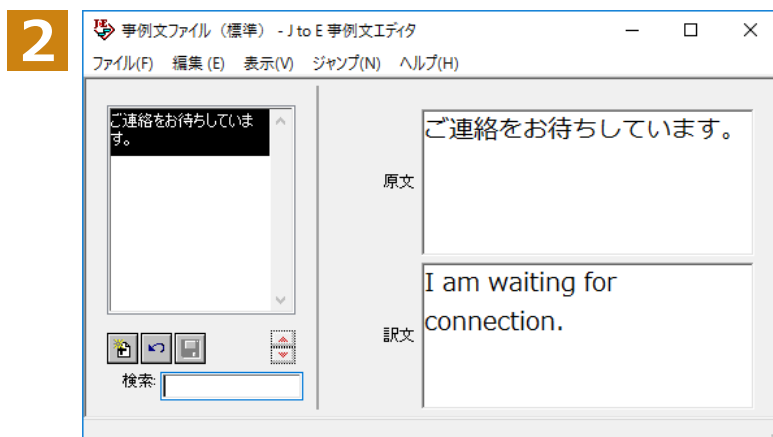
このように、文が直訳されてしまい、元の和文が持つニュアンスからは、かけ離れてしまいました。

事例文を登録する

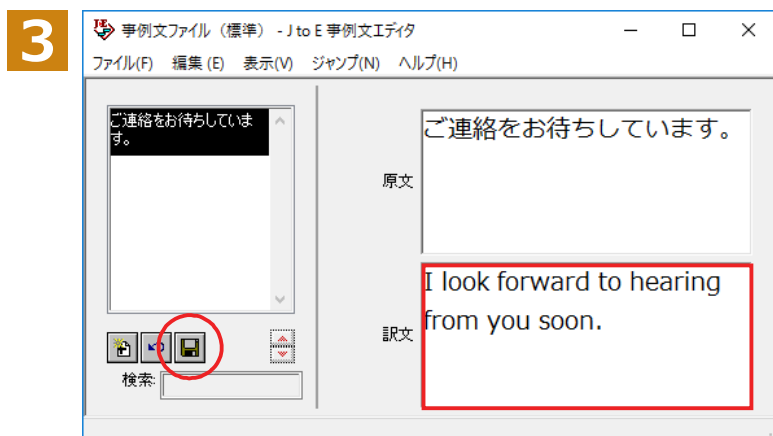
"ご連絡をお待ちしています。"に相当する結び文として、英語では"I look forward to hearing from you soon."が使われます。この文を事例文として登録してみましょう。



2 文目の原文「ご連絡をお待ちしています。」にポインタを置き、[辞書・検索]メニューの[事例文ファイルに登録]を選択し、サブメニューから登録先のファイルを選択します。



[J to E 事例文エディタ] ダイアログボックスが表示されます。[原文] には、選択した「ご連絡をお待ちしています。」が、自動的に入力されます。



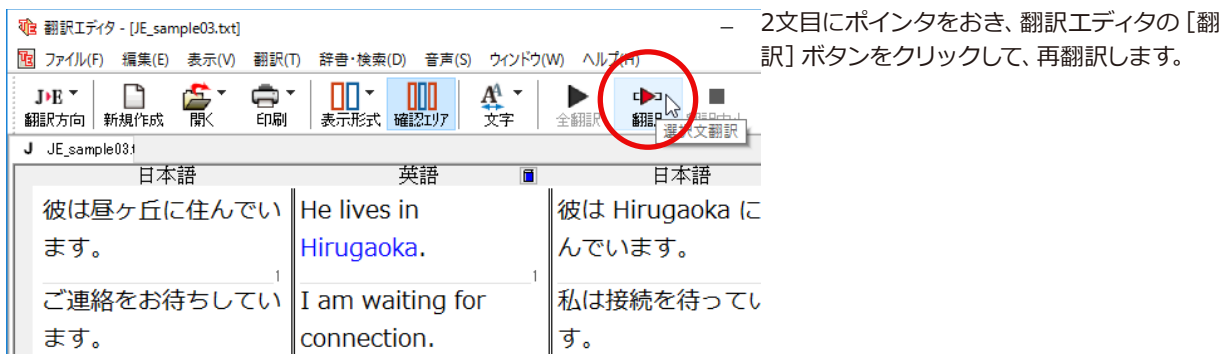
[訳文] に "I look forward to hearing from you soon."と入力し、[エントリ保存] ボタン(保存)をクリックします。

1 つの事例文が登録できました。

4 [ファイル]メニューから[終了]を選択して[J to E 事例文エディタ]ダイアログボックスを閉じます。

再翻訳する.....

1



再翻訳され、以前の訳文が新しい英訳に入れ替わります。今度は事例文に登録したとおりに翻訳されました。



このように、事例文を使うと、決まり文句やあいさつ文をより正しく翻訳することができます。



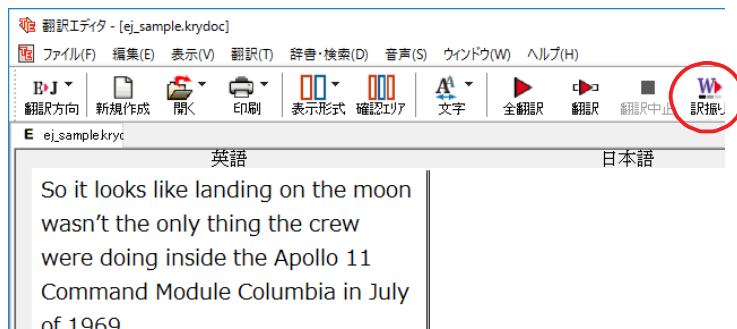
事例文が適用された訳文は赤で表示されます。

訳振り機能を利用する（英日・日英・韓日・日韓）

英日翻訳では、原文の主要単語に訳語を振って表示する訳振り機能を利用できます。単語の意味を確認しながら、自分で翻訳したい場合などに便利です。

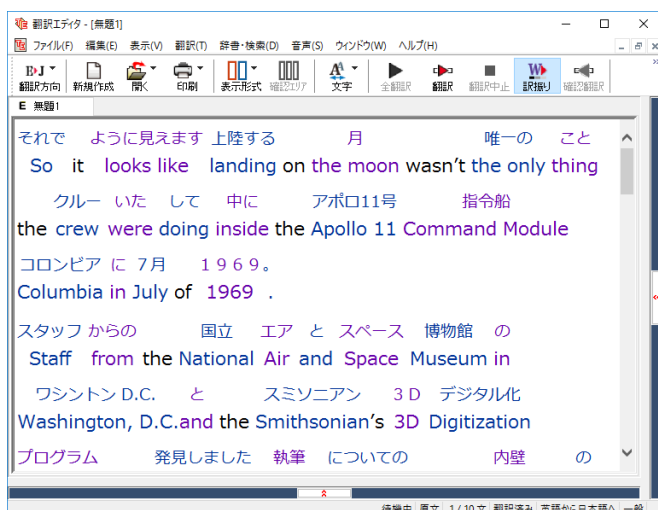
◆訳振りの実行

1



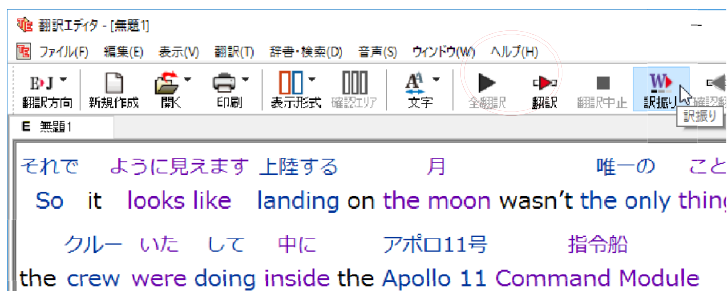
原文を入力し、[訳振り] ボタンをクリックします。

全翻訳が行われ、文書ウィンドウの表示が訳振りモードになります。

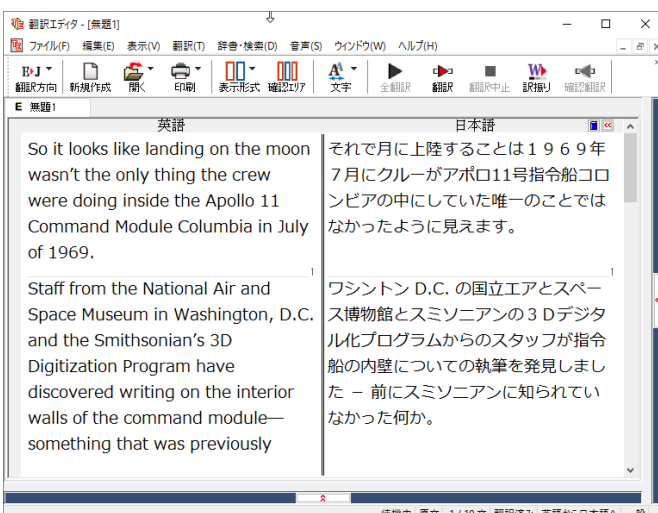


このように訳振りモードでは、冠詞や助動詞などの基本単語を除いた主要な単語の上に、訳語が表示されます。

2



訳文を確認したいときは、[訳振り] ボタンをクリックします。



訳振りモードが終了し、通常の原文ボックスと訳文ボックスの表示に戻ります。

ひな形や例文を利用しながら作文するには（日英）

例文検索には、手紙やビジネス文書に利用できるひな形や例文が豊富に用意されています。これらを検索して翻訳エディタで編集中の文書に入力して利用できます。

翻訳エディタでひな形や例文を利用する方法は2種類あります。

- ・編集中の文書に文や段落の単位で例文を入力する方法
- ・ひな形を文書として開き、必要な箇所を編集する方法

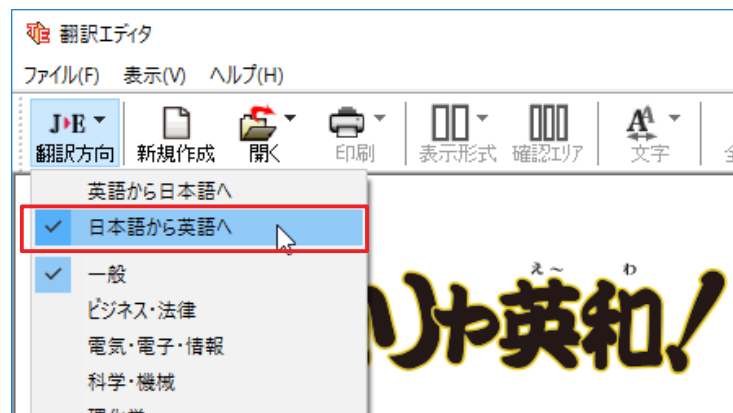


- マルチリンガル版では、日本語から他言語に翻訳するときのみ、それぞれ別の例文データベースを利用できます。
- ウクライナ語には対応していません。

◆編集中の文書に文や段落の単位で例文を入力するには

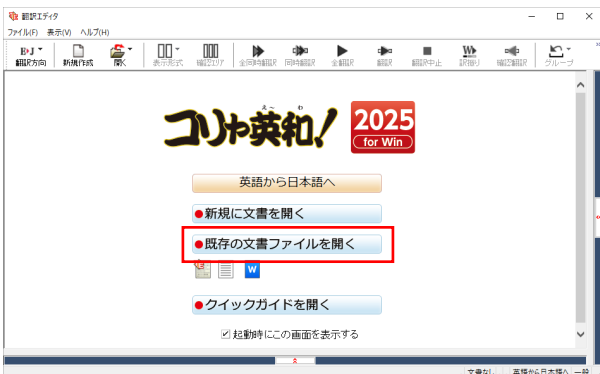
翻訳エディタで入力した語句をもとに例文を検索し、編集中の文書に入力する手順を説明します。

1



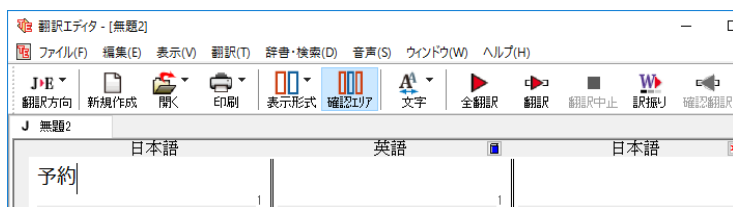
翻訳エディタを起動します。[翻訳方向] ボタンをクリックして、表示されるメニューから翻訳方向を選択します。ここでは、[日本語から英語へ] を選択します。

2



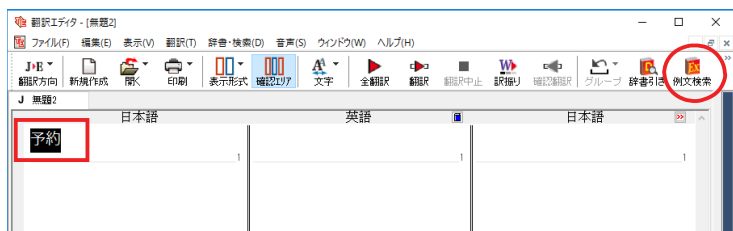
起動メニューから[新規に文書を開く]を選択します。

3

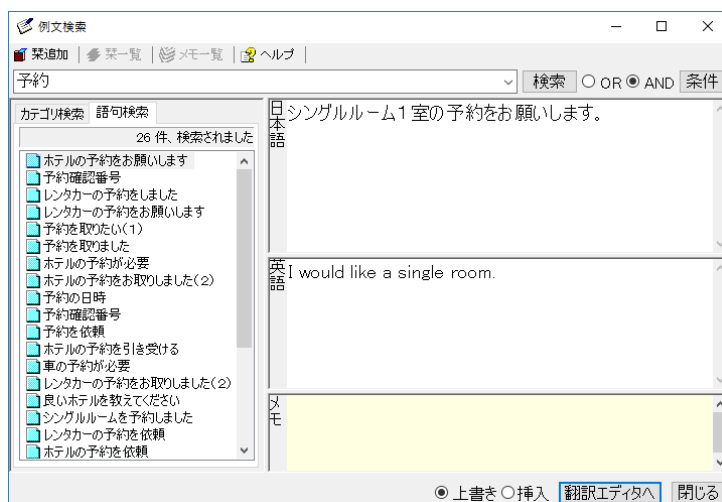


原文に「予約」と入力します。

4

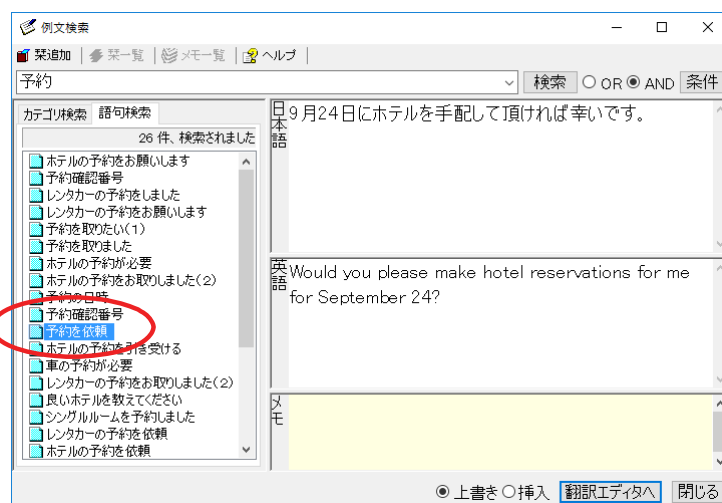


入力した語句をもとに、例文を検索してみます。「予約」を選択し、[例文検索]ボタンをクリックします。



【例文検索】ウィンドウが表示され、検索結果が表示されます。

5

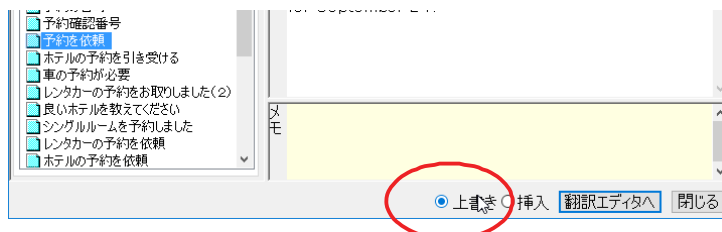


左のボックスにキーワードを含むテーマが一覧表示されます。

テーマをクリックすると、右のボックスに例文が表示され、内容を確認できます。

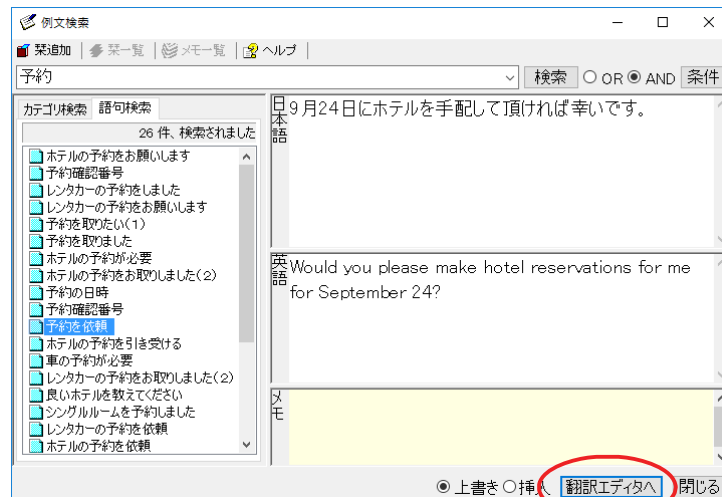
使いたい例文を表示します。

6



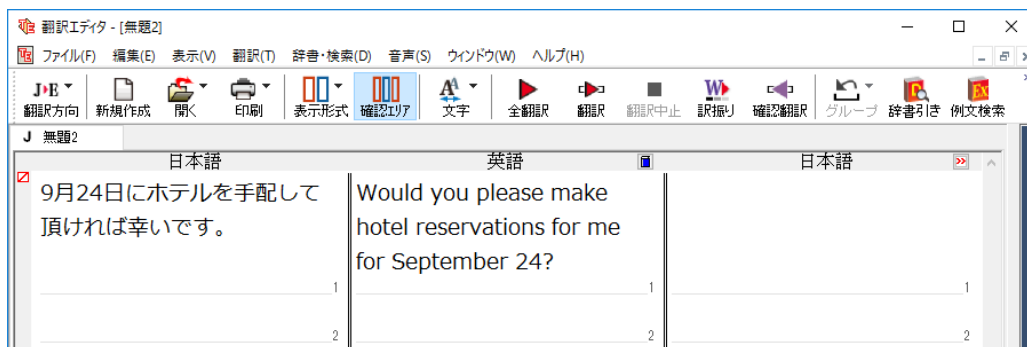
【上書き】【挿入】いずれかのラジオボタンをクリックして、入力方法を選択します。【上書き】を選択したときは、元の文書に上書きされます。【挿入】を選択したときは、ポインタがある文の1つ前に例文が挿入されます。ここでは上書きを選択します。

7



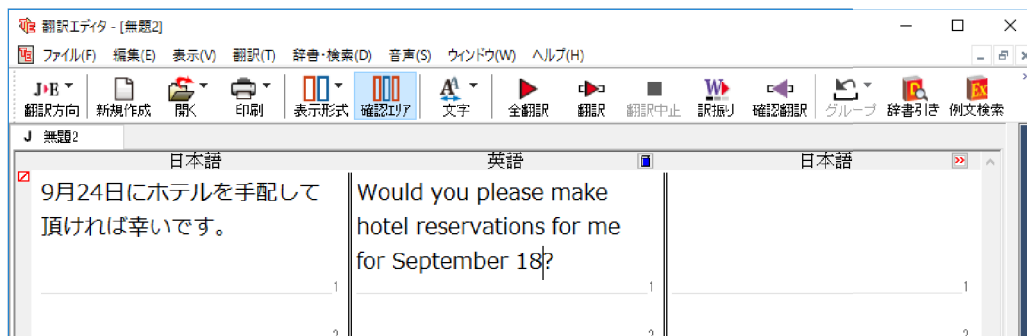
【翻訳エディタへ】ボタンをクリックします。

例文の日本語が原文ボックスに、英語が訳文ボックスに入力されます。



8

訳文ボックスで必要な箇所を編集して文を仕上げます。なお、入力した例文は手入力で編集できますが、再翻訳はできません。



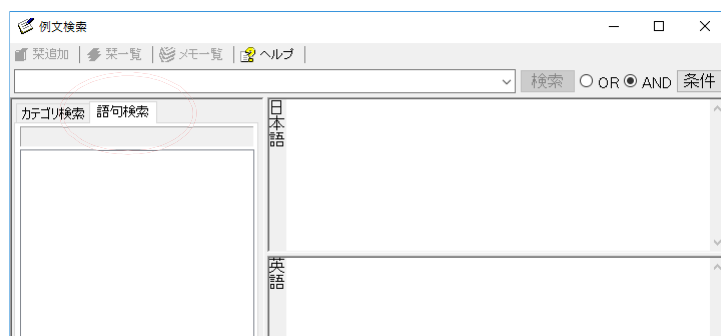
翻訳方向で[英語から日本語へ]が選択されているときは、例文の英語が原文ボックスに、日本語が訳文ボックスに入力されます。

◆例文検索ウィンドウで例文を検索するには(日英)

翻訳エディタで語句を選択せずに[例文検索]ウィンドウを開き、直接例文を検索することもできます。検索方法は2つあります。1つはキーワードで検索していく「語句検索」です。もう1つは、カテゴリにしたがってツリー表示から検索していく「カテゴリ検索」です。

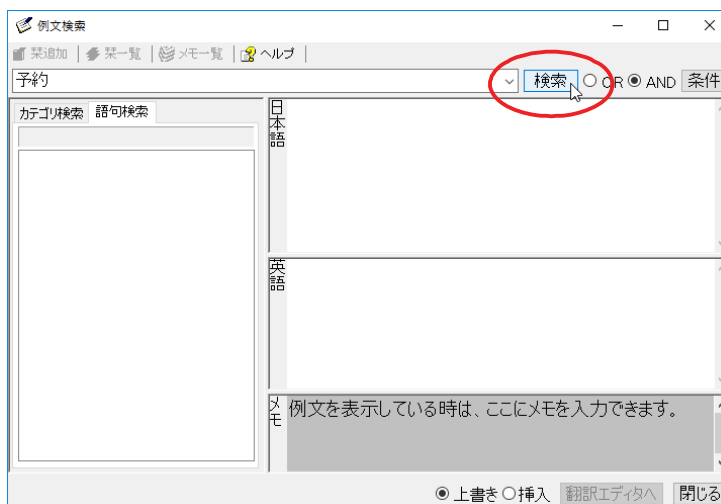
語句で検索する.....

1



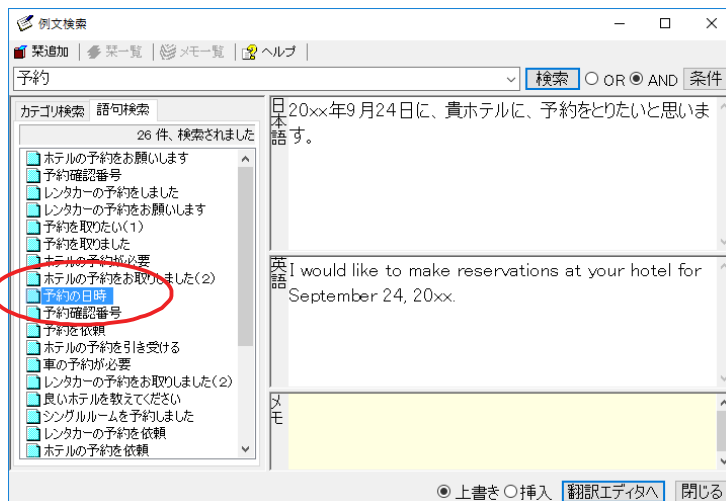
[例文検索]ウィンドウの[語句検索]タブを開きます。

2



[検索文字列]入力ボックスにキーワードを入力して[検索]ボタンをクリックします。

3



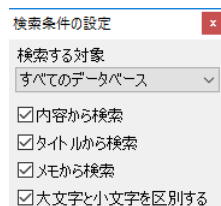
左のボックスにキーワードを含むテーマが一覧表示されます。

使いたいテーマをクリックすると、右のボックスに例文が表示されます。

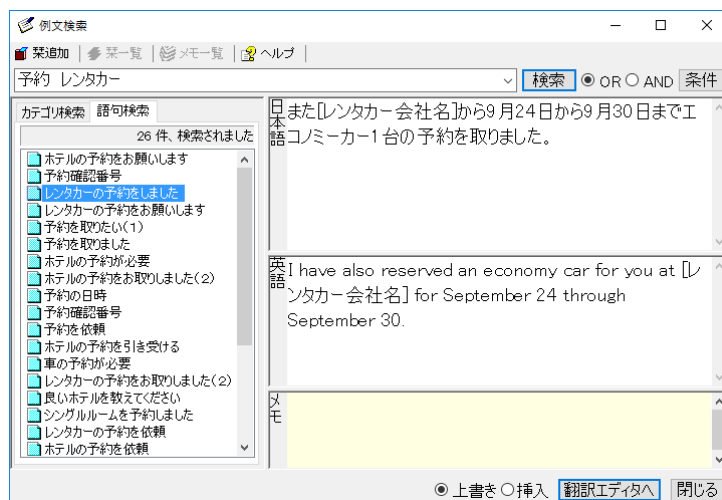
このように内容を確認しながら、使いたいテーマを検索します。



- ・[条件]ボタンをクリックすると、例文を検索する範囲を設定することができます。

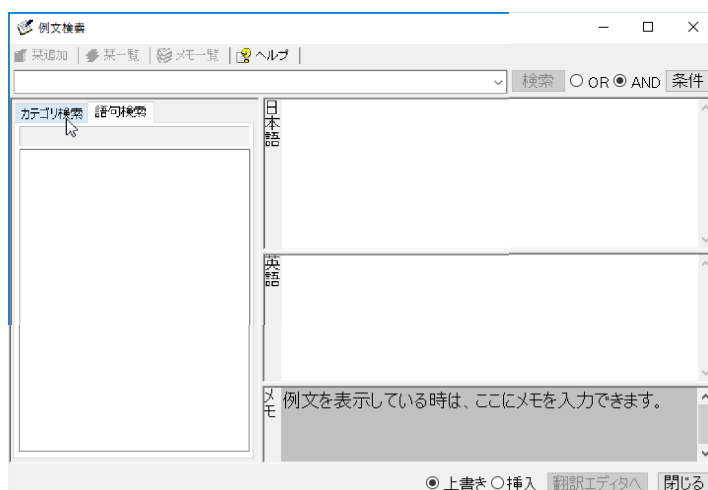


- ・スペースで区切りながら、複数の語句を検索条件として入力することもできます。[OR]が選択されているときは、入力した条件のいずれかに該当する例文が検索されます。[AND]が選択されているときは、入力したすべての条件に該当する例文が検索されます。



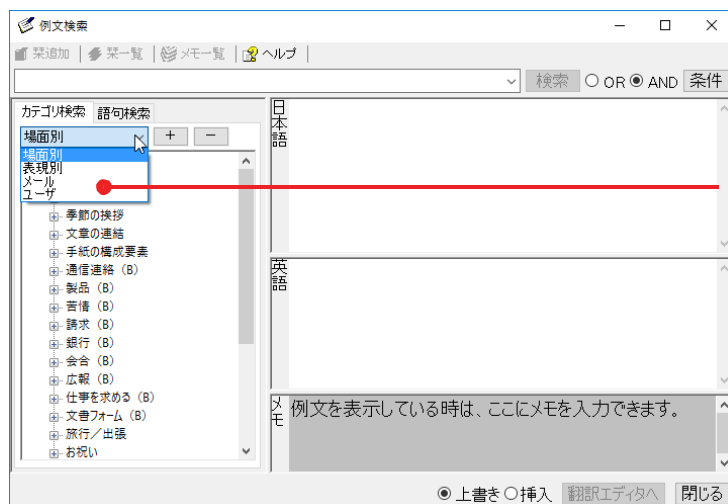
カテゴリで検索する.....

1



[例文検索] ウィンドウの [カテゴリ検索] タブを開きます。

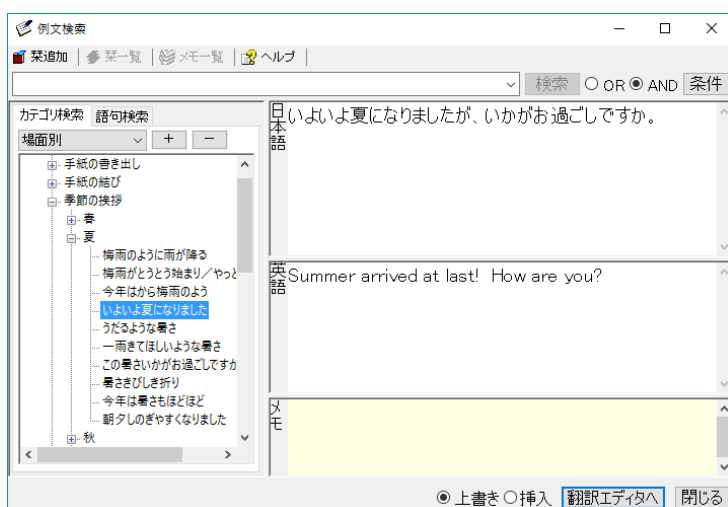
2



「カテゴリ検索」タブの最上部のプルダウンメニューで、検索したいデータベースを選択します。左のボックスに、カテゴリと例文タイトルがツリー形式で表示されます。

データベースを選択するプルダウンメニュー

3

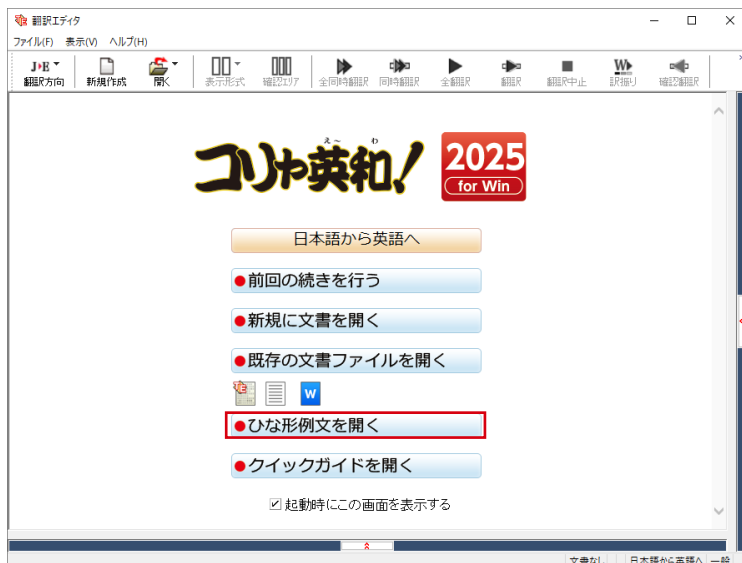


ツリー表示から参照したいカテゴリをクリックで選択すると、そのカテゴリに分類されているタイトル一覧が表示されます。タイトルを選択すると、右のボックスに例文が表示されます。

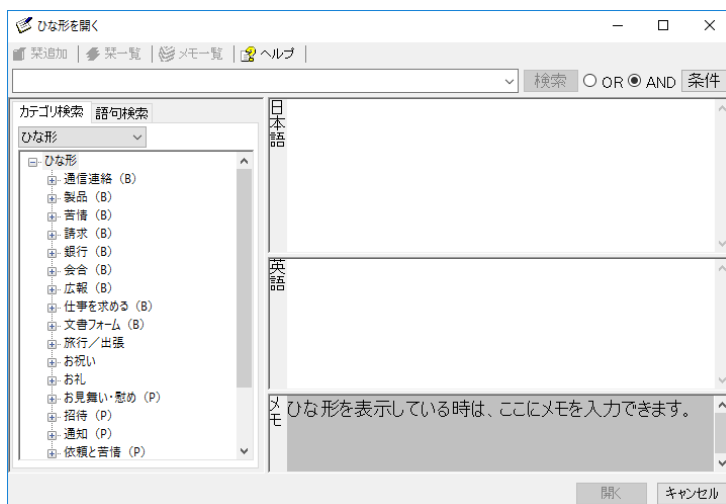
◆ひな形を文書として開き必要な箇所を修正する方法（日英）

1つの文書としてのひな形を利用して必要な箇所を修正して目的の英文書を作成する手順を説明します。

1

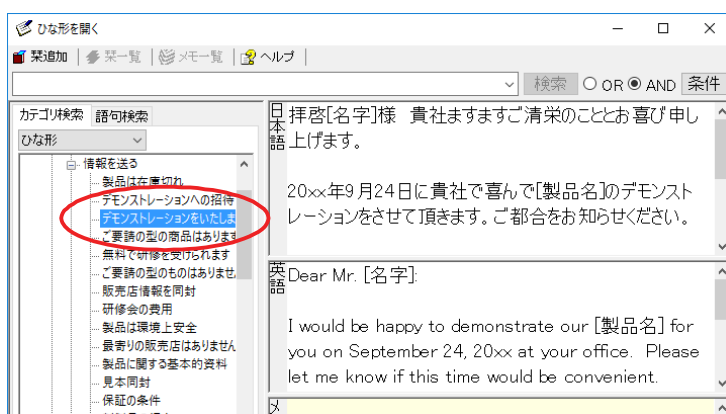


翻訳エディタを起動します。起動メニューから「ひな形例文を開く」を選択します。



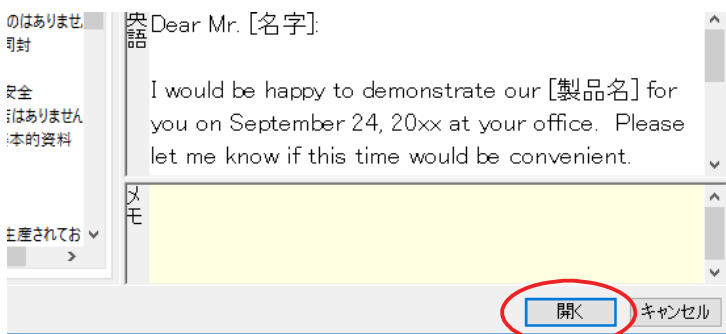
【ひな形を開く】ウィンドウが表示されます。

2



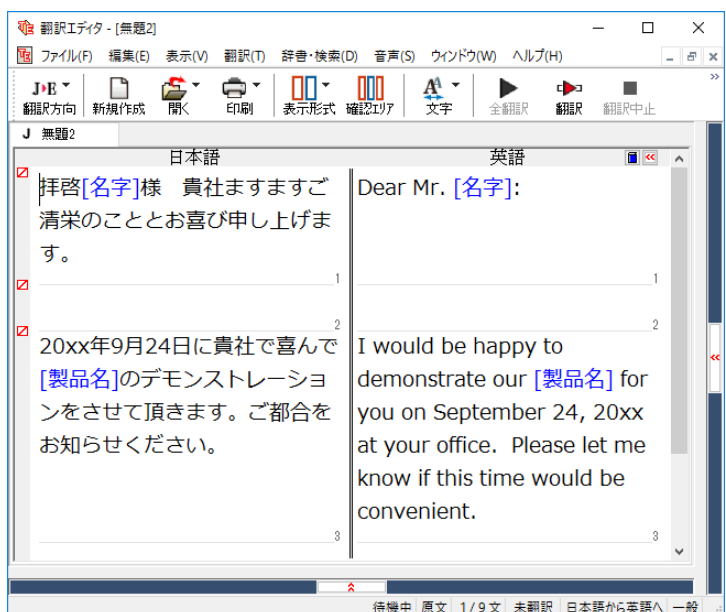
【ひな形を開く】ウィンドウで作成したい英文と似た例文を探して選択します。

3



【開く】を選択します。

【ひな形を開く】ウィンドウが閉じて、選択したひな形例文の文書が開きます。



例文には青い[]で囲まれたフィールドがある場合があります。これらに英語を埋め込むだけで目的の文書が完成させることができます。

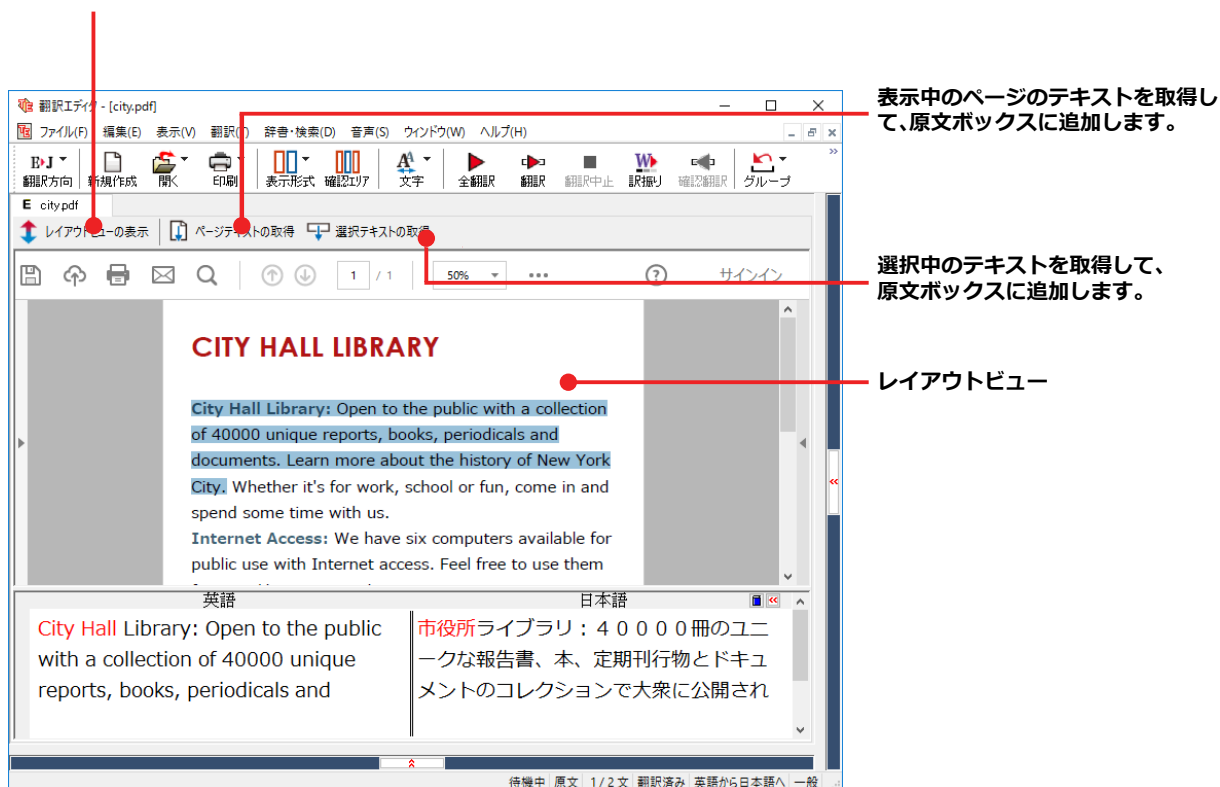
PDFファイルを翻訳する

PDFファイルは、翻訳エディタのレイアウトビューでレイアウトを確認しながら翻訳できます。

◆レイアウトビューの機能

レイアウトビューは、翻訳エディタでPDFファイルを開いたときに表示されます。レイアウト表示のほか、シンプルなPDFブラウザとしての機能も備えています。

レイアウトビューの表示 ／非表示の切り替え

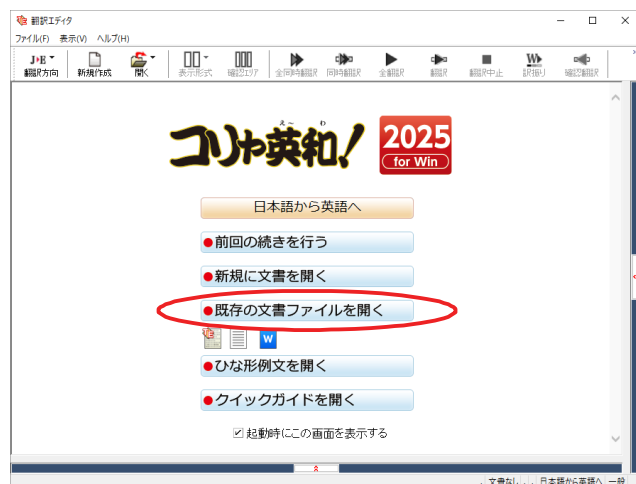


◆PDF ファイルを翻訳するには

PDFファイルを開くには.....

翻訳したいPDFファイルを、翻訳エディタから指定して開くことができます。

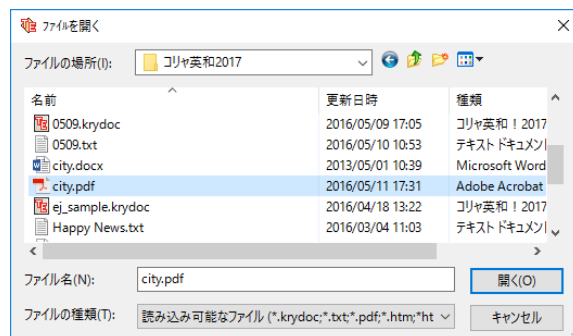
1



翻訳エディタを起動します。
起動メニューから [既存の文書ファイル開く] ボタンをクリックします。

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

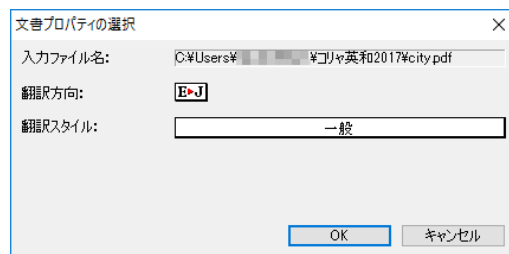
2



[ファイルを開く] ダイアログから翻訳するPDF ファイルページを選択し [OK] ボタンをクリックします。

[文書プロパティの選択] ダイアログが表示されます。

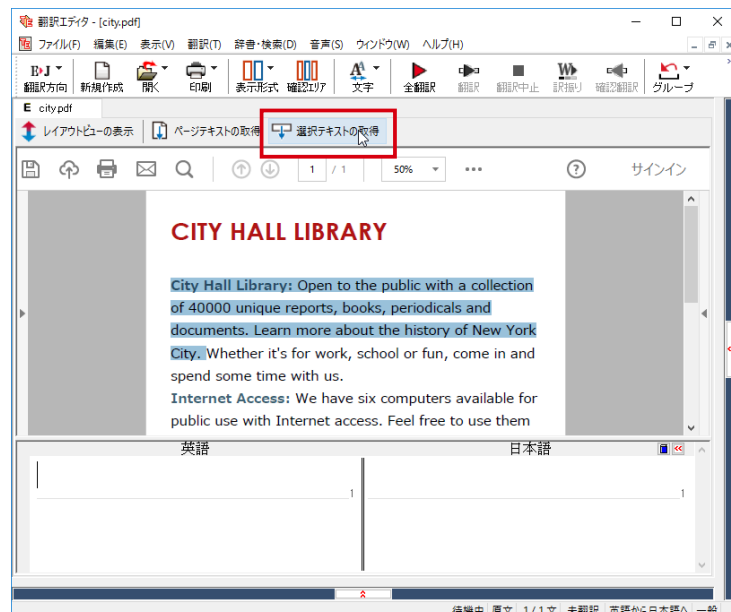
3



翻訳方向、翻訳スタイルを設定し、[OK] ボタンをクリックします。

PDFファイルがレイアウトビューに表示されます。

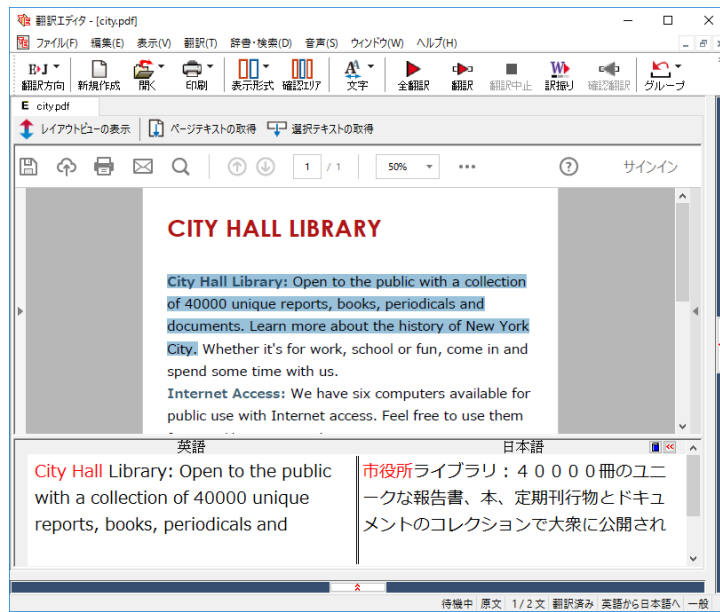
4



PDFファイルのテキストを取得します。ここでは、翻訳したい部分を選択し、[選択テキストの取得] ボタンをクリックします。

選択したテキストが原文ボックスに追加されます。

5



翻訳エディタの機能を使って、翻訳や訳文の編集を行います。



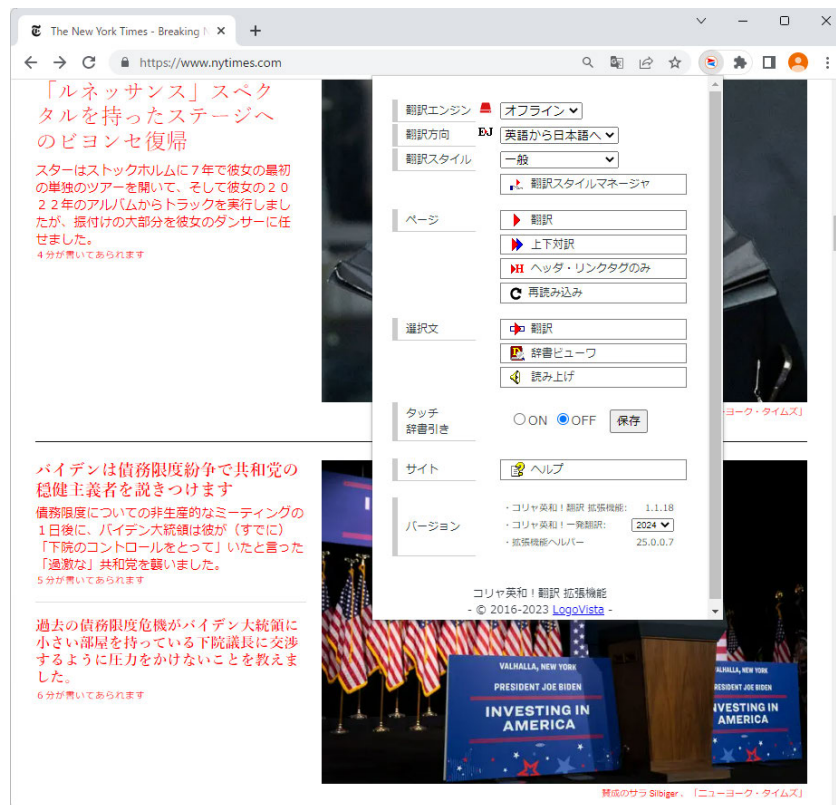
翻訳結果は翻訳エディタの文書ファイルへの保存、テキストファイルへの書き出しができます。文書ファイルにはレイアウトビューの内容は含まれません。

Chapter 4

ホームページを翻訳するには

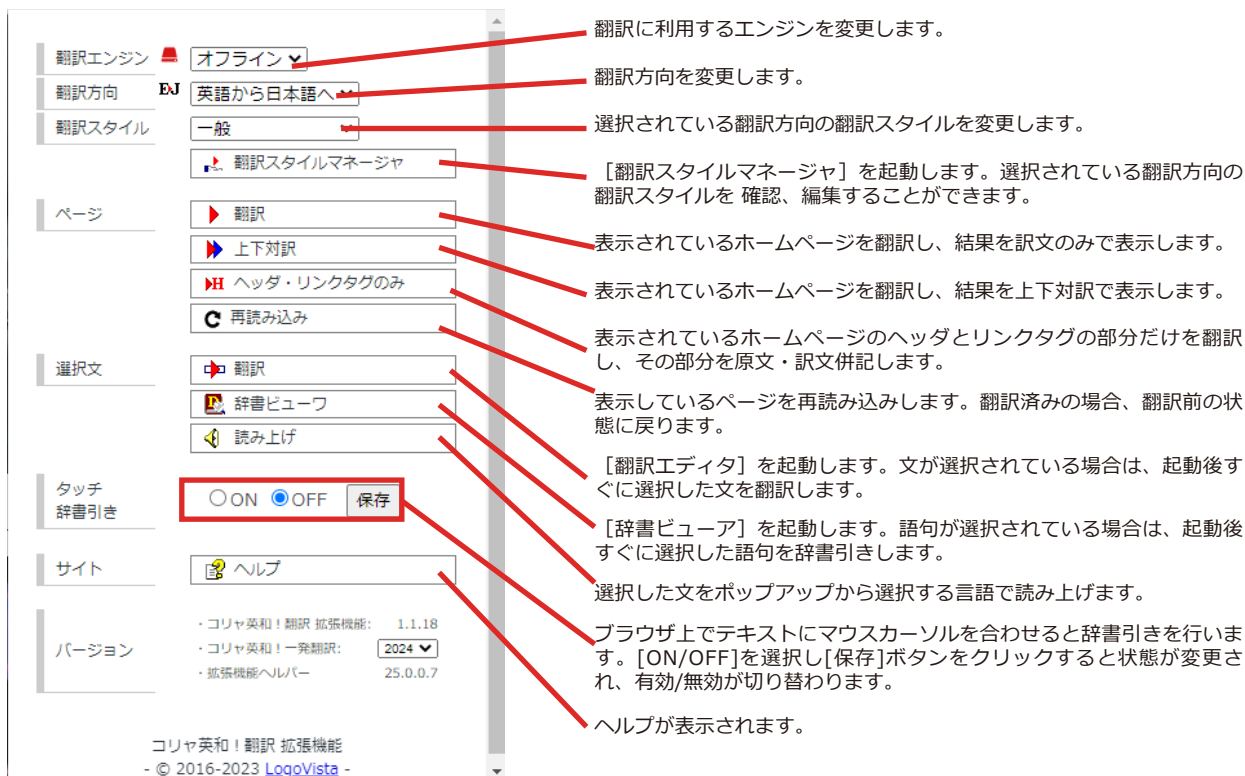
Webブラウザでホームページを翻訳するには

Google ChromeやMicrosoft Edgeに翻訳機能を追加してホームページを翻訳します。



コリヤ英和！翻訳拡張機能の名称と機能

コリヤ英和！翻訳拡張機能には、コマンドボタンが用意されています。ボタンをクリックすると、そのコマンドの機能が実行できます。ボタンの右に▼がある各ボタンにはプルダウンメニューがあります。プルダウンメニューは、それぞれのボタンをクリックすると開きます。プルダウンメニューを開いて、メニューにあるコマンドをクリックすると、そのコマンドを実行できます。



◆コリヤ英和！翻訳拡張機能をインストールする

拡張機能をご利用いただくには下記それぞれのアドレスにアクセスして「1. 拡張機能ヘルパー」と「2. コリヤ英和！翻訳 拡張機能」を順にインストールする必要があります。

Google Chrome の場合.....

https://www.logovista.co.jp/LVERP/information/support/download/korya2025_win/Chrome.html

Microsoft Edge の場合.....

https://www.logovista.co.jp/LVERP/information/support/download/korya2025_win/Edge.html



注意！

- 翻訳エディタや操作パネルなどを起動している場合は必ず終了してください。
- アドインをしているアプリケーションがある場合は、アドインを解除ください。
- 常駐ソフトが起動していると、インストールに失敗することがあります。起動中のアプリケーションや常駐ソフトは全て終了してから、インストールを行ってください。

Chapter 5

メールを翻訳するには

Microsoft Outlookでメールを翻訳するには

Microsoft Outlook 2021/2019/2016には、コリヤ英和！一発翻訳のアドイン機能を使って翻訳機能のツールバーをアドインできます。これにより、操作パネルを使用せずに英文メールを翻訳できます。ここでは、アドインの設定方法をOutlook 2021の例で紹介します。

◆Outlookに翻訳機能をアドインするには

Outlookがインストールされているとき、[アドイン設定] ダイアログボックスで翻訳機能をアドインします。

注意！

Outlookが起動していると正しくアドインできません。起動している場合、必ず終了させてから作業してください。アドイン機能については、[第6章アプリケーションで翻訳するには]を参照してください。

1

デスクトップにある[コリヤ英和！操作パネル]アイコンをダブルクリックして[操作パネル]を表示させます。

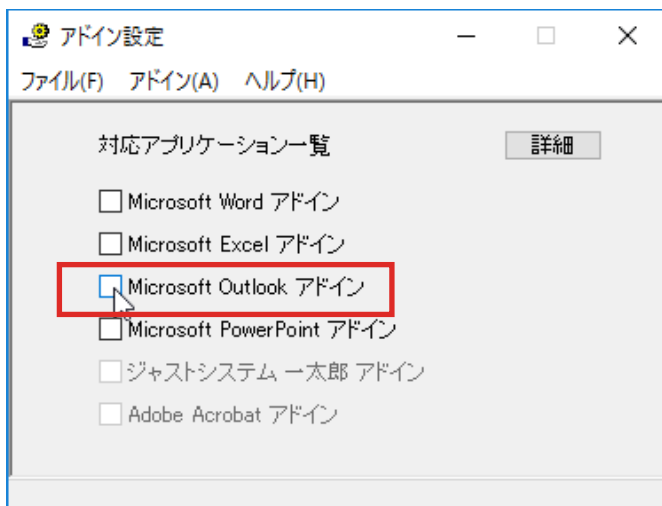
2



操作パネルの[アドイン設定]ボタンをクリックします。

[アドイン設定] ダイアログボックスが表示されます。

3



[Microsoft Outlook アドイン] をクリックして ON にすると [Microsoft Office カスタマイズインストーラー] が起動しますのでインストールを行ってください。

[アドイン設定] ダイアログボックスを閉じます。

これで、Outlook に翻訳機能が組み込まれます。

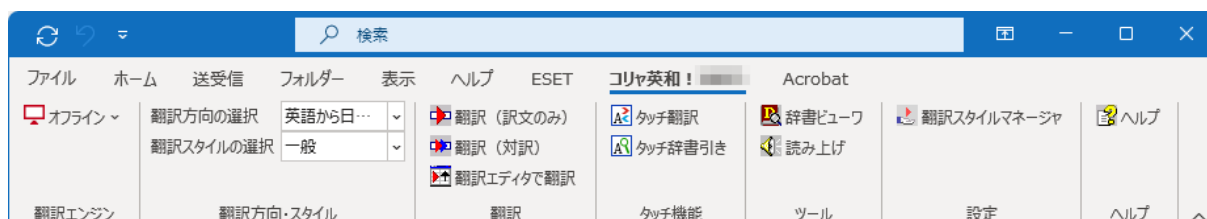


ヒント

アドインを解除するときは、[Microsoft Outlook アドイン]をクリックして OFF にします。

リボンに組み込まれた翻訳機能.....

翻訳機能が組み込まれたMicrosoft Outlookでは、リボンに【コリヤ英和!】タブが表示されます。

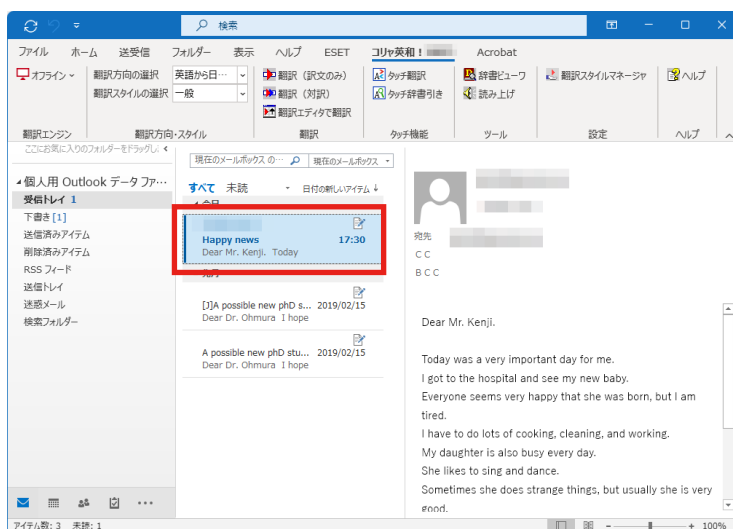


翻訳エンジンの選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳エンジンを選択します。
翻訳方向の選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳方向を選択します。
翻訳スタイルの選択	▼マークをクリックして開くプルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳（訳文のみ）	選択した文、アイテムを翻訳し、翻訳結果を翻訳ビューアに表示、または原文と訳文を入れ替えたアイテムを作成します。受信メッセージやRSSフィードを新規ウィンドウで開いたときには利用できません。
翻訳（対訳）	選択したアイテムの本文を翻訳し、原文と訳文が上下対訳になったアイテムを作成、表示します。
翻訳エディタで翻訳	選択したアイテムの本文を翻訳エディタに取り込んで翻訳します。
辞書ビューア	[辞書ビューア]ウィンドウを開き、選択した語句を辞書引きします。
読み上げ	音声エンジンがインストールされているとき、選択した文を読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

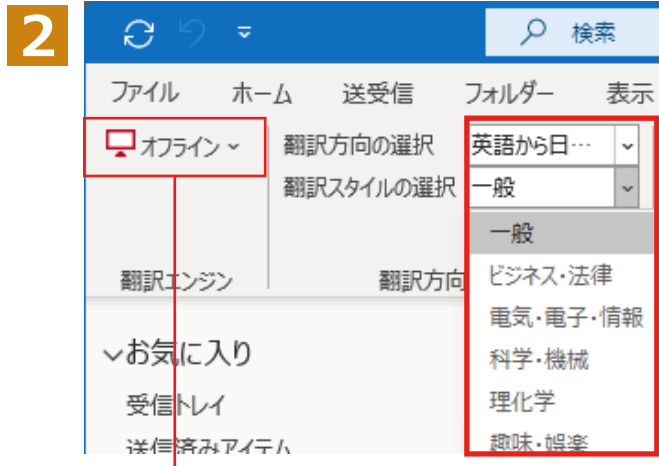
◆英文メールを翻訳するには

ここでは、【コリヤ英和!】タブの【翻訳（訳文のみ）】ボタンで行う翻訳操作の例を紹介します。

1

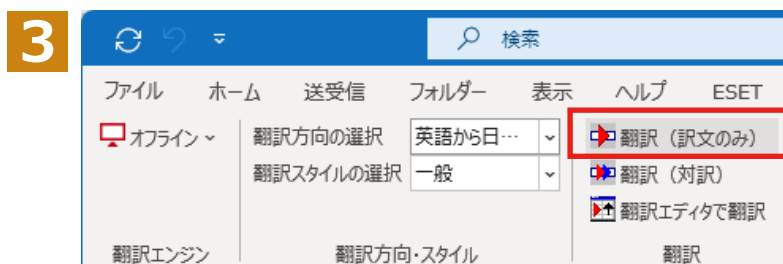


インターネットに接続し、メールを受信します。翻訳を行う英文メールのタイトルを選択します。



メッセージの内容に合わせてツールの翻訳方向と翻訳スタイルを設定します。

プルダウンメニューから[オフライン]翻訳と[オンライン]翻訳を切り替えることが出来ます。オンライン翻訳の詳細については「第7章 オンライン翻訳」をご参照ください。



ツールの「翻訳（訳文のみ）」ボタンをクリックします。

翻訳が開始されます。

終了すると、翻訳結果が表示されます。



翻訳結果は新しいアイテムとして保存されます。保存されたアイテムのタイトルには、英日翻訳をした場合には「[J] 日英翻訳の場合」が表示されます。

日英翻訳で保存されたアイテム

英日翻訳で保存されたアイテム

Chapter 6

アプリケーションで翻訳するには

翻訳機能を組み込めるアプリケーションについて

コリヤ英和！一発翻訳の翻訳機能はいろいろなアプリケーションソフトに組み込んで、アプリケーションから直接翻訳を行えるようにできます。これを「アドイン機能」といいます。ここでは、組み込めるアプリケーションのチェック方法などを説明します。

◆ 翻訳機能を組み込めるアプリケーションをチェックするには

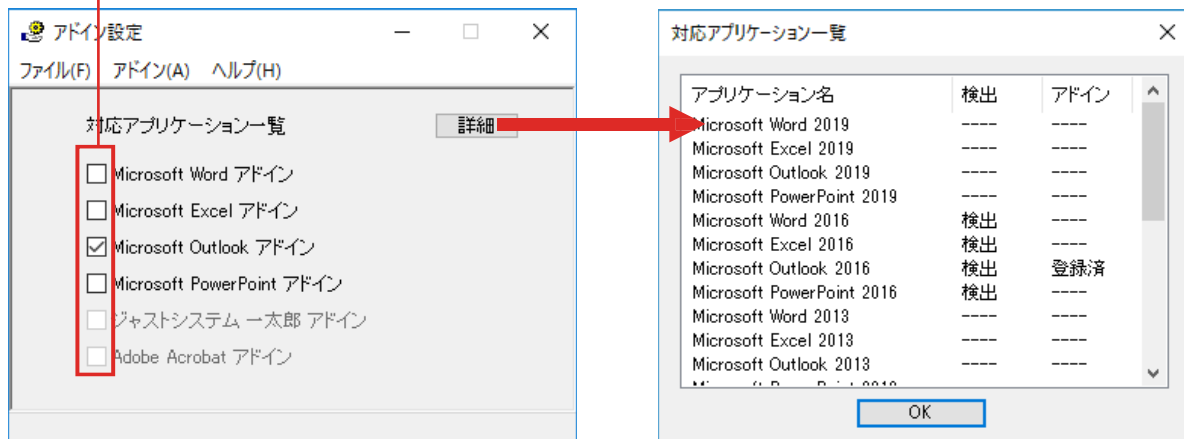
コリヤ英和！一発翻訳が対応しているアプリケーションは以下ですが、実際には[対応アプリケーション一覧]ダイアログボックスで検出されたアプリケーションに組み込むことができます。

Microsoft Word 2021/2019/2016
Microsoft Excel 2021/2019/2016
Microsoft PowerPoint 2021/2019/2016
Microsoft Outlook 2021/2019/2016
ジャストシステム一太郎 2024/2023/2022
Adobe Acrobat 2020/Standard/Pro 各32bit版

※Adobe Acrobat以外でPDFを翻訳や辞書引きをするには、翻訳エディタや操作パネルと連携することで可能です

[対応アプリケーション一覧]ダイアログボックスは、[操作パネル]→[アドイン設定]を選択し、[アドイン設定]ダイアログボックスを開き、[詳細]ボタンをクリックします。

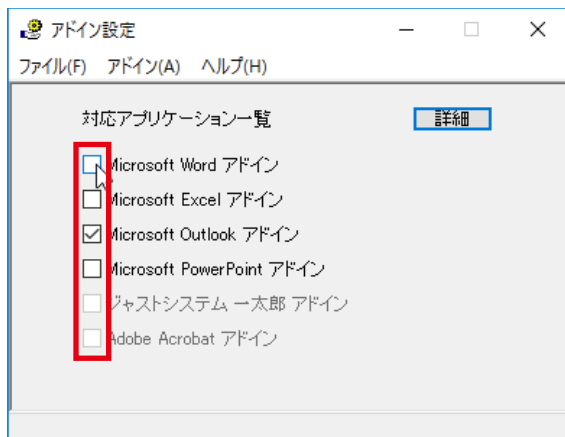
翻訳機能を組み込むときは、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます、解除するときは、チェックマークを外します。



アドイン対象のソフトの状態が一覧で確認できます。

翻訳機能を組み込むときは.....

[アドイン設定] ダイアログボックスで翻訳機能を組み込むアプリケーション名の左側のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。これで翻訳機能が組み込まれます。



次のようなメッセージが表示されます。[インストール] をクリックしてください。



アドインを解除するときは、チェックマークを外します。

Microsoft Wordで翻訳を行うには

ここでは、Microsoft Word 2016に翻訳機能を組み込んで、翻訳を行う方法を説明します。Microsoft Word 2021/2019も同様です。

注意！

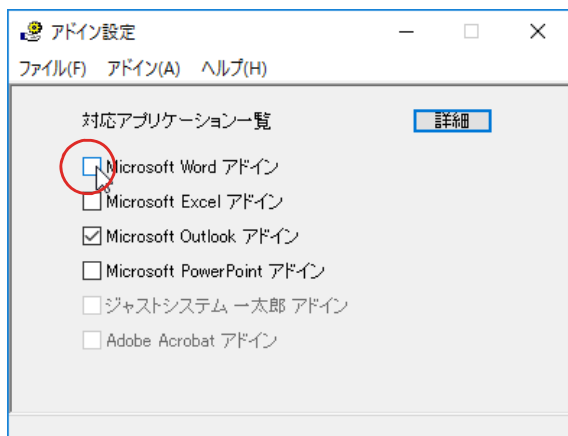
制限ユーザでMicrosoft Officeアプリケーション（Word、Excel、PowerPoint、Outlook）のアドイン機能をご使用になる場合は、コリヤ英和！一発翻訳（マルチリンガル）がインストールされる前に、Officeアプリケーションがインストールされている必要があります。後からOfficeアプリケーションのインストールを行った場合、コリヤ英和！一発翻訳（マルチリンガル）の修正インストールを行ってください。修正インストールについては、インストールガイド「11 [重要] コリヤ英和！一発翻訳の変更と削除を行うには」をご覧ください。

◆Microsoft Word 2016に翻訳機能を組み込むには

翻訳機能に組み込む手順を説明します。

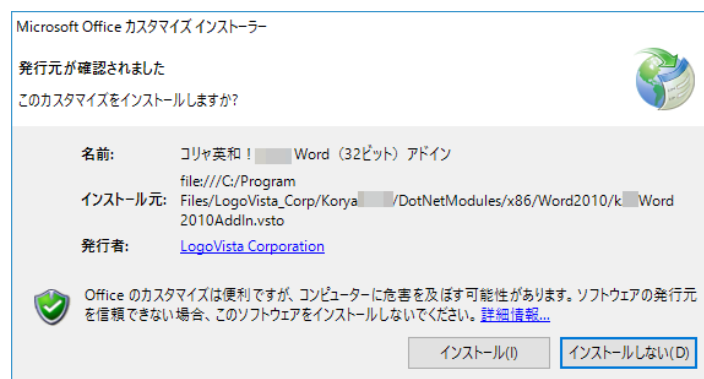
1

[操作パネル]→[アドイン設定]の順に選択します。[アドイン設定]ダイアログボックスが開きますので、「Microsoft Word アドイン」のチェックボックスを選択します。



2

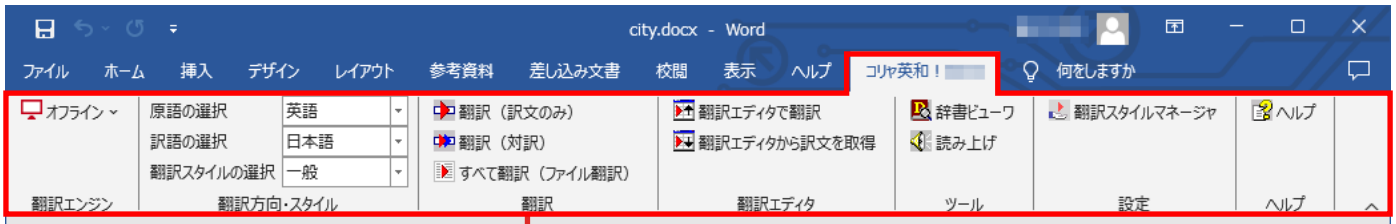
次のようなメッセージが表示されます。[インストール] をクリックしてください。



アドインを解除するときは、チェックマークを外します。

◆Microsoft Wordに組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれたMicrosoft Wordでは、リボンに翻訳機能のタブが表示されます。

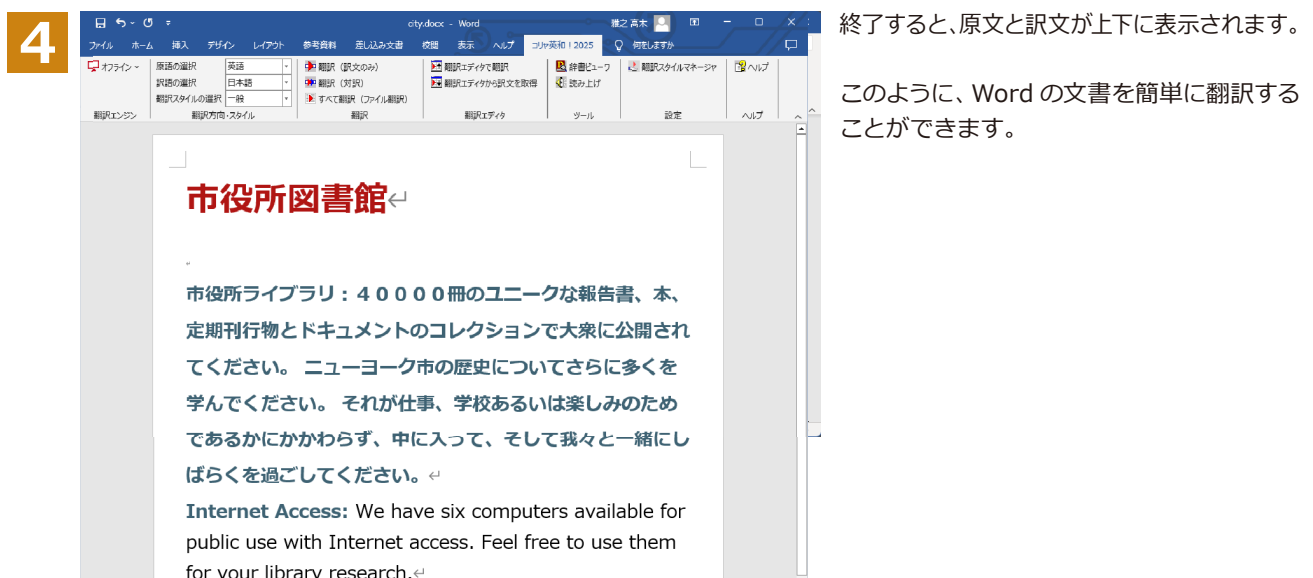
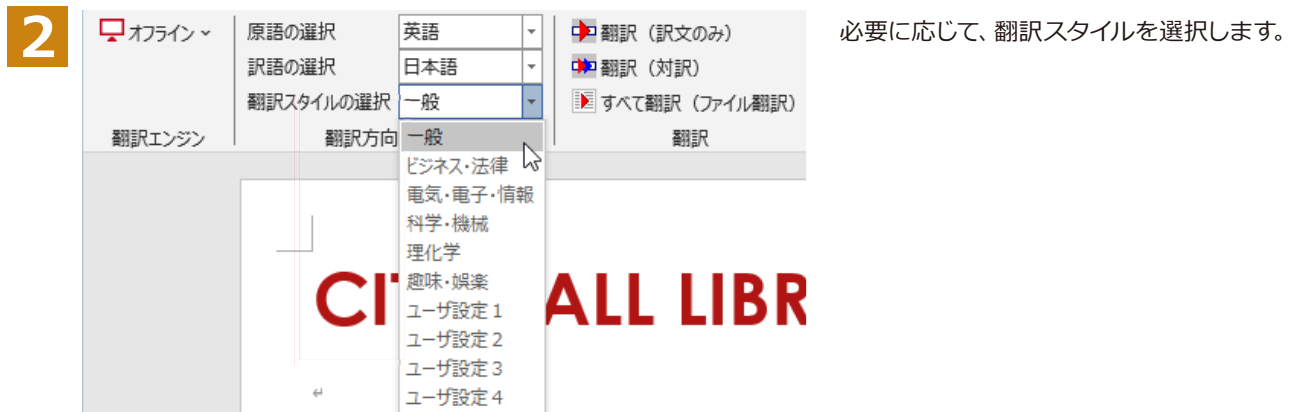


コリヤ英和！一発翻訳 タブ

翻訳エンジンの選択	クリックして開く、プルダウンメニューから翻訳エンジンを選択します。
翻訳方向の選択（原語/訳語）	クリックして開く、プルダウンメニューから翻訳方向を選択します。
翻訳スタイルの選択	クリックして開く、プルダウンメニューから翻訳スタイルを選択します。
翻訳（訳文のみ）	選択されたテキストを翻訳し、訳文のみを表示します。
翻訳（対訳）	選択されたテキストを翻訳し、原文と訳文を表示します。
すべて翻訳 （ファイル翻訳）	ファイル翻訳が起動し、表示しているWordファイルを翻訳して、翻訳結果を別ファイルで保存し表示させます。
翻訳エディタで翻訳	翻訳エディタを起動し、選択されたテキストを翻訳します。
翻訳エディタから訳文を取得	[翻訳エディタで翻訳]ボタンで原文を翻訳したのち、翻訳エディタから訳文を取得し、選択したテキストと入れ替えます。
辞書ビューア	辞書ビューアを起動し、研究社新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で選択したテキストの辞書引きを行います。
読み上げ	音声合成エンジンがインストールされているとき、選択されたテキストを読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	オンラインヘルプを表示します。

◆基本的な翻訳操作

ここでは【翻訳（対訳）】ボタンで翻訳を行う例を紹介します。



Microsoft Excelで翻訳を行うには

ここでは、Microsoft Excel 2016に翻訳機能を組み込んで、翻訳を行う方法を説明します。Microsoft Excel 2021/2019も同様です。なお、Excelでの翻訳はセル単位で行われます。

注意！

制限ユーザでMicrosoft Officeアプリケーション（Word、Excel、PowerPoint、Outlook）のアドイン機能をご使用になる場合は、コリヤ英和！一発翻訳（マルチリンガル）がインストールされる前に、Officeアプリケーションがインストールされている必要があります。後からOfficeアプリケーションのインストールを行った場合、コリヤ英和！一発翻訳（マルチリンガル）の修正インストールを行ってください。修正インストールについては、インストールガイド「11 [重要] コリヤ英和！一発翻訳の変更と削除を行うには」をご覧ください。

◆Microsoft Excel 2016に翻訳機能を組み込むには

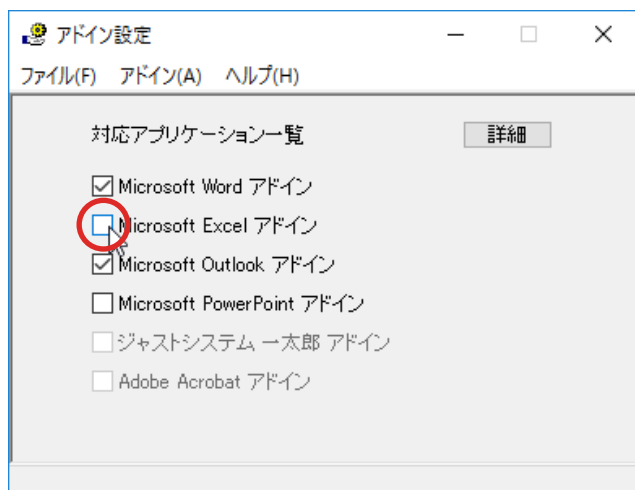
翻訳機能に組み込む手順を説明します。

1

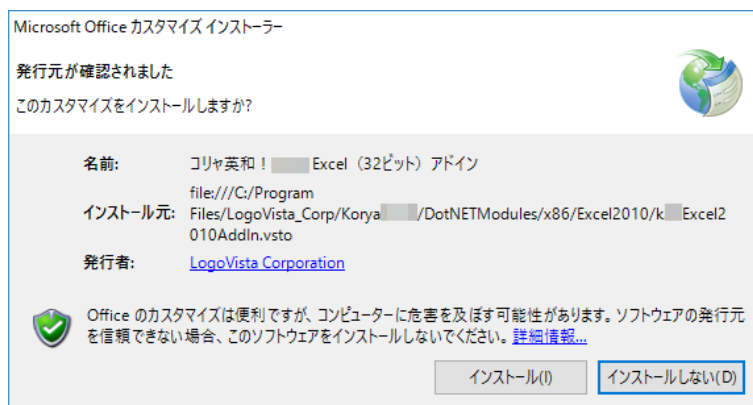
[操作パネル] → [アドイン設定] の順に選択します。

[アドイン設定] ダイアログボックスが開きます。

2



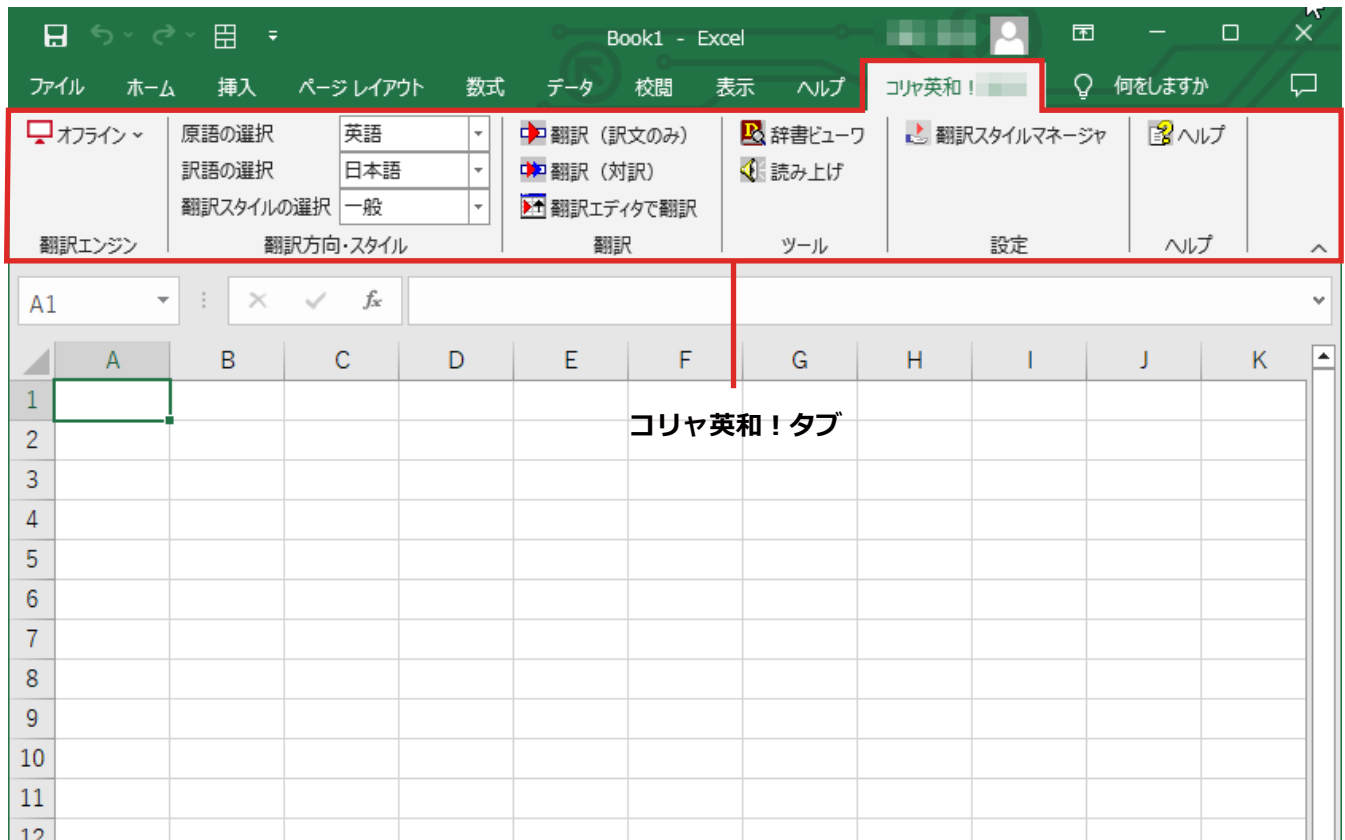
次のようなメッセージが表示されます。[インストール] をクリックしてください。



アドインを解除するときは、チェックマークを外します。

◆Microsoft Excelに組み込まれた翻訳機能

翻訳機能が組み込まれたMicrosoft Excelでは、リボンに翻訳機能のタブが表示されます。

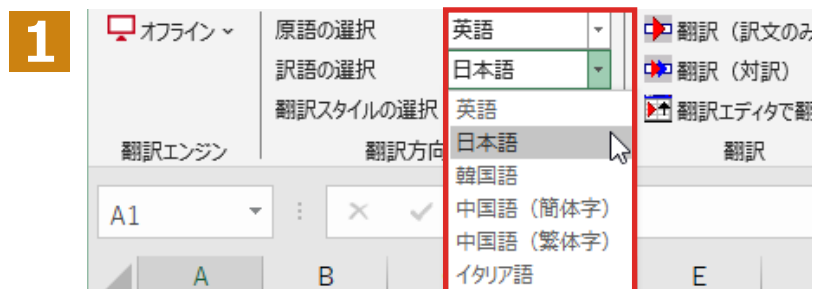


タブのコマンドの名称と機能.....

それぞれのコマンドの機能については、「2 Microsoft Word で翻訳を行うには」を参照してください。

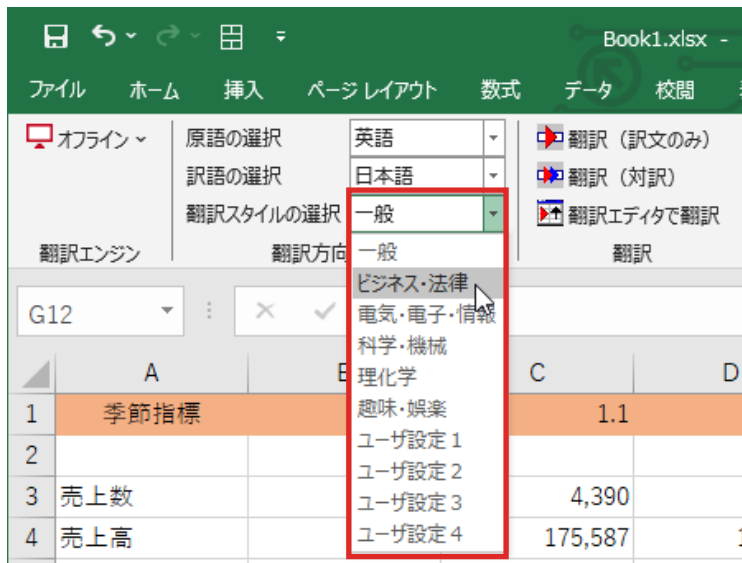
◆基本的な翻訳操作

ここでは「翻訳（訳文のみ）」ボタンで翻訳を行う例を紹介します。



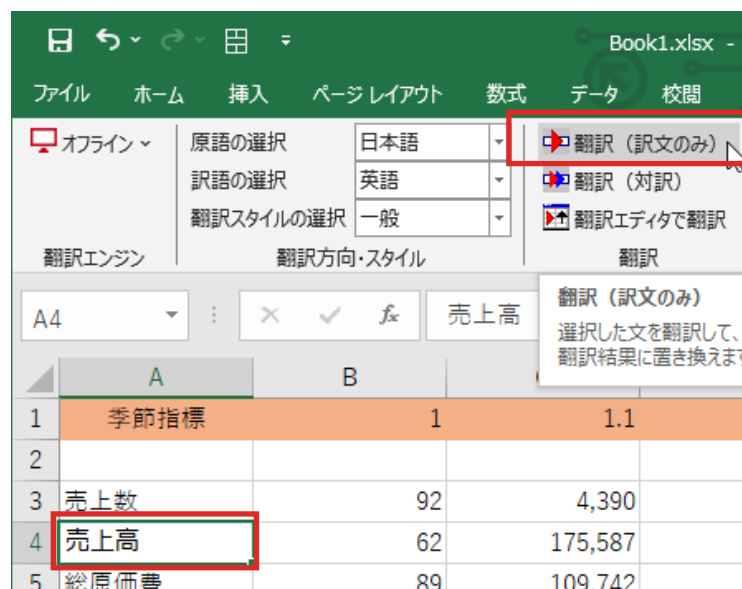
Excelにデータを入力し、翻訳方向を設定します。

2



必要に応じて翻訳スタイルを選択します。

3



翻訳するセルを選択します。次に [翻訳 (訳文のみ)] ボタンをクリックします。

翻訳が開始されます。

翻訳が終了すると、原文が訳文に入れ替わります。

	A	B	C	D
1	季節指標	1	1.1	
2				
3	売上数	92	4,390	
4	Sales	62	175,587	
5	総原価費	89	109,742	
6	粗利	73	65,745	

このように、Excelのセルを簡単に翻訳することができます。

なお、複数のセルを選択して翻訳することもできます。

ジャストシステム一太郎で翻訳を行うには

ジャストシステムの「一太郎」に翻訳機能を組み込んで活用することができます。組み込める一太郎のバージョンは、2022/2023/2024です。ここでは、一太郎に翻訳機能を組み込んで翻訳を行う方法を説明します。他のバージョンでも同様です。

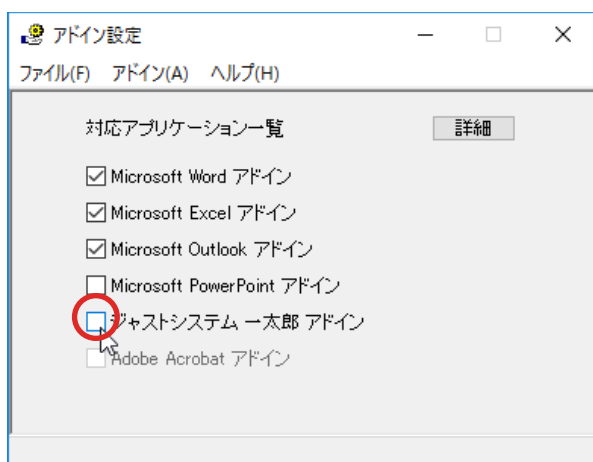
◆一太郎に翻訳機能を組み込むには

翻訳機能に組み込む手順を説明します。

1 [操作パネル]→[アドイン設定]の順に選択します。

[アドイン設定]ダイアログボックスが開きます。

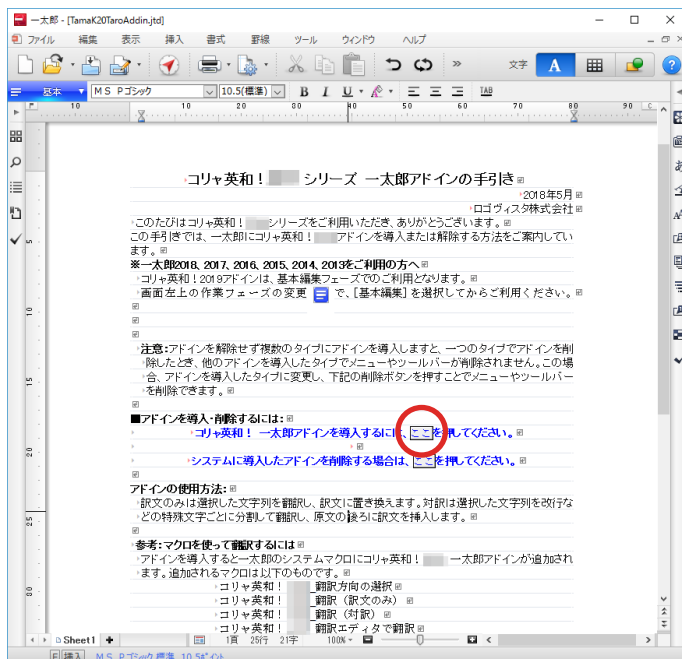
2



[ジャストシステム一太郎アドイン]を ON にします。

一太郎が起動し、「コリヤ英和！一発翻訳 一太郎アドインの手引き」が開きます。

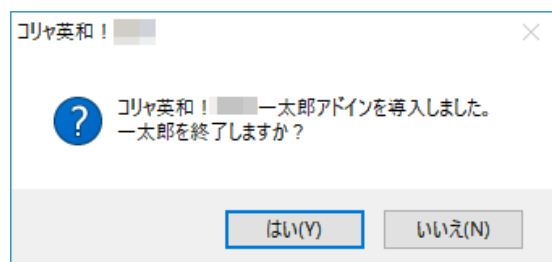
3



「コリヤ英和！一発翻訳 一太郎アドインを導入するには～」の[ここ]ボタンをクリックします。

これで、翻訳機能の組み込みが開始され、確認メッセージが表示されます。

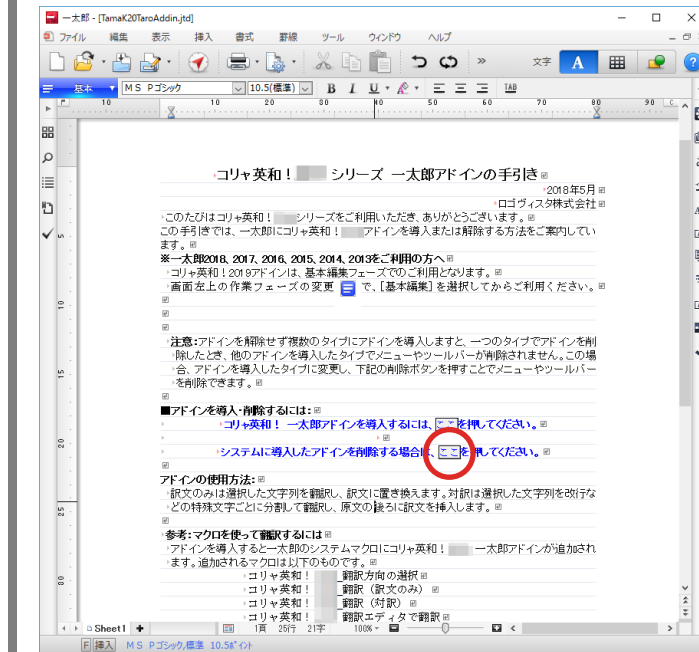
4



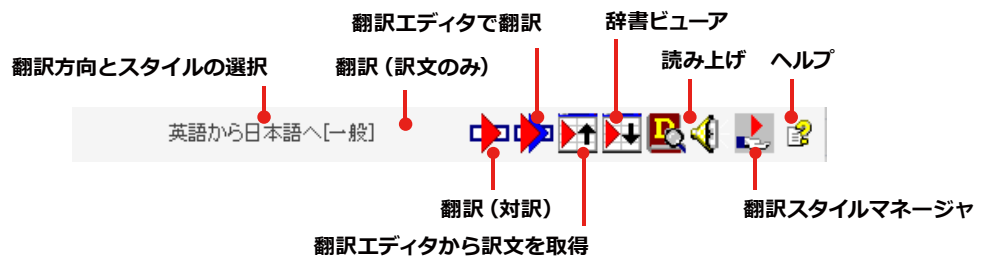
[はい]ボタンをクリックして終了します。



翻訳機能を解除するときは、一太郎を終了してから[アドイン設定]ダイアログボックスを開き、[ジャストシステム一太郎アドイン]を OFF にします。一太郎が起動し、「コリヤ英和！一発翻訳 一太郎アドインの手引き」が開きます。「システムに導入したアドインを削除する場合は～」の[ここ]ボタンをクリックし、画面の表示に従って操作します。



◆一太郎に組み込まれた翻訳機能

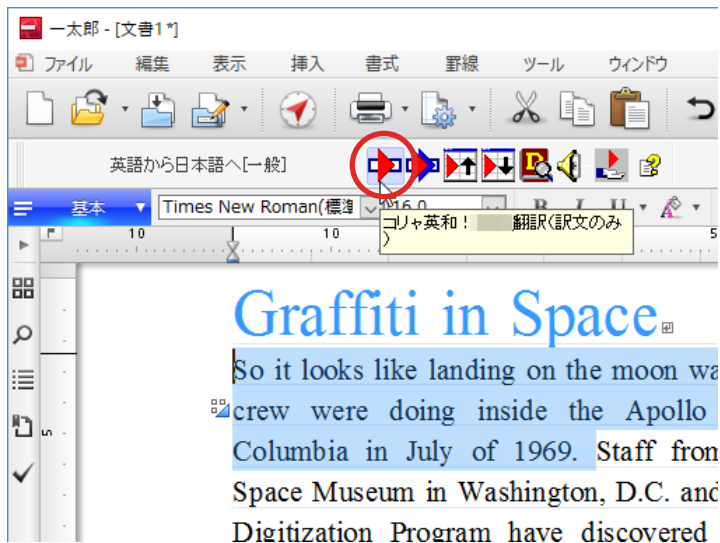


翻訳方向とスタイルの設定	[翻訳エンジンとスタイルの設定]ダイアログが開きます。翻訳方向の変更、翻訳スタイルの変更、選択した翻訳スタイルの編集を行えます。 翻訳スタイルについては、第1章の「2.コリヤ英和！一発翻訳の翻訳スタイルについて」をご覧ください。
翻訳 (訳文のみ)	選択されているテキストの翻訳を行い、訳文のみを表示します。
翻訳 (対訳)	選択されているテキストの翻訳を行い、上下対訳形式で表示します。
翻訳エディタで翻訳	翻訳エディタを起動し、選択されたテキストを翻訳します。
翻訳エディタから訳文を取得	[翻訳エディタで翻訳]ボタンで原文を翻訳したのち、翻訳エディタから訳文を取得し、選択したテキストと入れ替えます。
辞書ビューア	辞書ビューアを起動し、研究社 新英和・和英中辞典、クイック辞書、翻訳辞書で選択したテキストの辞書引きを行います。
読み上げ	音声合成エンジンがインストールされているとき、選択されたテキストを読み上げます。
翻訳スタイルマネージャ	翻訳スタイルマネージャを起動します。
ヘルプ	一太郎アドイン翻訳機能のオンラインヘルプを起動します。

◆基本的な翻訳操作

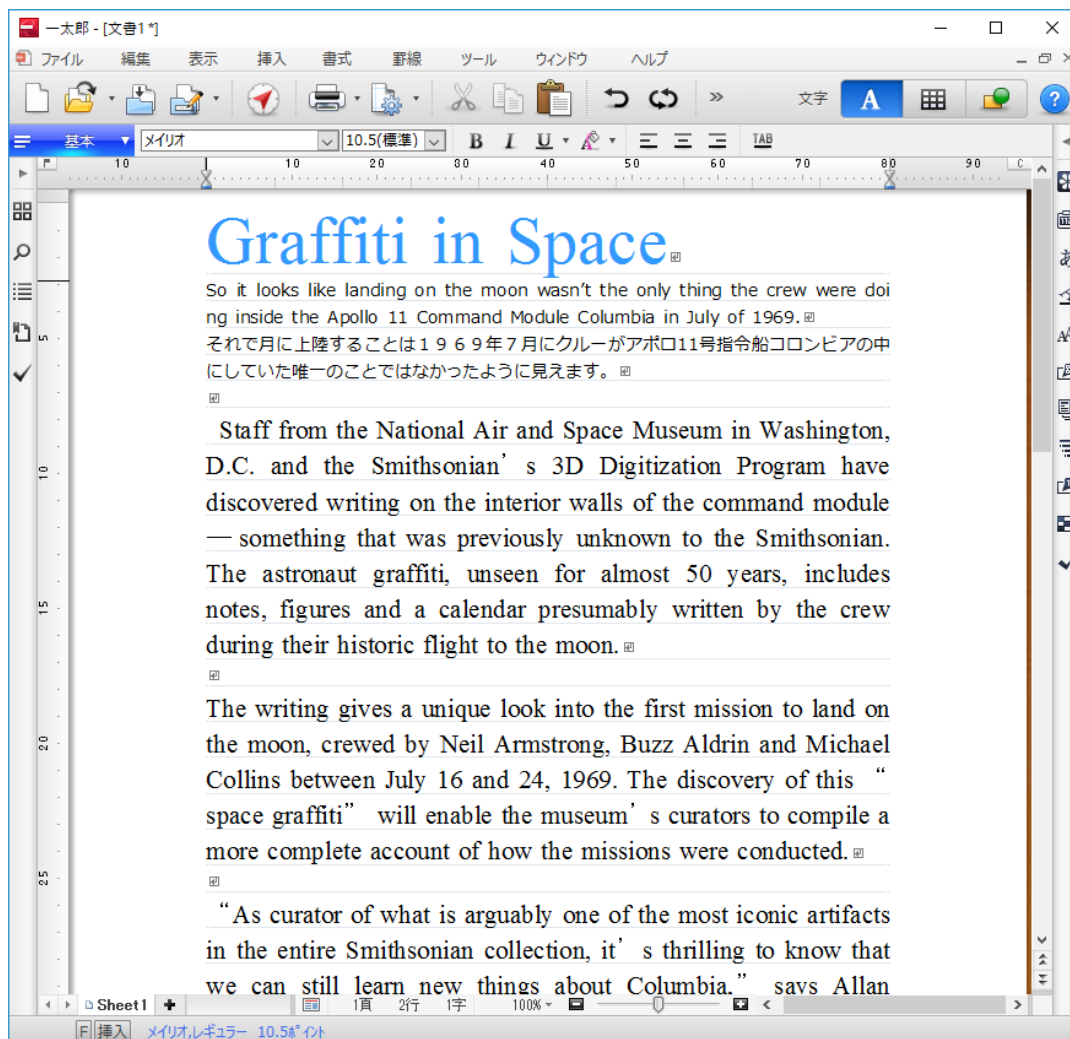
ここでは、[コリヤ英和！ 翻訳（対訳）] ボタンで行う翻訳操作の例を紹介します。

1



一太郎に文書を入力し、翻訳する文を選択します。次に[コリヤ英和！ 翻訳（訳文のみ）] ボタンをクリックします。

翻訳が開始され、翻訳中を示すダイアログが表示されます。
終了すると、翻訳結果が表示されます。



Adobe Acrobatで翻訳を行うには

ここでは、Adobe Acrobatに翻訳機能を組み込んで翻訳する方法を説明します。

注意！

- 他のLogoVista製品に含まれるAdobe Acrobatアドインと、コリヤ英和！一発翻訳（マルチリンガル）のAdobe Acrobatまたはアドインを併用することはできません。コリヤ英和！一発翻訳のアドインを利用する場合は、他のLogoVista製品に含まれるアドインを解除してください。
- 制限ユーザの場合、そのままではアドイン機能を利用できないことがあります。Adobe Acrobatアドインが機能するためには、コリヤ英和！一発翻訳のモジュールがAdobe Acrobatの[plug_in] フォルダにコピーされる必要があります。この処理をコリヤ英和！のアドイン設定機能が実行しています。制限ユーザの場合、システムドライブの[Program Files] フォルダへの書き込み権限がありません。そのため、Adobe Acrobatをシステムドライブの[Program Files] フォルダにインストールしている場合は、制限ユーザの権限ではアドイン設定機能でアドインを設定できません。あらかじめ、管理者権限を持ったユーザでアドインを設定しておく必要があります。

◆Adobe Acrobatに翻訳機能を組み込むには

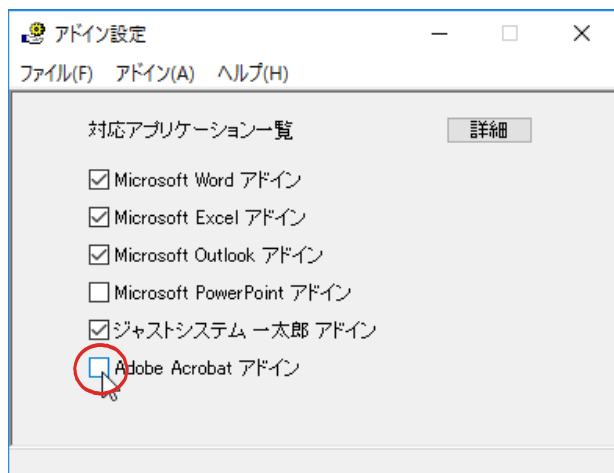
翻訳機能に組み込む手順を説明します。

1

[操作パネル]→[アドイン設定]の順に選択します。

[アドイン設定]ダイアログボックスが開きます。

2



[Adobe Acrobat アドイン]をONにし、ダイアログボックスを閉じます。

ヒント

[Adobe Acrobat アドイン]OFF にすると、翻訳機能を解除できます。

◆Adobe Acrobatに組み込まれた翻訳機能

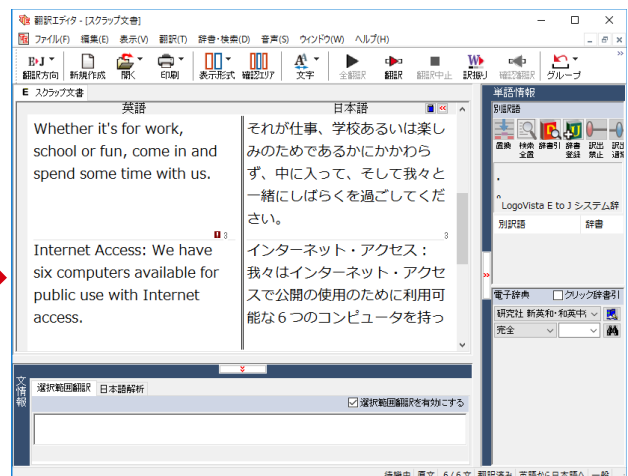
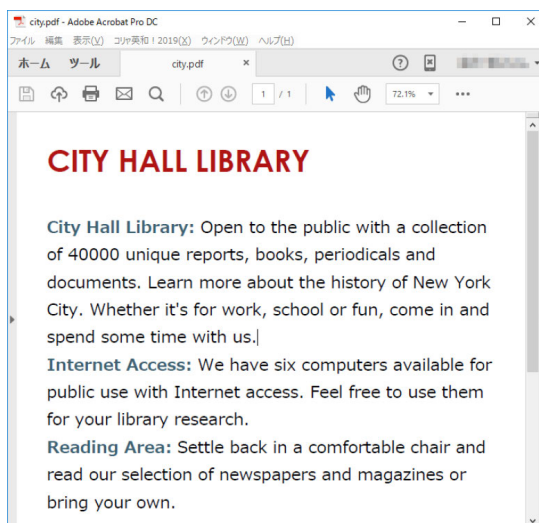
翻訳機能が埋め込まれた Adobe Acrobat は、コリヤ英和！のメニューやツールバーが表示されます。

また、オンライン版をインストールしている場合、オンライン翻訳にエンジンを切り替えて利用することも可能です。

コマンドの名称と機能

翻訳エンジン 翻訳エンジンの選択

-  **EJ** 翻訳方向の選択
-  翻訳スタイルの選択（DC以外のバージョンでは、アイコンではなくスタイル名が表示）
-  PDF全体のテキスト部分を選択し、レイアウトを保持したまま訳文を別のPDFファイルに出力します。
-  PDF全体のテキストを取得して翻訳（全てのテキスト翻訳）
-  表示されているページのテキストを取得して翻訳（ページテキスト翻訳）
-  選択されているテキストを取得して翻訳（選択範囲テキスト翻訳）
-  辞書ビューア
-  読み上げ



PDF全体のテキストを取得して翻訳（全てのテキスト翻訳）

◆制限事項

翻訳アドインには、次のような制限事項があります。

- 翻訳が可能なのは本文だけです、しおりやサムネイル、注釈、署名、PDFフォームの入力文字列など、特殊な文字列は翻訳の対象となりません。
- セキュリティのかかったドキュメントの対してはいかなる処理も行いうことができないため、翻訳を行うことはできません。
- ヘッダ・フッタを含む文書やページをまたいだ文など、一部の文書において単語の区切り、および翻訳が部分的に正常でない場合があります。

Chapter 7

オンライン翻訳するには

オンライン翻訳について

通常のオフライン翻訳に加え、オンライン翻訳が可能です。二通りの翻訳方法を利用することで、それぞれの利点を生かした精度の高い翻訳が可能になります。



インストール時に「オフライン版 + オンライン版」と「オフライン版」を選んでインストールします。「オフライン版」のみをインストールした場合、一度アンインストールしてから再度「オフライン版 + オンライン版」をインストールし直してください。

注意！

- オンライン翻訳のご利用には、別途お客様のGoogleアカウントでのご登録と、毎月50万文字（空白文字を含む）以上の翻訳には月額費用が必要です。 ※2024年7月現在。
- オンライン翻訳をご利用する場合、予め各種設定が必要です。
詳しくはオンラインヘルプをご参照ください。

◆オンライン翻訳の仕組み

GoogleのCloud Translation APIを使用したニューラル機械翻訳を行います。API接続のため、無料のGoogle翻訳ツールと異なり外部へ翻訳データが二次利用されることもなく安心してご利用いただけます。

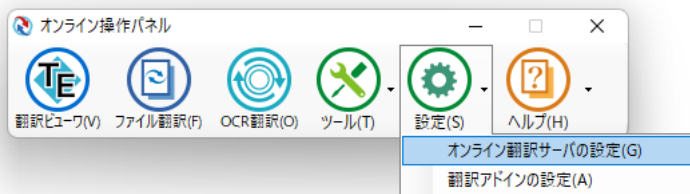


◆オンライン翻訳の対応言語

オンライン翻訳では、コリヤ英和！（マルチリンガル）に搭載の翻訳言語をご利用いただけます。

◆オンライン翻訳の設定

オンライン翻訳を利用するにはあらかじめ各種設定が必要となります。
[オンライン翻訳操作パネル]を起動し、[設定]>[オンライン翻訳サーバの設定]を選択してください。
表示される手順に沿って設定を完了してください。



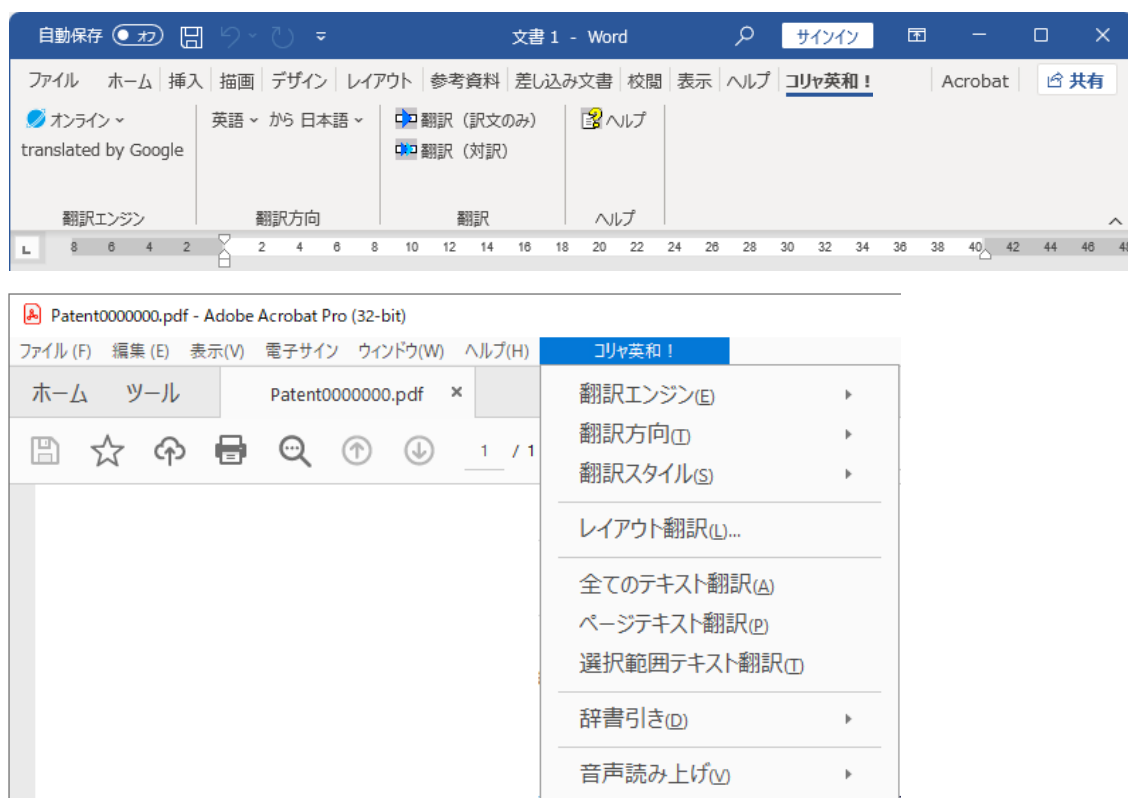
インストール時にオンライン翻訳サーバの設定を促されるため、一度設定が完了している場合は再度設定する必要はありません。別のマシンにインストールする場合はあらためて設定が必要です。

◆Office/Acrobatアドイン翻訳（訳文/上下対訳）

Microsoft Wordなどにアドインしたコリヤ英和!の翻訳タブから、直接翻訳（訳文/上下対訳）ができます。Wordを始め以下のソフトウェアでオンライン翻訳を利用できます。

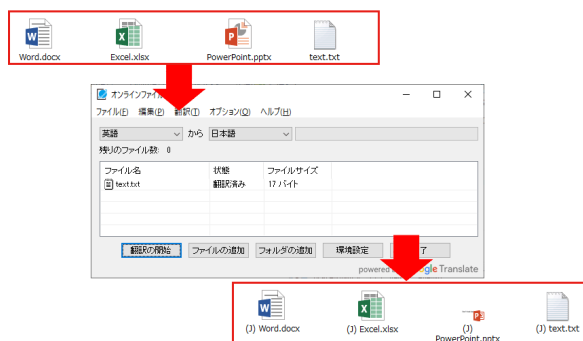
Microsoft Word 2021/2019/2016
 Microsoft Excel 2021/2019/2016
 Microsoft PowerPoint 2021/2019/2016
 Microsoft Outlook 2021/2019/2016
 ジャストシステムー太郎 2024/2023/2023
 Adobe Acrobat 2020/Standard/Pro 各32bit版

※Adobe Acrobat以外でPDFを翻訳や辞書引きをするには、翻訳エディタや操作パネルと連携することで可能です



◆ファイル翻訳

既存のMicrosoft Officeやテキストファイルなどのファイル翻訳ができます。



オンライン翻訳の機能

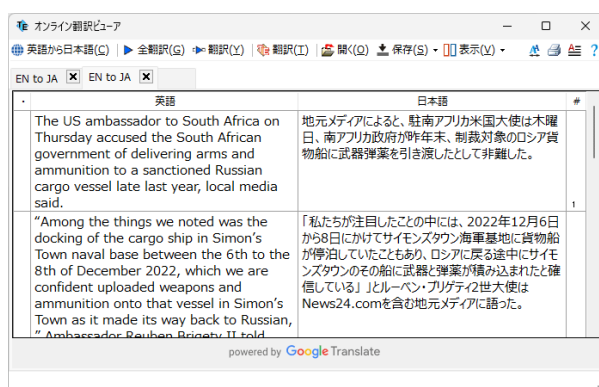
ここではオンライン翻訳を利用できるツールを簡単にご説明します。各種メニューや詳細なご利用方法は各ツールのオンラインヘルプをご参照ください。

注意！

オフライン版と翻訳可能なファイル形式や、利用できる機能が異なります。

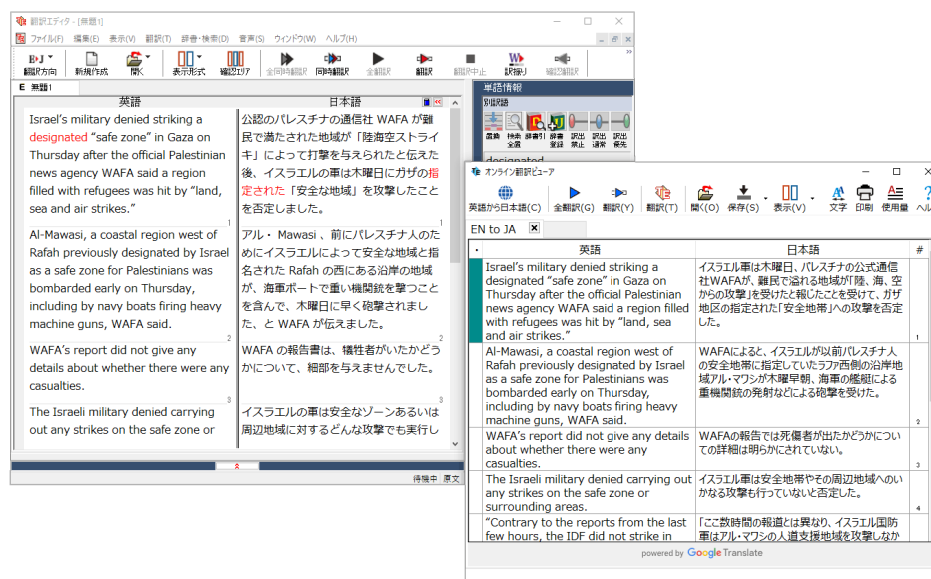
◆オンライン翻訳ビューア

原文を入力して翻訳を実行します。「オンライン翻訳ビューア」からオフライン翻訳の「対訳翻訳」へ原文を渡し翻訳することもできます。



「翻訳エディタ」との連携

翻訳エディタに搭載された「オンライン同時翻訳」機能により、従来のオフライン翻訳の結果と、オンライン翻訳の結果を比較しながら作業することが可能となります。



状態保存機能

オンライン翻訳結果の状態をそのままに保存して、後日データを開き復元して作業を再開することが可能になります。

